

一般社団法人レーザー学会学術講演会
第 33 回年次大会報告書

平成 25 年 1 月 28 日(月)～30 日(水)
姫路商工会議所

平成 25 年 3 月
第 33 回年次大会実行委員会

一般社団法人レーザー学会学術講演会第33回年次大会報告書

目次

I. はじめに

II. 第33回年次大会概要

- 1 実行組織・全体スケジュール・収支計算書
- 2 講演会について
 - 2.1 公開特別講演会
 - 2.2 シンポジウム「次世代エンジンのためのレーザー点火(燃焼学会共催)」
 - 2.3 シンポジウム「周波数コム光源とその計測応用への進展I」
 - 2.4 シンポジウム「SPring-8, SACLAで展開されるレーザー計測」
 - 2.5 シンポジウム「期待される次世代産業用レ・ーザー加工技術開発」
 - 2.6 シンポジウム「医学と光・レーザー技術とのコラボレーション」
 - 2.7 シンポジウム「レーザーの農業応用～動き出した固体光源植物工場～」
 - 2.8 シンポジウム「太陽光励起レーザー～先端レーザー技術が切り拓く次世代エネルギー～」
 - 2.9 シンポジウム「レーザー学会受賞記念講演」
 - 2.10 公開シンポジウム「レーザー安全講演」
 - 2.11 優秀論文発表賞
- 3 懇親会報告
- 4 併設展示会(LaserSolution2013)
- 5 まとめ

III. 各委員会からの報告

- 1 プログラム委員会
- 2 現地実行委員会
 - 2.1 総務・広報係
 - 2.2 会計係
 - 2.3 受付係
 - 2.4 会場係
 - 2.5 懇親会係
 - 2.6 アルバイト係
- 3 展示会(LaserSolution2012)実行委員会
- 4 学会事務局

IV. 収支について

V. 次年度申し送り事項

- (付録1) 第33回年次大会実行委員会及びプログラム委員会名簿
(付録2) 写真集

I. はじめに

(社) レーザー学会学術講演会
第 33 回年次大会実行委員会
委員長 望月孝晏

(兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所 特任教授)
(兵庫県立大学工学研究科 教授) 副委員長 藤原関夫

2013 年 1 月 28 日 (月) - 1 月 30 日 (水) にレーザー学会学術講演会第 33 回年次大会が兵庫県姫路市にて開催された。兵庫県でしかも姫路では初めての大会開催であった。今回は会場として姫路商工会議所を主として利用し、公開特別講演会場としては姫路城真近の市施設「イーグレ姫路」を併用した。

今回の大会では「レーザーによる新事業創出をめざして」を大会テーマとしてプログラムを編成した。これから世に出る若い人に働く場を提供することに役立つような情報交換の場であってほしいとの願いからでした。

幸い多くの方々のご支援をいただき、なかでもプログラム委員長をはじめ、プログラム委員の皆様のご努力により、講演総数 334 件 (公開特別講演 2 件, シンポジウム 52 件, 招待講演 61 件, 一般講演 219 件) となった。したがって、応募締切の延長をする必要もなく、地方開催の大会としては例年を超える多くの講演件数となった。一般会議場は例年と比較してコンパクトであったが、会期が 3 日であったこともあり、予想以上の講演数に対しても 9 会場を活用することで対応でき、これが活気ある雰囲気づくりにもつながることとなった。また、参加登録者数も 555 名と我々の予想を超える多数の方々のご参加をいただき、一般講演、公開特別講演、懇親会とどの会場も盛会となった。

公開特別講演の決定にあたっては、大会テーマを勘案して 2 つの公開特別講演を選定しました。その一つとして、新固体光源事業の展開を新事業として力を投入しているウシオ電機様はその力投ぶりをご披露してもらいました。また、今後大きく発展する日本の医療機器産業を意識し、(財) 医療機器センター理事長、レーザー医学会理事長の菊地 眞先生に特別講演をお願いした。公開特別講演会では会場が満席になる約 240 名の聴衆が集まり、たいへん盛会であった。参加された聴講者の皆様はお二方のご講演に熱心に耳を傾けていた。懇親会は 1 月 29 日 (火) の公開特別講演会の終了後、18 時 30 分より姫路市内にて酒造工場を改造した「灘菊」(灘菊酒造) にて開催され、196 名もの参加者が集い、大いに盛り上がり懇親を深めた。

今回の大会においては、地元の兵庫県立大学にはレーザー学会会員が比較的少ないにも関わらず多数の電気系教員に実行委員として真摯な協力をいただくことができた。皆責任をもって担当任務を果たしていただき、無事に大会を実施することができた。

今回の年次大会開催に当たっては、前例にとらわれずに特色ある地方大会とすることを目指した。収支も含めて大会を無事に終えることができ、次年度以降の大会運営においても、本資料に記載の事項が参考になれば幸いである。

II. 第 33 回年次大会概要

1 実行組織・全体スケジュール・収支計算書

レーザー学会学術講演会第 33 回年次大会のご案内

- 1.会 期 :2013 年 1 月 28 日(月)~30 日(水)
2.会 場 :シンポジウム(下記安全を除く),招待講演,一般講演 : 姫路商工会議所
〒670-0932 兵庫県姫路市下寺町 43
アクセス : <http://www.himeji-cci.or.jp/guidemap.php>

特別講演,レーザー安全公開シンポジウム:イーグレひめじ

〒670-0012 兵庫県姫路市本町 68-290

アクセス : <http://www1.winknet.ne.jp/~egret-himeji/12-map/map.htm>

懇親会場 : 灘菊酒造株式会社西蔵

〒670-0972 姫路市手柄 1 丁目 121

アクセス : <http://www.nadagiku.co.jp/>

- 3.大会テーマ :レーザーによる新事業創出をめざして
4.主 催 :一般社団法人レーザー学会
5.後 援 :姫路市・社団法人姫路観光コンベンションビューロー

大会賛助

第 33 回年次大会の実施にあたり,下記の各団体から貴重な財政的支援を頂いております.
ここに,賛助団体各位及び有志の皆様の御芳名を記し,深甚なる感謝の意を表します.

(順不同)

ウシオ電機株式会社	浜松ホトニクス株式会社
三菱電機株式会社	株式会社ユニタック
株式会社オプトサイエンス	株式会社光学技研
株式会社日本レーザー	明昌機工株式会社
株式会社片岡製作所	東明技研株式会社
シグマ光機株式会社	株式会社東京インスツルメンツ
株式会社東芝	株式会社日本技術センター

問合せ先

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-6

一般社団法人 レーザー学会 第 33 回年次大会実行委員会事務局
(TEL:06-6878-3070 FAX:06-6878-3088 Email:mori-k@ile.osaka-u.ac.jp)

第33回 (2012年度) レーザー学会年次大会 (姫路)

2012.6.27

○ 年次大会実行委員会

- 実行委員会委員長 望月 孝晏 兵庫県立大学
 同 副委員長 藤原 関夫 兵庫県立大学
 同 副委員長 畑中 秀和 ウシオ電機
 同 顧問 松浦 祐司 東北大学(前実行委員会委員長)
 展示会実行委員長 山本 和久 大阪大学光科学センター
 同 事務局長 上野 直樹 (株)オプトロニクス社
 同 委員 大沢 哲夫 (株)オプトロニクス社

平成25年1月28日(月)~30日(水)3日間
 姫路商工会議所 & イーグレ姫路(特別講演)
 懇親会: 灘菊酒造(1月29日)

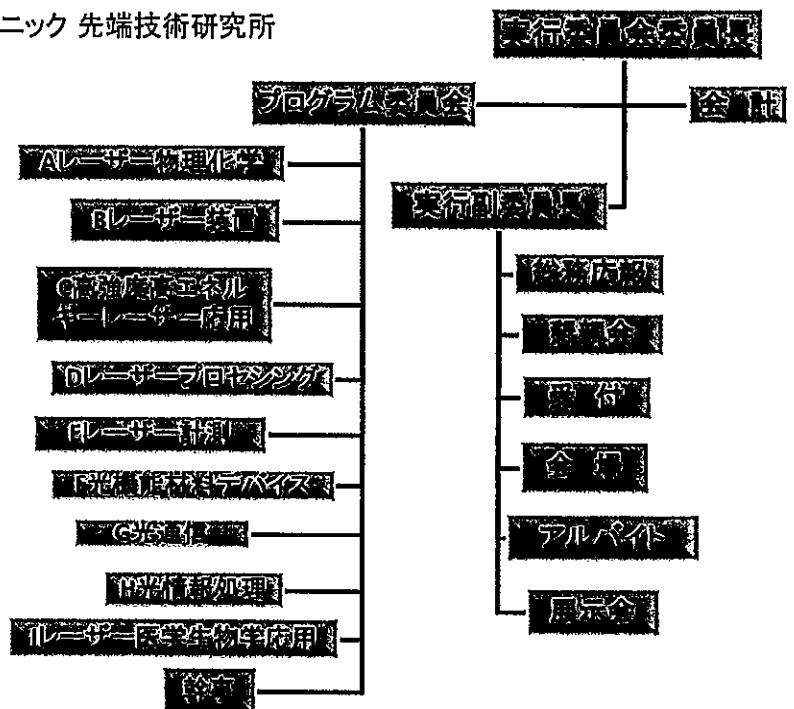
(以下、現地実行委員として兵庫県立大学が担当)

- 総務兼広報係 主査 中村 龍哉
 委員 山本 真一郎 , 岡 好浩
 会計係 主査 松井 伸之
 委員 古賀 麻由子 , 上浦 尚武
 受付係 主査 永田 正義
 委員 菊池 祐介 , 岡田 翔 , 天野 壮(高度研)
 会場係 主査 奥田 孝一
 委員 福本 直之 , 関岡 嗣久 , 本多 信一 , 布引 雅之
 アルバイト係 主査 上野 秀樹
 委員 多田 和也 , 東 欣吾
 懇親会係 主査 伊藤 省吾
 委員 藤澤 浩訓

○ プログラム委員会

- プログラム委員長 的場 修 神戸大学 工学部情報知能工学科
 同 副委員長 宮本 修治 兵庫県立大学高度技術研究所
 同 副委員長 石野 正人 パナソニック 先端技術研究所

- A.レーザー物理・化学
 - B.レーザー装置
 - C.高強度レーザーエネルギー応用
 - D.レーザープロセッシング
 - E.レーザー計測
 - F.光機能材料・デバイス
 - G.光通信
 - H.光情報処理
 - I.レーザー医学・生物学応用
- 幹事



プログラム委員会

プログラム委員長 的場 修 神戸大学大学院 システム情報研究科
プログラム副委員長 宮本 修司 兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所
プログラム副委員長 石野 正人 パナソニック(株) 本社R&D部門 先端技術研究所

A. レーザー物理・化学

主査 橋田 昌樹 (京都大学)
副査 長島 健 (大阪大学)
委員 板倉 隆二 (原子力機構)
委員 ハツ橋 知幸 (大阪市大)
委員 柴島 史欣 (福井工大)

B. レーザー装置

主査 白川 晃 (電気通信大)
副査 時田 茂樹 (京都大学)
委員 藤川 周一 (三菱電機)
委員 小関 泰之 (大阪大学)
委員 鈴木 将之 (埼玉医科大)
委員 水内 公典 (パナソニックヘルスケア)
委員 本越 伸二 (レーザー総研)

C. 高強度・高エネルギーレーザー応用

主査 三浦 永祐 (産総研)
副査 重森 啓介 (大阪大学)
委員 川嶋 利幸 (浜松ホトニクス)
委員 天野 壮 (兵庫県立大学)
委員 高橋 栄治 (理研)
委員 森 道昭 (原子力機構)

D. レーザープロセッシング

主査 塚本 雅裕 (大阪大学)
副査 中野人志 (近畿大学)
委員 福田直晃 (京都大学)
委員 梅津郁朗 (甲南大学)
委員 佐野智一 (大阪大学)
委員 甲藤正人 (宮崎大学)

E. レーザー計測

主査 川田 善正 (静岡大学)

G. 光通信

主査 戸田 裕之 (同志社大学)
副査 丸田 章博 (大阪大学)
委員 榎原 晃 (兵庫県立大学)
委員 熊本 和夫 (大阪工業大学)
委員 生岩 量久 (広島大学)
委員 松本 正行 (和歌山大学)

H. 光情報処理

主査 野村 孝徳 (和歌山大学)
副査 仁田 功一 (神戸大学)
委員 有本 英伸 (産総研)
委員 井上 卓 (浜松ホトニクス)
委員 中山 敬三 (近畿大学)
委員 横田 正幸 (島根大学)

I. レーザー医学・生物学

主査 橋新 裕一 (近畿大学)
副査 岡田 昌義 (国際先端医学研)
委員 近江 雅人 (大阪大学)
委員 佐藤 英俊 (関西学院大学)
委員 石井 克典 (大阪大学)
委員 岡上 吉秀 (モリタ製作所)
委員 石場 義久 (山本光学)

S. シンポジウム

S1 主査 平等 拓範 (分子研究所)
S2 主査 小関 泰之 (大阪大学)
S3 主査 猿倉 信彦 (大阪大学)
S4 主査 塚本 雅裕 (大阪大学)
S5 主査 岡田 昌義 (国際先端医学研)
S6 主査 土屋 広司 (浜松ホトニクス)
S7 主査 鈴木 将之 埼玉医科大学
S8 主査 黒澤 宏 (科学技術振興機構)

副査 猿倉 信彦 (大阪大学)
委員 小西 毅 (大阪大学)
委員 細川 陽一郎 (奈良先端大学)
委員 宮川 直康 (パナソニック)
委員 興 雄司 (九州大学)

S9 主査 橋新 裕一 (近畿大学)

幹事 仁田 功一 (神戸大学)

F. 光機能材料・デバイス

主査 喜多 隆 (神戸大学)
副査 山下 兼一 (京都工芸繊維大学)
委員 宮本 智之 (東京工業大学)
委員 河口 研一 (富士通)
委員 石川 史太郎 (大阪大学)

第33回年次大会 全体スケジュール

月	日	実行委員会関連	プログラム委員会関連	掲載号	会誌/ホームページ他
4月		<ul style="list-style-type: none"> ・実施案立案(含;概算予算) ・実行委員案 作成 			
5月		<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員委嘱 			
6月	幹部会 4日	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会幹部会 ・基本方針 ・課題の抽出 		7号	<ul style="list-style-type: none"> ・年次大会開催案内 I (~6/E) ・一般講演募集 ・優秀論文発表賞募集 ・ポスター公募
7月	実行委 6日	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回実行委員会:7月6日 ・組織、役割分担の確認 ・スケジュール, 予算案 ・特別講演 → 講演依頼 ・大会賛助・広告・ポスター 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム委員委嘱 ・シンポジウムテーマ案立案 →シンポジウム案(企画者) ・招待講演案の作成 (各主査に依頼) 	8号	<ul style="list-style-type: none"> ・大会案内II(~7/25) ・一般講演募集 ・優秀論文発表賞募集
8月	プロ委 7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター印刷(~8/E) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回プログラム委員会:8月7日 ・シンポジウム講演者選定(決定) ・招待講演者選定(決定) →講演者の内諾(~8/31) ・一般講演募集開始(8/M) 	9号	<ul style="list-style-type: none"> ・大会案内III(~8/E) ・公開特別講演 ・シンポジウム ・一般講演募集案内
9月		<ul style="list-style-type: none"> ・銀行口座開設 ・特別講演会依頼状送付 ・ポスターの配布、掲示依頼 ・企業への賛助・広告依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム・招待講演依頼 →依頼状送付(~9/7) ・概略コマ割案の作成 ・一般講演の募集締切(10/1) 	10号	<ul style="list-style-type: none"> ・大会案内IV(~9/E) ・公開特別講演(最終) ・シンポジウム全件 ・招待講演全件 ・講演時の注意事項
10月	プロ委 16日 実行委 26日	<ul style="list-style-type: none"> ・予算概要(収支等) ・優秀論文発表採点方法等 ・第2回実行委員会(10/26) ・必要に応じて会場下見 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回プログラム委員会(10/16) ・全プログラムコマ割付(最終) ・座長、採点者の決定→内諾(10/26) ・予稿(招待/一般)締切(~10/31) 	11号	<ul style="list-style-type: none"> ・大会案内V(~10/E) ・セッション・座長表 ・全招待講演 ◆学会HPに掲載
11月			<ul style="list-style-type: none"> ・座長・採点者依頼 ・次第書・予稿集の作成(紙面, USB) 	12号	<ul style="list-style-type: none"> ・大会案内VI(最終)(~11/E) ・全講演プログラム ・会場案内(マップ、アクセス) ◆学会HPに掲載
12月			<ul style="list-style-type: none"> ・各種印刷、予稿集USB 		
H25 1月	27日 ~30日	<ul style="list-style-type: none"> ・大会前日の準備会議:1/27(日) ・大会報告書担当決定・依頼 (実行委員長→事務局) ・第33回年次大会: 1月28日(月)~30日(水) 			
2月		<ul style="list-style-type: none"> ・年次大会速報原稿(~2/20) ・大会報告書原稿作成 ・報告書原稿集約(~2/E) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年次大会速報原稿(~2/20) ・大会報告書原稿作成 ・優秀論文発表賞候補者選定 		
3月	実行委	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回実行委員会(3/13) ・年次大会報告書まとめ ・会計報告 ・優秀論文発表賞候補者承認 		4号	第33回年次大会速報(~3/E)
4- 5月		<ul style="list-style-type: none"> ・年次大会実施報告書発行 			

2 一般社団法人レーザー学会学術講演会第33回年次大会開催報告

(レーザー学会誌4号に掲載)

レーザー学会学術講演会第33回年次大会実行委員長
望月孝晏(兵庫県立大学)

1. はじめに

平成25年1月28日(月)～30日(水)に姫路商工会議所においてレーザー学会学術講演会第33回年次大会が開催された。大会テーマとして「レーザーによる新事業創出をめざして」を掲げ多くの方々のご支援をいただき、講演総数334件、参加登録者数555名と盛会となった。

公開特別講演では、ウシオ電機(株) 上級執行役員固体光源事業部長の杉谷晃彦氏による「可視領域レーザーの光産業における価値と将来展望」、特定非営利活動法人 日本レーザー医学会理事長の菊地 眞氏による「バイオメディカル・フォトリクス の現状とその将来」の2件の講演が行われた。またシンポジウムとしては「次世代エンジンのためのレーザー点火(燃焼学会共催)」「周波数コム光源とその計測応用への進展」、「Spring-8、SACLA で展開されるレーザー計測」、「期待される次世代産業用レーザー加工技術開発」、「医学と光・レーザー技術とのコラボレーション」、「レーザーの農業応用 ～動き出した固体光源植物工場～」、「太陽光励起レーザー ～先端レーザー技術が切り拓く次世代エネルギー～」、「レーザー学会賞受賞記念講演」および「レーザー安全公開シンポジウム」の多岐に亘る9つが開催された。

2 講演会について

全講演件数は334件(公開特別講演2件、シンポジウム52件、招待講演61件、一般講演219件)となり、第26回年次大会(平成18年埼玉県大宮)以来の多くの講演が発表された。本年次大会の講演数の内訳を下表に示す。括弧内に前回(第32回年次大会)の件数を参考までに示す。前回との比較から、招待講演と一般講演の数は部門別を見てもあまり変動がないことがわかる。今回の年次大会の特徴としては、大会のテーマとして「レーザーによる新事業の創出をめざして」を設定し、関連するシンポジウム企画を行ったため、9つのシンポジウム構成と増やした。どのシンポジウムも多くの聴講者があり、活発な講演会となった。

第33回年次大会講演数(括弧は前回)

講演部門	公開特別講演 シンポジウム	招待講演	一般講演	優秀論文発表賞 応募者数 [応募率%]
公開特別講演	2 (2)			
シンポジウム	52 (29)			
部門別講演				
A レーザー物理・化学		7 (6)	15 (16)	3 [20]

B レーザー装置		7 (7)	51 (50)	18 [35]
C 高強度・高エネルギーレーザー応用		6 (6)	28 (30)	3 [10]
D レーザープロセッシング		8 (6)	41 (44)	14 [34]
E レーザー計測		6 (7)	22 (17)	5 [22]
F 光機能材料・デバイス		7 (8)	14 (13)	2 [14]
G 光通信		6 (7)	7 (7)	3 [42]
H 光情報処理		7 (6)	10 (12)	2 [20]
I レーザー医学・生物学		7 (6)	31 (37)	15 [48]
合計	54 (31)	61 (59)	219 (226)	65 [29]
講演総数: 334 (316)				

2.1 公開特別講演会

1月29日(火)の15:30-17:30に、一般講演会場から徒歩約10分のところにあり姫路城にほど近い「イーグレひめじ」あいめっせホールにおいて、下記2件の公開講演が行われた。

「可視領域レーザーの光産業における価値と将来展望」

ウシオ電機株式会社 固体光源事業部長 杉谷晃彦氏

「バイオメディカルフォトリクス の現状とその将来」

特定非営利活動法人 日本レーザー医学会 理事長 菊地 眞氏

お二方ともに、今回の年次大会テーマである「レーザーによる新事業の創出をめざして」にちなみ、情報産業、医療産業においてレーザーを含む光源がこれまでに果たした役割や成果についての話と今後の展望についてご講演いただいた。

杉谷氏は、レーザーの歴史を元に、ウシオ電機で開発されてきた紫外域から可視光、赤外光までの産業用光源開発についてご講演いただいた。特に、プロジェクター用の固体光源は高輝度であることを生かし、デジタルシネマやサイネージ用途、家庭用としても魅力ある製品としてこれからも期待できること、またレーザー光源と光ファイバーを組み合わせることで遠くに光を届けられることができ、医療用途から建物の照明まで幅広いスケールに用いられる魅力ある光源として今後も期待できることが示された。

菊地氏はドイツ医学からアメリカ医学への流れを、医療機器・技術の発展に伴う検査データに基づく医療・医学への変遷として述べられ、治療と診断にかかる医療機器の重要性を示され、その中でも光技術の果たす役割の重要性についてご講演いただいた。特に内視鏡手術はこれまでの手術を大きく変え、さらにカプセル内視鏡によりこれまで見られなかった生体内の映像を撮ることも可能になっている。これらの医療機器・技術の進展にはレーザーなどの光源、イメージング技術、情報通信技術、ものづくり技術などが協調して発展して行くことが重要であり、日本においても、国際的に見られる様々な医学・生物学応用に関する分野横断的な取組みを基にバイオフォトリクス分野を進展させて行くことが必要であることをご講演いただいた。

講演会場の参加は 200 名と予想を遥かに上回る盛況であり、立見もでる程であった。ご講演いた

だいた2名の方のわかりやすく、流れるようなお話に聴講者の皆様も熱心に聴講されていた。

2.2 シンポジウム「次世代エンジンのためのレーザー点火(燃焼学会共催)」

本シンポジウムは、大会初日(1月28日)の午前に開催された。講演者は7名であり大学、国立研究所、企業の各方面からレーザーによるエンジン(内燃機関)点火に関する現状及び今後の展望等についてご講演を頂いた。産業革命以降大きな役割を担っているエンジンは、燃焼効率の改善及び環境汚染物質(地球温暖化物質を含む)の低排出化など、その高性能化は現在でも重要である。レーザー点火(着火)は、150年続く電気火花点化の限界を超え理想的な燃焼状態を可能とするもので、エンジンをはじめ燃焼分野からの関心は高い。このような背景から、「マイクロ固体フォトニクス」技術専門委員会が中心となり燃焼学会に働きかけ共催を試みた。初めてと言う事もあり心配したが、約80名の参加者が得られると共に非常に活発な質疑応答が行われるなど、当該分野への関心の高さが伺える盛況ぶりであった。

第1番目に、「オープニングリマークス I-レーザーの立場から」と題して(有)パラダイムレーザーリサーチの鷲尾邦彦氏から、レーザーを良く知る立場からのエンジン点火に関する可能性をご紹介頂いた。これまでもレーザーを用いて点火特性が評価されているが、同氏はさらにレーザーが持つ優れた時間的及び空間的な制御性、非接触で遠方にエネルギー伝達ができるとの特長を利用する事で、さらなる可能性も有るのではとの議論を展開された。

引き続き、「オープニングリマークス II-エンジン点火の歴史とレーザー点火」と題して九州大学大学院工学研究院教授の村瀬英一氏から、エンジン開発の立場からレーザー点火に対する期待をご紹介頂いた。エンジンの開発過程を振り返るなら、その高性能化はまさに点火強化の歴史であったことを強調され、これまで続いた火花点化の限界と、次世代の点火方式が種々検討されている中で、レーザーの点火源としてのポテンシャルについて議論された。

次は、「レーザーによる点火・着火技術」と題して(独)産業技術総合研究所の古谷博秀からエネルギー効率が高く、環境に優しい発電方式として注目のコージェネレーションに用いられるガスエンジンにおけるレーザー点火の最前線をご紹介頂いた。同氏は火花点化と比較し、レーザー点火ではエンジンの高性能化に重要な希薄燃焼で有利であることを、実験データを以て示された。

そして、「レーザー点火によるエンジン性能向上の可能性」と題して大阪大学大学院工学研究科教授の赤松史光氏よりエンジンの動作原理からエンジンのレーザー点火特性に与える影響をご紹介頂いた。特に熱効率の観点から高圧縮燃焼におけるレーザー点火の優位性を示されると共に、新たに見えてきた現象についても言及されるなど興味深い議論が展開された。

そして昼食を挟んで、「レーザー点火による次世代エンジンの可能性」と題して(株)日本自動車部品総合研究所の森島信悟より、分子科学研究所、(株)デンソーとの共同研究としてマイクロチップレーザーを用いた実機搭載型のレーザー点火装置の構成、レーザーの特性とガソリンエンジンに適用した場合の可能性につきご紹介頂いた。これまでもエンジンのレーザー点火は長く研究されてきたが、実際の車両に搭載されたというのは世界で初めての報告であり、会場からも多くの質問があった。特に、企画の燃焼関連、エンジン開発関連の研究者からの熱心な質問があった。

次に、ENERGETIQ社のマシュー・パートロー氏よりウシオ電機(株)との連名で「レーザー励起光源とそのアプリケーション」と題して、レーザー励起により理想的な発光が望める新たなランプに関する

研究紹介があった。これは、点火は放電に任せ、発光に必要なエネルギー供給をレーザーで行うとの趣旨である。実は、レーザー点火では燃焼の全反応時間に比較し短すぎるとの意見もあり、レーザーにより放電維持に必要なエネルギー供給を行うとの議論は興味深く受け止められた。

そして最後に、自然科学研究機構分子科学研究所の平等拓範より「クロージングリマークス -レーザー点火の展望-」として、マイクロ固体フォトニクスの深化により見えてきたジャイアントマイクロフォトニクスの可能性と、3. 11以降の我が国のエネルギー事情、さらに「シェールガス革命」などの世界情勢を踏まえた議論が紹介された。

総括するなら、レーザー研究者は、往々にしてエネルギー情勢の実情に疎く、我が国の基幹産業である自動車、また一次エネルギーの84%を占める化石エネルギーに貢献するエンジンの重要性を忘れがちである。一方で、燃焼関係者は最近のレーザー性能の著しい性能向上の実情に疎く、今回の様にレーザー学会、燃焼学会が共同で開催することで両者の相互理解が深まり、我が国のエネルギー、国際競争力、環境問題に新たな展開が望める、そんな事を予感させるシンポジウムであった。

2. 3 シンポジウム「周波数コム光源とその計測応用への進展」

周波数コムは、光の波動としてのレーザーの究極の形のひとつであり、近年多彩な応用展開を見せている。本シンポジウムは、周波数コム分野の広がりを取り返るとともに、今後の更なる展開の方向性を議論することを狙いとして、本分野の研究を先導し、新しい方向性を模索しつつある6名の講師の先生方にご講演を頂いた。大会1日目(1月28日)の午後に開催され、約50名の聴講者が集まり、活発な議論が行われた。ご講演頂いた先生方とお集まり頂いた聴講者の皆様に感謝申し上げます。

1 件目では、産業技術総合研究所の洪鋒雷先生から「光周波数コムと光時計の発展」のご講演を頂いた。周波数コム光源の原理、実用性の高いファイバー型コム光源の開発、超高精度光時計への応用に関する最新のレビューであった。周波数コム光源が光のものさしとして使われるだけでなく、光時計用レーザーの制御にも使われるなど、周波数コム技術が精密計測で果たす役割の重要性が指摘された。

2 件目は、東京大学物性研究所の小澤陽先生から「紫外光周波数コム発生と精密分光への応用」のご講演を頂いた。高平均パワーのファイバー光源とエンハンスメントキャビティ内高調波発生を用いた繰り返し10 ~ 100 MHzの紫外コム発生技術によって、希ガスの紫外分光がかつてない精度で可能になることが示された。

3 件目は、筑波大学の長谷宗明先生から「コヒーレントフォノン励起による周波数コムの発生」のご講演を頂いた。シリコンの超高速ポンププローブ波形に現れる減衰振動波形とその高調波により形成される繰り返し15.6 THzの周波数コムの詳細な解説を通じ、半導体の超高速ダイナミクスと周波数コムの概念が融合した新しい研究分野の可能性が示された。

4 件目は、電気通信大学の桂川真幸先生から「光周波数標準の精度を転写したラマンコム光源」のご講演を頂いた。光周波数コムに位相同期した2波長レーザーにより励起される周波数間隔10.6 THzのラマンサイドバンド発生技術によって光周波数コムの超広帯域化が可能となることが示された。

5 件目は、東京農工大学の柏木謙先生から「光パルスシンセサイザを用いたマルチギガヘルツコ

ム発生とその応用」のご講演を頂いた。光通信波長帯における高速光変調技術と高度な光制御技術が、周波数間隔 10 GHz 超の周波数コム発生とその振幅・位相制御及び光計測応用に有効であることが示された。

6 件目は、徳島大学の安井武史先生から「ギャップレス THz コム分光法」のご講演を頂いた。タイミングを精密に制御した 2 台のパルスレーザーによって発生するテラヘルツコムにより超高分解能テラヘルツ分光が可能になることが示された。また、本シンポジウムの総括として、周波数コム技術によって、テラヘルツ～紫外にわたる様々な光を高度に制御することが可能になり、これが新しい物質制御法や光計測法の創製につながることを示唆された。

2.4 シンポジウム「SPring-8、SACLAで展開されるレーザー計測」

本シンポジウムは、大会初日(1/28)の午後に開催された。講演者は6名であり、研究所の方および大学の方の発表であった。2012年3月から供用が開始されたX線自由電子レーザー(XFEL)施設 SACLA(SPring-8 Angstrom Compact Free-Electron Laser)に関連したシンポジウムであったため多くの聴衆が参加し、その関心の高さが伺える盛況ぶりであった。

第1番目に「SACLA ビームライン技術と利用研究」と題して、高輝度光科学研究センターの富樫氏が SACLA の研究施設の紹介、光源スペック等の詳細について紹介した。出力される光子エネルギーおよび強度は、4~7keV で 300uJ/pulse 以上、15keV で 1uJ/pulse 程度であることが紹介された。SACLA を用いて現在進められている、コヒーレント回折イメージング、非線形光学、ポンプ・プローブ法による時間分解計測などの研究の詳細が紹介された。

二番目の講演として「シンクロトロン放射硬X線のナノ集光」というタイトルで大阪大学 山内先生が講演された。SPring-8 の 10 億倍のピーク強度を持つ超短パルスレーザーを集光するためのミラーの材質、設計について紹介した。長さ 420mm のミラーを 2 枚組み合わせることにより、1 μm 程度の大きさに集光することに成功した結果を示した。また集光効率が 87%以上であることを示した。また、X線回折を利用してタンパク質の構造解析に応用した結果を紹介した。

次に EUV/X 線自由電子レーザーを用いて、孤立原子の非線形光学応答を観測する実験の詳細が、名古屋大学 菱川先生から紹介された。EUV 自由電子レーザー場におけるアルゴン原子の 2 重イオン化およびヘリウム原子の 2 電子励起過程について紹介された。また、EUV シンチレータとしての ZnO の開発状況が大阪大学 清水先生から紹介された。

X 線構造解析に向けて、フェムト秒レーザーを利用したタンパク質の結晶化に関する研究が大阪大学 森先生から紹介された。タンパク質の低過飽和溶液にフェムト秒レーザーを照射することにより、キャビテーションバブルを発生させ、良質のタンパク質結晶を成長させることが可能であることを示した。最後に慶応大学 中迫先生により XFEL コヒーレントX線回折イメージング実験の現状が紹介された。試料サイズが数 μm～数 100nm の非結晶粒子の構造をコヒーレントX線回折により構造解析する手法が紹介され、真核細胞 1 個の投影電子密度分布を観察可能であることを示した。本シンポジウムでは新しい自由電子X線レーザー光源を利用した様々な光科学、応用展開が紹介され、今後の研究の進展および未知分野の開拓が期待される内容であった。

2.5 シンポジウム「期待される次世代産業用レーザー加工技術開発」

1 番目は、「世界の産業用レーザーとレーザー加工技術開発の動向」と題して、(有)パラダイムレーザーリサーチの鷲尾邦彦氏にご講演いただいた。加工用レーザーにおける 2015 年までの成長予想として、ファイバレーザーの市場規模の成長が見込まれることと、マイクロ加工の成長率はキロワット加工よりも大きい、市場規模ではキロワット加工の方がまだ大きいことなど、レーザー加工技術についての開発動向を述べられた。

2 番目は、NEDO プロジェクト「次世代素材等レーザー加工技術開発プロジェクト -技術研究組合次世代レーザー加工技術研究所の取り組み-」と題して、次世代レーザー加工技術研究所の神谷保氏にご講演いただいた。プロジェクト研究開発の項目として、レーザーの高品質化・高出力化、ファイバレーザーのパルス制御技術開発による任意パルス波形の発生、パルスレーザーの増幅技術として LD 励起セラミック固体レーザーブースタ増幅器の開発、複合レーザー加工技術の開発について紹介された。

3 番目は、2 番目と同じ NEDO プロジェクトの次世代素材等のレーザー加工基盤技術開発において、「レーザー加工技術開発の今後の展開」と題して、大阪大学の塚本雅裕氏にご講演いただいた。先の開発目標に加え、産業界から要望されている三つの国産レーザーとして、高輝度ダイレクト半導体レーザー、高出力 CW ファイバレーザー、高平均出力短パルスレーザーであることを述べられた。産業界と学术界を結ぶ国策としてプロジェクト開発するドイツと比較して、日本においても国の大型プロジェクトとしての必要性を述べられた。

4 番目として、「kW 級ファイバレーザーと先端加工技術開発」と題して、古河電気工業(株)の藤崎晃氏にご講演いただいた。kW を超えるファイバレーザーは金属材料加工分野で普及が拡大している。ファイバ長を短くでき、小型収納形状が特徴の双方向励起構成のファイバレーザーを構築し、MOPA 型と同等の効率があることを示された。また、2kW 出力のファイバレーザーの構成と特性を紹介された。

5 番目として、「ダイレクト半導体レーザーの産業応用」と題して、石川県鉱業試験場の舟田義則氏にご講演いただいた。ファイバ結合 LD 素子を使用したダイレクト半導体レーザーの開発として発振波長 975nm、最大出力 300W を構築し、それを用いて微細溶接機とろう付機を構築し、それらが十分に実用性を有することを示された。

シンポジウムには 80 名と多くの参加者があり、レーザー加工分野の関心が伺えるとともに、今後の進展が期待できる。

2.6 シンポジウム「医学と光・レーザー技術とのコラボレーション」

このシンポジウムには 6 名のエキスパートによる医工学連携に関する講演が行われ、今後のこの方面への関心度が大きいに展開されたのである。

この第 1 席は、本郷晃史氏(モリタ製作所)であったが、「医療分野における赤外伝送路の現状と課題」と題して、現在広く使用されている石英ファイバーに匹敵する優れた伝送路がなく、これに代わる波長 $2\mu\text{m}$ 以上で使用されている赤外伝送路を対象にして、医療分野で多くの有益な応用面が紹介された。

第 2 席は、秋葉正博(株式会社トプコン)からであり、「眼科診断用 OTC 装置の発展」と題して講演があった。この中で光断層計(OCT)は、非接触性で非侵襲性であることから、日常に不可欠な装置

となっていることを強調された。また、生活習慣病の予備診断の応用が大いに期待されており、潜在的な応用が期待されているとも加えられた。

第3席は、河野剛也氏(大阪市立大学眼科)であるが、「眼底病変におけるレーザーの応用とその問題点」というテーマで講演をされた。この中で、加齢黄斑変性(AMD)に対して、抗VEGF薬とPDTとの効果には劇的な改善が得られたという報告があった。また、抗VEGF薬などの薬物治療とは作用機序が異なるPDTやselective retina therapy(SRT)などのレーザー治療は、今後の治療戦略になりうるものと述べられた。

第4席は、吉田憲司氏(愛知学院大学歯学部)であるが、「歯科・口腔外科領域におけるレーザーの応用とその問題点」というテーマで講演があった。この中で、レーザーは口腔粘膜の軟組織の微細血管断端を熱エネルギーによりsealingしながら切開を行うため、止血に優れた術後の経過も順調であること、さらに創傷治癒の促進、血流の改善、疼痛緩和、神経賦活などの効果を得るために使用して、その効果を十分に得ているということを強調された。

第5席は、山田裕道氏(国際親善総合病院皮膚科)であるが、「皮膚科領域におけるレーザーの応用とその問題点」というテーマで講演をされた。この中で皮膚科領域で保健採用となっている血管腫、深在性色素斑の治療と非保険の「しみ」、脱毛治療について現状を詳細に述べられた。さらに、それぞれの疾患の特性をとらえ、とくにその焦点となるところを適切にとらえて、レーザー照射することの重要性を強調された。

第6席は、榊原直樹氏(江戸川病院心臓血管外科)であるが、「下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の臨床と課題」というテーマで講演をされた。この中で、本来根治的な手術として実施されていた下肢の静脈瘤を抜去するストリッピング手術に変わり、近年レーザーによって拡張した静脈瘤を熱エネルギーによって縮小させようとするレーザー血管内治療法が台頭するようになり、保健採用になった波長とそれ以外の波長との臨床での比較が行われたが、波長に基づく優劣点が大きく展開され、医工学面において、今後なお一層の改良の余地のあることが強調された。

以上、優秀な6演題について、その都度会場から質問を受けたが、それぞれに的確な質問と回答が得られ、会場において本当に有益な時間を共有することができ、将来の医工学面における協調性と前進的な学術的な交流ができたと言える。

2.7 シンポジウム「レーザーの農業応用 ～動き出した固体光源植物工場～」

本シンポジウムは、大会最終日(1月30日)の午後に開催された。昨今注目されている植物工場に関する研究開発事例、センシング技術、半導体レーザー開発、緑色光の農業応用について研究内容と展望を5名の先生から講演頂いた。聴講者は100名を超え、この分野の注目度の高さが実感された。

1件目は、浜松ホトニクス(株)中央研究所の土屋広司氏から「レーザーの農業応用」の演題で、現在の植物工場ブームの背景と植物工場の概念が人工光施設だけでなく施設園芸のビニールハウスまで拡張されていることの紹介があった。次に赤色半導体レーザーを用いた酒米栽培状況の紹介、花卉や果菜類栽培の紹介、光波長制御による開花時期制御の研究事例を紹介された。これからの植物工場技術の展望として人工光は光合成エネルギー供給の他に植物の生理反応を制御する信号光としての利用の可能性が示された。

2件目は、大阪府立大学工学研究科の村瀬治比古先生から「固体光源植物工場」について大阪府立大学に設置された植物工場からレタス250株を毎日販売していること、大阪府立大学モデルの植物工場

技術が福島県の震災復興事業に提供されたことが紹介された。また、レーザーに関する研究では光合成反応モデルに立ち返ってレーザー照射技術と組み合わせることで光合成のために照射する光エネルギーを大幅に低減できる画期的可能性が示された。これは人工光利用植物工場の実用化を加速する重要な基礎技術として注目される。

3件目は、京都大学大学院 農学研究科の小川雄一先生から「X線からテラヘルツ波を利用した生物センシング」の演題で、多様なセンシング技術が要求される生物分野の計測例として、蛍光による柑橘類の選別、肉牛の良好な肉質と健康を保つための血中ビタミンAの計測例紹介、THz 波領域のメッシュ状周期構造物を用いた大腸菌検出や細胞中の水分子の状態計測研究例が示された。

4件目は、三菱電機(株) 高周波光デバイス製作所の八木哲哉氏から「赤色半導体レーザーの高出力・高効率化」の演題で植物栽培用として要求される高い光出力、波長を前提とした赤色半導体レーザーの効率と熱問題、寿命について検討事例が紹介された。植物栽培用として光合成に適する波長域内では、レーザーの全体効率が上がり発熱が低下する 680nm の波長が光源の寿命特性上も好ましいことが示された。半導体レーザー技術開発ロードマップの将来展望では、全体効率向上の余地が多く残されていることが植物栽培用光源としての半導体レーザーの可能性を感じさせた。

5件目は、(株)四国総合研究所 バイオ研究部の工藤りか氏から「緑色光源による農業応用～ 緑色光の農作物への多様な効果～」という演題で緑色単色光の作物生産現場への応用事例が示された。これまで緑色光は植物生理研究において対応する光受容体が発見されていないこともあり、植物栽培に緑色波長域の光は不要という観点から人工光を利用する植物工場研究が展開されてきた。しかし、本講演において緑色光は農業現場で多様な効果を発揮し、実際に役立つ光であることが具体例で示され、植物の生理的な応答についても緑色レーザー光が植物の生体防御反応を誘導することを遺伝子応答レベルで実証されており緑色レーザーの農業応用に明るい展望が持てる講演内容であった。

レーザーと農業の関わりは多様な場面において日本の農業を活性化するポテンシャルを持つものと感じさせられた。ご講演頂いた先生と多数お集まり頂いた聴講者の皆様方に感謝致したい。

2.8 シンポジウム「太陽光励起レーザー ～先端レーザー技術が切り拓く次世代エネルギー～」

本シンポジウムは、大会3日目(1月30日)の午前に開催された。懇親会翌日の早朝という条件にも関わらず出席者は50名程度であり活発的な質疑応答が行われ、当該分野への関心の高さをうかがわせた。この場を借りてご講演いただいた皆様とお集まりいただいた聴講者の方々に感謝したい。

はじめに福井大学の金邊先生はレーザー宇宙太陽光発電システムの要素開発についての報告を行った。マイクロ波方式と競合するためには変換効率20%以上の見通しが要求されている。これを達成するための特性評価を詳細に行い、レーザー総合効率21%を試算することができた。

つぎに東工大の大久保先生は実太陽光励起による100W級レーザー開発に関する報告を行った。1次集光系のフレネルレンズで集められた太陽光をレーザー媒質に効率的に集光するための2次集光系の改善およびレーザー媒質の冷却効果の向上により、出力120Wのレーザー発振に成功した。高品質セラミック媒質を使用することで、さらなる高出力化が期待される。

つぎに理研の和田先生は新レーザー媒質の開発としてNd、Cr共添加結晶に関する報告を行った。従来、レーザー結晶成長に使用されてこなかった浮遊帯溶解法によりNd、Cr:YAlO₄結晶の育

成に成功した。この結晶の特徴は太陽光強度が最大である波長 430nm 域において強い吸収を有すること、そして Nd:YAG の誘導放出断面積の 60 倍の値を有する点である。この結晶を用いることで従来の YAG を用いた場合よりも高効率太陽光励起レーザー発振が期待できる。

つぎに豊田中研の長谷川先生はマイクロロッドセラミックとファイバーをレーザー媒質に用いた実太陽光励起レーザー開発に関する報告を行った。軸外し放物面と Nd:ZBLAN ファイバーを用いて 2 時間連続のレーザー発振に成功した。このレーザー発振のスロープ効率と結合効率はそれぞれ 3.33% (両側で 6.6%)、0.88% であり、この値は理論限界に近い値であった。

つぎに豊田工大の鈴木先生は太陽光励起レーザーに向けた Nd:ZBLAN ファイバーの開発に関する報告を行った。太陽光の諸特性から高効率発振可能なレーザー媒質の評価を行い、テルライトとフッ化ガラスがホスト材として有望であることを明確とした。さらにそれらの媒質を用いたレーザー発振特性評価を数値計算で検討し、レーザー発振の見込みを得た。

最後に東海大学の遠藤先生は集光光学系を使用しない、温室効果チェンバーを用いた光増感型の太陽光励起レーザーに関する報告を行った。光増感剤であるローダミン 6G に浸漬した Nd ドープアクティブファイバーを擬似太陽キセノンアークランプにて側面励起して小信号利得評価を行った。その結果、波長 1064nm における小信号利得は温室効果チェンバーの効果により 4.1 倍増大した。

2.9 シンポジウム「レーザー学会受賞記念講演」

第 439 回研究会「第 36 回レーザー学会業績賞・奨励賞受賞記念講演会」はレーザー学会学術講演会第 33 回年次大会シンポジウムとして 1 月 28 日に姫路商工会議所にて開催された。レーザー学会賞論文賞 2 件、進歩賞 1 件、奨励賞 2 件、計 5 件の受賞記念講演が行われた。

業績賞(論文賞(オリジナル部門))「カーボンナノチューブを用いた超短パルスファイバレーザー」と題して東京大学の山下真司氏から講演がなされた。カーボンナノチューブおよびグラフェンの光学的特性を活かした受動モード同期ファイバーレーザーの開発ならびに光非線形デバイスの開発に関する研究成果について述べられた。

業績賞(論文賞(解説部門))「高コントラスト・高ビーム品質・高強度レーザーの開発」と題して日本原子力研究開発機構の桐山博光氏から講演がなされた。同氏らが開発した高出力レーザー J-KAREN は Ti:Sapphire を用いた CPA 増幅システムであり、10-12 のコントラストが得られている。また小型高繰り返し光源として Yb:YAG を用いた OPCPA システムの開発成果について紹介された。

業績賞(進歩賞)「非線形光学結晶 CLBO の不純物制御と紫外光発生応用」と題して大阪大学の吉村政志氏から講演がなされた。CLBO を非線形結晶に用いる場合の損傷耐性と寿命の向上においては結晶の不純物を制御することが重要であることが述べられ、同氏らのグループでの成果が新しい成果も含めて紹介された。

奨励賞「分子軌道トモグラフィと高次高調波分光法」と題して東京大学の板谷治郎氏から講演がなされた。高強度レーザーにより得られた高次高調波を用いて束縛電子に関与した分子軌道やクーロンポテンシャルに関する情報が得られることを実験的に示した研究成果について紹介された。また今後の高次高調波分光の展望について述べられた。

奨励賞「コヒーレント EUV スキャトロメトリー顕微鏡用光源としての 13.5nm 高次高調波発生システムの開発」と題して理化学研究所の永田豊氏から講演がなされた。EUV リソグラフィの検査評価に

用いることを目的とした高次高調波光源の開発について紹介された。また、同氏らが開発したスキャンメトリック顕微鏡と EUV マスクの欠陥検査に用いた実例が紹介された。

2. 10 公開シンポジウム「レーザー安全講演」

本シンポジウムは大会 3 日目(1 月 30 日水曜日)の午後 2 時から 5 時 15 分まで行われた。会場は一般講演などが行われた姫路商工会議所から 800m 程離れた、イーグレひめじ(姫路市民プラザ)の地下 1 階にあるアートホールであった。本シンポジウムは「レーザー安全教育」技術専門委員会の活動の一環として企画されたものである。参加者は途中入場・退場の方もおられたが、記帳して頂いた人数は 83 名であった。内訳は企業 48 名、大学教育機関 32 名、研究所 2 名、病院 1 名であった。参加者にはプログラムと予稿、参加証をお渡しした。講演者は 6 名であり、その講演概要を次にまとめた(文中、敬称略)。

1. 「光・レーザーが眼に与える影響」 尾花 明(聖隷浜松病院・眼科)

光が眼組織に及ぼす作用と眼が光に対して有する防御能、さらに防御能を越えた場合の眼障害について解説して頂いた。太陽光による日食網膜症、アーク溶接による電気性眼炎や雪眼炎(雪目)は紫外線による角膜障害である。LED は青色光成分が従来光より強いので、網膜障害の可能性が懸念される。

2. 「光・レーザーが皮膚に与える影響」 今川孝太郎(東海大学医学部形成外科)

皮膚の構造、皮膚の各組織に与える光の影響、皮膚疾患でのレーザー治療について解説して頂いた。UVB(290~320nm)は光化学作用を有し、DNA 障害、活性酸素によるアポトーシス(細胞自滅)を引き起こす。UVA(320~400nm)は活性酸素による細胞の老化をもたらすほかに、コラーゲンの産生低下、深いシワを形成させる。

3. 「眼のレーザー事故例について」 植田俊彦(昭和大学医学部眼科)

レーザーによる傷害例として、学会などで発表されている報告、論文と自験例として Nd:YAG レーザー、アルゴンレーザー、フェムト秒レーザーおよびレーザーポインターによるものを解説して頂いた。レーザーの直視によって、周辺網膜には特に障害がないにもかかわらず、網膜中心窩部に重篤な網膜傷害を引き起こす。

4. 「光・レーザーに対する安全めがね」 石場義久(山本光学株式会社)

安全めがねの安全性に関するポイント、保護具としての管理ポイント(ISO6161、JIST8143)および機能について解説して頂いた。ユーザーには適切なめがねの選択、安全な使用、定期的な点検が必要である。製品としての安全性として、遮光性能、密閉度・保護範囲およびレーザー直接照射に対する耐久性を評価している。

5. 「光・レーザーの安全対策」 若木守明(東海大学工学部光・画像工学科)

レーザーを安全に取り扱うためのハード面での対策と、レーザーの特徴を理解し、それに対する教育を踏まえたソフト面での対策の現状を、事例を用いて解説して頂いた。クラス 3B および 4 レーザー実験室の安全対策例として安全めがね、遮蔽板、危険警告ラベル、安全指針の掲示、扉インターロックを設ける。

6. 「光・レーザーの安全基準」 橋新裕一(近畿大学理工学部電気電子工学科)

IEC60825-1:2007 を基にした JIS C6802:2011「レーザー製品の安全基準」について、旧版(2005 年)

から改正された点を中心に解説して頂いた。医用レーザー機器の安全基準は IEC60601-2-22 であり、この規格に対応する JIS 規格はない。最大許容露光量(MPE)、被ばく放出限界(AEL)によるクラス分けについても言及された。

参加者に対して、アンケート調査を行った。参加者 83 名の内 59 名から回答を得た。総合評価を 10 段階で行った結果、平均 7.6 点であり、38 名(約 64%)の参加者が 8 点以上の評価であった。会場の都合で、照明が暗くてメモが困難であった、机がほしかったとのクレームがいくつかあった。各講演とも厳しい質問が多い印象であった。本シンポジウムへの関心の高さがうかがえる評価であった。

2. 11 優秀論文発表賞

「レーザー科学の発展に貢献しうる優秀な一般講演論文を発表した35歳以下の若手研究者」を表彰する優秀論文発表賞に計65件の応募があった。優秀論文発表賞規程に基づき授賞者を選考する。実行委員会にて候補者を選定し次回の理事会において授賞者が決定される。

3. 懇親会報告

1月30日(火)の公開特別講演会終了後に、灘菊酒造の酒蔵において懇親会が開催され、例年の1.5倍近い196名もの参加者があり盛会であった。懇親会には特別講演の講師である菊地氏、杉谷氏に加えて名誉会員の霜田光一先生にもご参加戴いた。実行副委員長長藤原関夫の進行のもと、望月孝晏実行委員長、中井貞雄会長が主催者を代表して挨拶、菊地先生と兵庫県立大学長清原正義先生からの来賓挨拶の後、新酒3樽の鏡開きを行った。記念品にもなる学会名の入った升を手に入れた。光産業創成大学院大学学長の加藤義章先生による乾杯の発声があった。樽酒の他に「姫路酒造組合全銘柄揃」と墨で書かれた下に10蔵14本の自慢の大吟醸が並んだ。ビールも準備したが、むしろ日本酒を堪能していただけたようである。

締めくくり、次回実行委員長を務める九州大学岡田龍雄先生から次年度大会についてアナウンスの後、神戸大学的場修プログラム委員長より締めの挨拶があり閉会となった。

4. 併設展示会(Laser Solution2013)

併設展示会「Laser Solution2013」は1月28日～1月30日の3日間、姫路商工会議所展示ホールにて開催し、以下の13社(団体)12小間の出展があった。

ウシオ電機(株)	オーシャンフォトニクス(株)
(株)オフィールジャパン	(株)オプトサイエンス
コヒレント・ジャパン(株)	(株)サードウェーブテクノロジーズ
セブンシックス(株)	(株)ティー・イー・エム
(株)トリマティス	日本デバイス(株)
(株)フォトニクスラティス	(株)ユニタック

- ・ 例年どおりコーヒー無料サービスを実施し、実行委員をはじめ年次大会参加者が多数、出展社ブースにお立ち寄り頂き出展社から好評を得ることができた。

5. まとめ

今回の年次大会はレーザー学会員が数名の姫路で初めての開催であった。そのため、現地実行委員会は地元県立大学の21名の先生で構成されたことが特徴である。地方開催では近年にない多くの参加者をお迎えできたと共に、現地を知り尽くした先生による細やかな配慮によって、無事に大会を終了できたことは大きな喜びです。

本大会では予稿集として紙をUSBに変更した。優劣の多くの議論があったことを記しておく。大会賛助金と広告収入が減少するなかで、年次大会財政の健全化も理由である。USB化によって参加費は1000円増えたものの全員にお持ち戴くと共に、ソフト制作費も含めて製造原価に抑えることができた。ソフト化ではプログラム委員長は随分ご苦労された。

ポスターデザインも含めて手作りの年次大会であったため、経費削減に寄与したものの、現地実行委員には随分とご負担をおかけする結果となった。大会実行委員、プログラム委員、併設展示会事務局、賛助会員、並びに関係各位に厚くお礼申し上げます。

III-1 プログラム委員会

第33回年次大会プログラム委員会

委員長 的場 修

副委員長 宮本修治

副委員長 石野正人

1.1 講演会概要

(1) 講演件数等

今回の部門別講演件数を表1に示す。今大会はシンポジウムが9セッションと昨年の5セッションより大幅に増加したため、一般講演が例年通りの場合には、9会場で3日間の規模では部屋が不足するおそれもあったが、一般講演は昨年並みの221件と少なめだったので、会場の心配は無くなった。講演全講演件数は334件(公開特別講演2件、シンポジウム52件、招待講演61件、一般講演221件)となり、平成18年2月埼玉県大宮での開催の第26回以来の多くの講演が発表された。

前回との比較から、招待講演と一般講演の数は部門別を見てもあまり変化がないことがわかる。今回の年次大会の特徴としては、大会のテーマとして「レーザーによる新事業の創出をめざして」を設定し、関連するシンポジウム企画を行ったため、9つのシンポジウムとなった。どのシンポジウムも多くの聴講者があり、活発な講演会となった。B部門に関しては、関連するシンポジウムを1件開催されたので、初日から最終日までぎっしりと講演が埋まる結果となった。優秀論文発表の応募は昨年と同様に、B, D, I部門がかなり多く全体の71.6%を占めている。これらの部門では若手研究者が活発に発表されているが、他の部門にも応募者が増えることを期待したい。

また、例年のことではあるが、光通信と光情報処理部門からの一般講演が少なく、今後の課題である。シンポジウムの企画や今回の燃焼学会との共催シンポジウムなど積極的に他学会との交流などで活性化を図ることも一つの方策として考えられる。

表 1 第 33 回年次大会講演数（括弧は前回）

講演部門	公開特別講演 シンポジウム	招待講演	一般講演	優秀論文発表賞 応募者数 [応募率%]
公開特別講演	2 (2)			
シンポジウム	52 (29)			
部門別講演				
A. レーザー物理・化学		7 (6)	15 (16)	3 [20]
B. レーザー装置		7 (7)	52 (50)	17 [33]
C. 高強度・高エネルギーレーザー応用		6 (6)	29 (30)	4 [14]
D. レーザープロセッシング		8 (6)	41 (44)	16 [39]
E. レーザー計測		6 (7)	22 (17)	5 [23]
F. 光機能材料・デバイス		7 (8)	14 (13)	2 [14]
G. 光通信		6 (7)	7 (7)	3 [43]
H. 光情報処理		7 (6)	10 (12)	2 [20]
I. レーザー医学・生物学		7 (6)	31 (37)	15 [48]
合計	54 (31)	61 (59)	221 (226)	67 [30]
講演総数: 334 (316)				

(2) 講演会場・使用機器

講演会場として、姫路商工会議所5階から7階にある3つのホール及び6つの会議室を用いた。全9部門の招待・一般講演及びシンポジウム講演を、各部門主査、シンポジウム主査からの開催日時の要望や例年のセッションへの参加者数などを考慮し、会場利用率の高いセッション構成とすることで9会場に割り当てた。特に、大人数の入るホール会場が3つであったため、そこにシンポジウムを割り当てた。また、シンポジウムと関連する部門のセッションがパラレルセッションにならないように、配慮した。セッション構成を表2に示す。また、特別講演と公開シンポジウム「レーザー安全公開シンポジウム」は一般講演会場から徒歩約7分の「イーグレひめじ」にて行った。特別講演会場として収容人数280人のあいめっせホールを使用した。

パソコンとプロジェクタは会場に備え付けられていない部屋もあったので、レンタルで対応した。詳しくは会場係の引き継ぎ事項を参照されたい。これらの器材については、各会場とも大きなトラブルはなかった。ただし、シンポジウム講演等において、セッション途中で会場備え付けパソコンにUSBによる講演スライドをインストールしたいという申し出があった。全ての講演者に対して会場備え付けのパソコンによる発表を希望する場合には、講演スライドはセッション前にインストールするように周知する必要がある。

表2 セッション構成
第33回年次大会 セッション座長表

1月28日(月)

会場名	特別会場 イーグル ひろび あいのせホール (3F)	会場X イーグル ひろび アートホール (B1F)	会場I 501ホール	会場II 502会場	会場III 503会場	会場IV 601会場	会場V 602会場	会場VI 603会場	会場VII 605会場	会場VIII 701ホール	会場IX 702ホール
席数	280名	120名	180人	60名	60名	40名+α(椅子)	60名	60名	105名	138名	105名
10:30-10:45			S1(座席) 次期役員選挙 のたのしみ ゲーム	D1 レーサー ゲーム	II アフィリエイト 説明		G1 経営者向け セミナー 説明				B1 経営者向け セミナー 説明
10:45-11:00											
11:00-11:15											
11:15-11:30										S8(座席) レーサー向け セミナー 説明	B2 経営者向け セミナー 説明
11:30-11:45											
11:45-12:00											
12:00-12:15											
12:15-12:30											
12:30-12:45											
12:45-13:00											
13:00-13:15			S1(座席) 次期役員選挙 のたのしみ ゲーム	D2 レーサー向け ゲーム	III アフィリエイト 説明		G2 経営者向け セミナー 説明				B2 経営者向け セミナー 説明
13:15-13:30											
13:30-13:45											
13:45-14:00											
14:00-14:15											
14:15-14:30											
14:30-14:45											
14:45-15:00											
15:00-15:15											
15:15-15:30			S4 経営者向け セミナー 説明		D アフィリエイト 説明		G3 経営者向け セミナー 説明			S9(座席) レーサー向け セミナー 説明	B3 経営者向け セミナー 説明
15:30-15:45											
15:45-16:00											
16:00-16:15											
16:15-16:30											
16:30-16:45											
16:45-17:00											
17:00-17:15											
17:15-17:30											
17:30-17:45											
17:45-18:00											

1月29日(火)

会場名	特別会場 イーグル ひろび あいのせホール (3F)	会場X イーグル ひろび アートホール (B1F)	会場I 501ホール	会場II 502会場	会場III 503会場	会場IV 601会場	会場V 602会場	会場VI 603会場	会場VII 605会場	会場VIII 701ホール	会場IX 702ホール
席数	280名	120名	180人	60名	60名	40名+α(椅子)	60名	60名	105名	138名	105名
9:00-9:15											
9:15-9:30											
9:30-9:45											
9:45-10:00											
10:00-10:15											
10:15-10:30											
10:30-10:45											
10:45-11:00											
11:00-11:15											
11:15-11:30											
11:30-11:45											
11:45-12:00											
12:00-12:15											
12:15-12:30											
12:30-12:45											
12:45-13:00											
13:00-13:15											
13:15-13:30											
13:30-13:45											
13:45-14:00											
14:00-14:15											
14:15-14:30											
14:30-14:45											
14:45-15:00											
15:00-15:15											
15:15-15:30											
15:30-17:30	<p>特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>1. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>2. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>3. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>4. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>5. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>6. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>7. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>8. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>9. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>10. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>11. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>12. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>13. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>14. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>15. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>16. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>17. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>18. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>19. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p> <p>20. 特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p>										
18:00-20:00	<p>特別会場イーグルひろびあいのせホール(3F) 席数 280名(座席 280名)</p>										

1月30日(水)

会場名	特別会場 イーグル ひめじ 高いゆっせホール(3F)	会場A イーグル ひめじ アトホール(31F)	会場I 501ホール 180名	会場II 502会場 60名	会場III 503会場 60名	会場IV 601会場 40名+α(内7)	会場V 602会場 60名	会場VI 603会場 60名	会場VII 605会場 105名	会場VIII 701ホール 138名	会場IX 702ホール 105名
9:00-9:15				05 写真プロセス	5 本場体験・ イメージング1	01 フォトミック 写真・レーザー技術	03 ハイブリッド 写真・レーザー技術				
9:15-9:30											
9:30-9:45				06 印刷 印刷人 印刷2	06 印刷 印刷人 印刷2						
9:45-10:00											
10:00-10:15											
10:15-10:30											
10:30-10:45											
10:45-11:00				07 フォトミック							
11:00-11:15											
11:15-11:30				07 印刷 印刷人 印刷2	05 本場体験・ イメージング2	02 ハイブリッド 写真・レーザー	04 ハイブリッド 写真・レーザー				
11:30-11:45											
11:45-12:00											
12:00-12:15											
12:15-12:30											
12:30-12:45											
12:45-13:00											
13:00-13:15											
13:15-13:30				08 レーザーの 最新動向	08 本場体験 印刷2						
13:30-13:45											
13:45-14:00											
14:00-14:15				09 レーザー安全 システム							
14:15-14:30											
14:30-14:45											
14:45-15:00											
15:00-15:15											
15:15-15:30											
15:30-15:45											
15:45-16:00				10 レーザー安全 システム							
16:00-16:15											
16:15-16:30											
16:30-16:45											
16:45-17:00											
17:00-17:15											
17:15-17:30											
17:30-17:45											
17:45-18:00											

(3) プログラム編成等

今回は各部門の主査の選定が遅くなったため、第1回プログラム委員会の開催が8月7日となった。そのため、講演申し込み期限の10月1日まで期間が少なく、一般投稿の数が心配ではあった。各部門主査として、大型プロジェクト等で活躍されている若手・中堅の方を積極的に指名した。主査から副査並びにプログラム委員を推薦して頂き、プログラム委員会を構成した。今回はテーマとして「レーザーによる新事業の創出をめざして」を掲げたので、プログラム委員として企業の方をできるだけ一人は選出して頂くように依頼した。また、今回はシンポジウムに関して専門委員会からの提案もあったので、この辺りの協調も今後重要かと思われる。第1回プログラム委員会にて各部門からシンポジウム提案を挙げて頂き、9つのシンポジウムを決定した。シンポジウムが多くなると一般講演と時間帯がかぶるため、一般講演の盛り上がり欠けるなどの心配もあったが、魅力的なシンポジウム提案であったため、従来の年次大会よりかなり多くはなったが9件を採用した。結果的にはどのシンポジウムも盛況であったので成功であった。また、各部門より招待講演者を推薦していただき、テーマ、講演者の調整を行うとともに、各部門での招待講演者数を調整した。シンポジウム講演者、招待講演者の内諾担当者の決定と手順について確認した。今回、スケジュールに余裕がなかったため、内諾の期間が短く、内諾担当者の方にはご面倒をかけることとなった。第2回プログラム委員会では、シンポジウム講演、招待講演、一般講演を合わせたプログラム編成、セッション構成、コマ割り付け、座長、

優秀論文発表賞審査委員の選定作業を行った。コマ割り付けでは、シンポジウム講演者、招待講演者の日程要望から当初案の変更を行った。今回シンポジウムが多かったため、シンポジウムから先に日程を決定し、その後、関連部門と日時の重複がないように一般講演を配置した。ただし、B 部門では一会場を会期中全て使用する状態に近くなった。

一般講演で1件キャンセルがあった。招待講演でも1件時間通りに開始されない講演が1件あったが、当日の最後のセッションで発表して頂く対応を行って頂いた。

2回に分けられて行われているプログラム委員会であるが、やり方について検討しても良いかと考える。第1回プログラム委員会は各部門の主査、副査のみが集まって協議することや、第2回プログラム委員会でも原案の部門内事前審議によりプログラム委員が全員同じ場所に集まってするよりかは、費用、時間の両面で効率化が図れるのではないかと感じた。

(4) 座長

特別講演を除く、シンポジウム、一般講演のセッションの座長は各部門からの推薦に基づき、第2回プログラム委員会にて選出した。基本的な考え方は、可能な限り各部門、シンポジウムの主査の方、または委員の方が担当することとし、基本的には問題なく座長を選定することができた。大会当日のプログラム進行に関しては概ね順調に推移した。

1.2 優秀論文発表賞選考

本表彰はレーザー科学の発展に貢献しうる優秀な一般講演を発表した若手会員に対して授与し、今後の研究奨励を目的としている。選定に当たっては、座長と採点者の2名で発表内容と発表の評価を採点し、2名の採点結果から、プログラム委員長が候補者を実行委員長に推薦する。実行委員長は理事会に推薦し、理事会にて決定することになる。今回の大会では、応募者数 65 名(A: 3名、B: 18名、C: 3名、D: 14名、E: 5名、F: 2名、G: 3名、H: 2名、I: 15名)であった。全採点者の平均点は 42.4 点(満点 60 点)であった。9 部門から原則として各1名を選考することが要請されているが、部門ごとの応募者数のバラツキがある点、部門ごとの平均点が多少異なる点、また、採点者ごとの点数に多少バラツキがあるので、各部門から1名の原則を考慮しつつ、2名選出も検討し、選考を行った。結果的に、2名の採点者が共に高い評価を与えた9名の候補者を実行委員長に優秀論文発表者として推薦した。なお、今回共著者に含まれる方を採点者として選出していた事例が1件あった。このため、当該採点者の点数を無効として1名の採点者の結果に基づき、審議した。採点者が2名であるので点数が大きく分かれる場合があるが、コメント欄に記述があれば、理由が判断でき選考に際しては非常に有効であった。中にはコメントがない場合があるので、1名に対する点数が 24 点(得点率 80%)以上の方には、良い点についてのコメントを積極的に記載するように依頼する方が良かったと感じた。また、選考採点表は会場アルバイトにより、会期中に全ての採点結果を回収することができた。現状、採点者がセッション終了後に会場アルバイトに手渡すことになっているが、アルバイトは採点者が誰か分からないこと、採点者がセッション途中で退出する場合があるため、アルバイトに

よる回収は困難である。そのため、会場受付や大会本部で採点表を回収することを採点者に連絡する紙を挿入する工夫が必要である。

1.3 次年度申し送り事項

1) 日程

主査、副査の方は忙しい人ばかりなので、第1、第2回プログラム委員会の開催日を同時に先に決めておくのが良い。

2) 投稿締切日

10月1日の投稿締切日は延長しない方針で行った。直前に投稿数が急激に増えるため数の目処が難しいが、最低投稿数を設定し、この数を下回る場合には締切日を炎症するなどの方針設定を予めしておくのが良いかと思う。一般投稿の少ない部門には個別に打診した。また、今回は月曜日が締切日であったために土日に登録をする人が多く、事務局には休日に負担をかけることになった。締切日の曜日設定を考慮する必要がある。

3) 地方開催

関西では大阪大学を含め大阪近郊で行うことが多く、初めての姫路開催となった。プログラム委員には、各種学会や大型プロジェクト等でご活躍されている若手・中堅の方や今回の大会テーマにちなみ企業の方を積極的に選出した。また、関西で開催するので関西でご活躍されている方に委員として選出することを依頼した。

4) 招待講演

招待講演は、年次大会の核となる講演であり、講演者、講演題目の選定は一般講演投稿の促進に極めて重要である。昨年からの引き継ぎ事項として、レーザー学会員以外の方を招待講演する場合に参加費を免除できないかというものがある。今回は参加費免除の代わりに、懇親会費を免除した。他学会でご活躍の方にレーザー学会員になって頂くような取組みを引き続き検討して頂ければと思う。

5) シンポジウム

今回は実行委員長の依頼のもと、大会テーマを掲げ、かつそれに則した魅力あるシンポジウムを多く企画することができた。一般講演件数を含めた会場規模からの制限はあると思うが、シンポジウムによる魅力ある講演企画についても引き続き検討して頂ければと思う。

6) プログラム委員会のやり方について

昨今、どの学会でもプログラム委員会のやり方については、可能な範囲で事前に情報を送付し

て部門ごとに調整することで、プログラム委員の時間と交通費などの経費の削減に役立たせている傾向にある。事前に部門内で調整して頂ければ、プログラム委員会も主査、副査のみで調整することも可能かと思うので、プログラム委員会のやり方についても検討してみることも必要かと考えられる。

7) 優秀論文発表賞の採点票回収について

現状、採点者がセッション終了後に会場アルバイトに手渡すことになっているが、アルバイトは採点者が誰か分からないこと、採点者がセッション途中で退出する場合があるため、アルバイトによる回収は困難である。そのため、会場受付や大会本部で採点表を回収することを採点者に連絡する紙を挿入する工夫が必要である。

8) 会場備え付けパソコンを用いて発表を希望する場合のスライドインストールの周知について

シンポジウム講演等において、セッション中に会場備え付けパソコンに USB による講演スライドをインストールしたいという申し出があった。全ての講演者に対して、会場備え付けのパソコンによる発表を希望する場合には、講演スライドはセッション前にインストールするように周知する必要がある。

9) シンポジウム「レーザー学会受賞記念講演」の扱いについて

ここ何回かは「レーザー学会受賞記念講演」は一つのシンポジウムとして開催しているが、シンポジウムが多くある場合には聴講者数は非常に少ないようであり、受賞記念講演であるにも関わらず、講演者にも良く思われていない状況にある。以前は該当する核部門に招待講演としてプログラムに入れるやり方もあったようである。受賞記念講演として重要視するのであれば、特別講演前後にシンポジウムを配置することも考えられる。このシンポジウムの扱いについては担当の黒澤先生と相談して頂ければと思う。

予稿集 USB 化に伴う変更事項、作業

プログラム委員長 的場 修

(1) 全体概要

予稿集の USB 化に伴い、発生した検討事項、作業等の概要を以下に示す。

なお、USB の発注数は 600 個である。

必要な作業	担当
予稿フォーマットの策定	プログラム委員長、副委員長、事務局
予稿フォーマットの掲載	事務局
予稿 PDF の収集	レーザー学会事務局
PDF ファイル名の書き換え (受付番号→講演番号)	プログラム委員長
業者への PDF ファイルの引き渡し	プログラム委員長
PDF ファイルへの講演番号と学会名の記入	業者(アプライド)
コンテンツ作成	業者
データ確認及び修正依頼	レーザー学会事務局、プログラム委員長
最終データ確認、了承	プログラム委員長

発注先：

営業	技術担当
アプライド 姫路店 樋上様	アプライド(株) 技術開発部
TEL 079-287-0065	濱田 健太郎様
himeji@applied-net.co.jp	create@applicats.co.jp
	〒812-0042 福岡市博多区豊 2-4-70
	TEL:092-436-1107/ FAX:092-436-1108

(2) コンテンツ

USB でのコンテンツの構成を以下の表に示す。トップページの概観は以下の図 1 の通りである。

大項目	項目
会場案内・日程表	第 33 回年次大会 セッション座長表 (プログラムへのリンク)
	大会会場への交通案内
	第 33 回年次大会会場平面図
プログラム	プログラム
大会概要	レーザー学会学術講演会第 33 回年次大会概要
	大会賛助
	第 33 回年次大会組織委員会
	講演部門名とキーワード
広告	広告
	その他(案内、国際会議等)

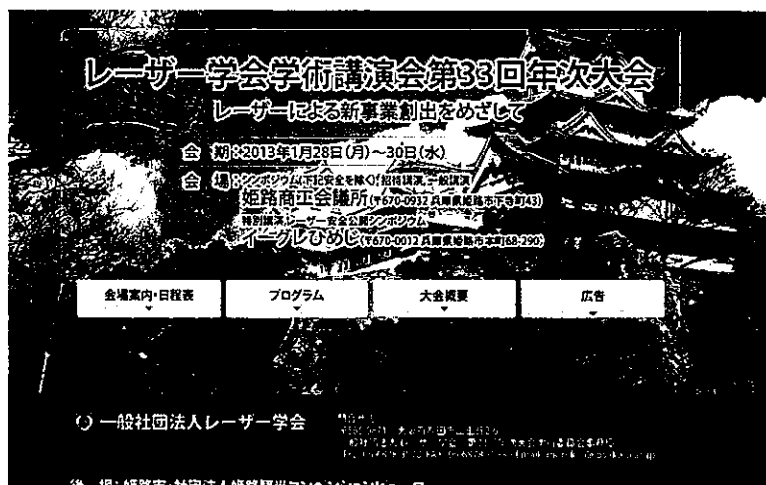


図1 USB トップページのご概観

(3) 作業日程

当初は、PDFファイルの加工(講演番号と第33回レーザー学会年次大会の記入、図2参照のこと)を学生アルバイトで行う予定であったが、フォーマットにより余計な文字を上書きする必要があるため、業者に作業を委託した。USB化に向けて、今年は一からコンテンツを作成したため、全体レイアウトの変更、PDFファイルの中身の確認、リンク確認などの作業が多くなり、大会開始直前まで作業することとなった。

日	内容
2012.10.16	第2回プログラム委員会
2012.10.31	予稿PDFの投稿締切
2012.11.16	事務局よりUSBデータの受取(プログラム委員長)
2012.11.26	業者とのデータ受け渡しに関する打ち合わせ
2012.12.14	テストデザインのupload
2012.12.18	PDFファイルの修正を業者に委託(5万円)
2012.12.25	業者から修正不可なPDFファイルリストの連絡
2013.1.7～20	<ul style="list-style-type: none"> PDFファイルの確認 リンク確認 広告等の全体レイアウトの修正
2013.1.21	プログラム委員長最終確認
2013.1.26(土)	USB納入

特別講演 P29p P01	レーザー学会学術講演会第33回年次大会講演予稿集
可視領域レーザーの光産業における価値と将来展望 Value and perspective of visible lasers in light industries	

図2 予稿でのヘッダ情報の追記

(4) 予稿フォーマット

予稿集の USB 化により従来の紙ベースとは異なる予稿のフォーマットを検討した結果を示す。また、特別講演、招待講演、一般講演のフォーマットを添付資料に示す。

	変更前	変更後
公開特別講演		A4 4ページ以内、カラー可
シンポジウム 招待講演	A4 2ページ以内	A4 2ページ以内、カラー可
一般講演	A4 1/2 ページ、モノクロ	A4 1 ページ、カラー可
共通事項	印刷時に業者が講演番号を記入	PDFファイルの中に講演番号を付加することで対応

(5) 検討事項

a. 電子化担当委員の任命(プログラム委員 or 実行委員)またはレーザー学会事務局

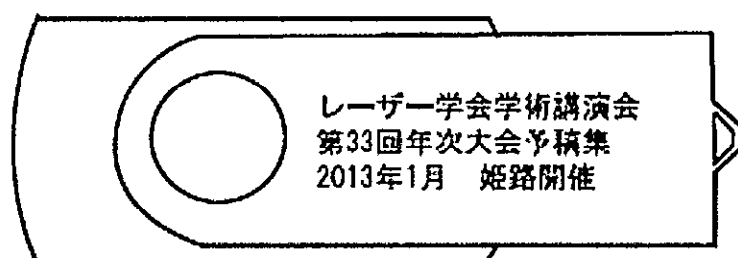
今回は USB 化が初めてであったので、プログラム委員長と事務局が連携して作業にあたった。ひな形が出来たので、これをベースにされる場合には業者とのやり取り、チェックを行う担当者を確定しておいた方が良い。その担当者は継続性からするとレーザー学会事務局にお願いできれば一番良いが、それが難しい場合にはプログラム委員か実行委員から選出するように調整する必要がある。

b. 特別講演、シンポジウム、招待講演、一般講演のテンプレートの更新

PDF のヘッダに講演種別、講演番号、年次大会名の3つを追加して記載する必要がある。ヘッダ部分は PDF に直接追記するのでテンプレートにはなにも記載がない方が後の作業が楽になるため、テンプレートの更新を検討してください。

c. どこまで業者委託とするのか。予算との兼ね合い。

コンテンツ作成、予稿集のリンクはり、上記 PDF の加工を業者にすべて委託するのか、それともアルバイトにするかは予算次第である。業者に委託する割合が増えると金額も増すため、参加費の改訂も含めて検討する必要がある。



予稿集媒体比較表

媒体	紙	CD-R	USB メモリー
価格	約 115 万円	約 11 万円	約 38 万円
利点	1. 閲覧に道具を要しない	1. 発行費用が安い 2. 検索性が良い 3. カラー原稿にできる 4. 持ち運びが容易 5. 保管場所に困らない	1. 発行費用が比較的安い 2. 検索性が良い 3. カラー原稿にできる 4. 持ち運びが容易 5. 保管場所に困らない 6. CD-R ドライブが無い PC でも閲覧できる 7. 空き容量は別の用途に使える(研究者同士のデータ交換等)
欠点	1. 発行費用が高い 2. 検索性が悪い 3. (予算面から)モノクロ印刷しかできない 4. 持ち歩くのが重い 5. 保管場所をとる 6. 予稿集用途以外に使用できない	1. 閲覧に CD-R ドライブ付きの PC が必要(最近のモバイル PC では閲覧できないことが多い) 2. 予稿集用途以外に使用できない	1. 閲覧に PC が必要

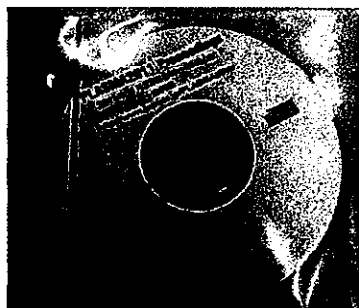
CD-R について

<価格内訳> (税抜き)

- CD-R 単価 180 円 (レーベル 1 色印刷、プラスチックケース入り、プレス) ×600 個
=108,000 円
- CD-R 単価 150 円 (レーベル 1 色印刷、不織布ケース入り、プレス) ×600 個
=90,000 円

<納期>2 週間程度

<完成イメージ>



USB メモリーについて

<価格内訳> (税抜き)

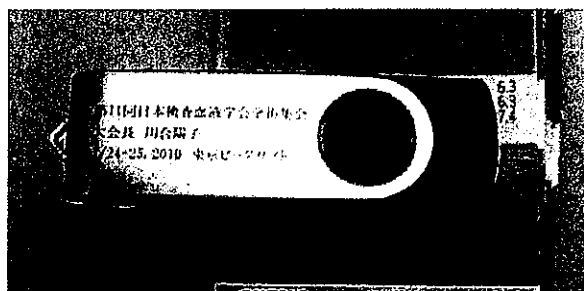
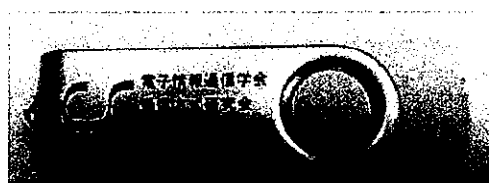
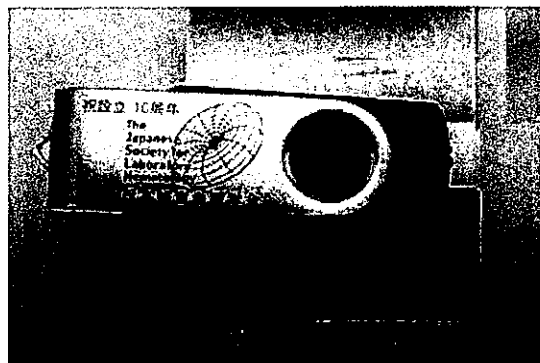
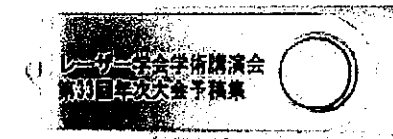
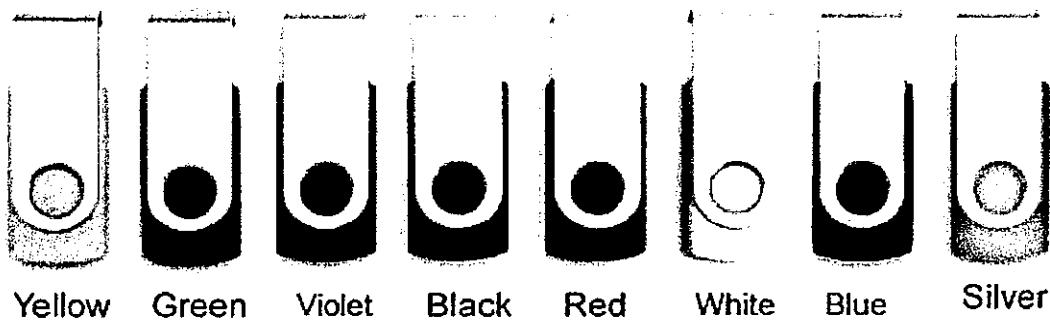
- USB メモリー単価 580 円 (容量 2GB、片面 1 色印刷、白箱入り、送料込み)×600 個+データインストール料 14,500 円
=362,500 円

<納期> 4~6 週間

<完成イメージ>

USB メモリーサイズ: 56×19×11mm

印刷面サイズ: 25×14mm



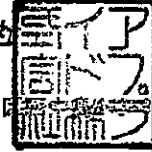
TEL:079-267-4859

見積番号: 61231213-1
平成24年12月13日

見積書・注文書

一般社団法人 レーザー学会

アプライド株式会社
SI大阪営業部



藤原 関夫様
古賀 麻由子様



〈ご捺印欄〉

本見積書は注文書としてご利用頂きます
その際は、「注文書」を〇印及び会社印
捺印の上弊社宛にご返送下さい。

〒532-0011大阪市淀川区
新大阪阪神ビル1階

TEL:06-6838-4123/FAX:06-6838-4122
mail:si_osakakita@applied-net.co.jp

納入場所 : ご指定場所
御支払条件 : 従来通り
見積有効期限 : 本日より1週間
納期 : ご注文より約3週間

合計¥ 372,000 也(税込)

承認印	担当印	担当印

品名	メーカー	品名 / 規格	数量	単価	金額(税込)	備考
USBメモリ	APPLIED	AL-X102 ブルー 回転式USBメモリ * 製版代、印刷代(シルクー色) データ入れ込み代、白箱代金込 * データ制作代金は 含まれておりません。	600	620	372,000	2GB
合計(消費税含む)					372,000	

備考

お見積りのご依頼を戴きまして誠に有難うございます。
何卒ご検討の程よろしくお願ひ申し上げます。

御 見 積 書

見積書番号：1550-121219-01

2012年12月19日

アプライド株式会社 技術開発部受託開発課

〒812-0042 福岡市博多区豊2-4-70

TEL:092-436-1107 FAX:092-436-1108

■下記の通り、御見積申し上げます。

合計金額	150,000 円(税込)
件名	レーザー学会学術講演会第33回年次大会様 USBコンテンツ制作【コンテンツ制作・PDFデータ加工作業】
納品日	8営業日程度
お支払方法	「ホームページ制作に関するご確認事項」をご確認ください。
見積有効期限	発行から2週間

内容	数量	単位	単価(円)	金額(円)
■開催概要コンテンツ制作	1	式	100,000	100,000
・デザイン制作				
・XHTMLコーディング(3ページ程度を想定)				
・PDFリンク設定(計336件を想定)				
■PDFデータ加工	1	式	50,000	50,000
・不要箇所の削除(塗りつぶし)				
・指定テキストの挿入				
・対象データ：1ページのデータ 221件				
2ページのデータ 113件				
4ページのデータ 2件				
計336件を想定				
			合計(税込)	150,000

※検証は以下のブラウザで行います。それ以前のブラウザでの検証は別途検証費用がかかります。

【必須】 Windows：IE8～9、及びFirefox/Safari/Chromeの納品時最新バージョン

備考

※現時点での概算となります。仕様・ボリュームの変更・追加が発生した場合、改めてお見積りいたします。

※ディレクターとお打合せは、メールおよび電話での対応とさせていただきます。

※原稿(文書・写真)などは、お客様にて完成データ(デジタル)でご提供をお願いします。

※ご納品日は8営業日程度を想定しております。

弊社の制作上の過失によって引き起こされる場合を除き、予定スケジュールを超過した場合、現状データでの納品とさせていただきます。

※上記お見積りはコンテンツ制作にかかる料金のみのお見積りとなります。

III-2.1 総務係兼広報係

中村龍哉(主査)、岡 好浩、山本 真一郎

内容:

- (1) 実行委員会の開催
- (2) 作業内容
- (3) 申し送り事項

(1) 実行委員会の開催

下記のように計3回の実行委員会を開催した。

第1回実行委員会

日時:平成24年7月6日(金) 14:40-16:10

場所:兵庫県立大学書写キャンパス5号館2階5207室

議事:

1. 実行委員会とプログラム委員会の組織
2. 実行組織の役割分担と作業
3. 全体計画とマスタースケジュール
4. 講演会場、懇親会場について
5. 公開特別講演会について
6. 助成、賛助について
7. ポスター作成
8. 今後の作業計画

第2回実行委員会

日時:平成24年10月26日(金) 14:00-17:00

場所:姫路商工会議所

議事:

1. 第1回実行委員会議事録確認
2. プログラム委員会報告
3. 各係準備作業と当日実行計画
4. 次回実行委員会について
5. 会場下見
6. その他

第3回実行委員会

日時:平成25年1月27日(日) 16:00-19:00

場所: 姫路商工会議所

議事:

1. 第2回実行委員会議事録確認
2. プログラム委員会報告
3. 各係最終準備状況確認
4. 会場準備
5. その他

(2) 作業内容

【事前準備】

- ・ポスター作成、手配
ポスター写真は姫路市の利用可能な公開写真を使用し、文字等のデザインは中村先生が作成された。
- ・懇親会送迎バス手配(3台)
地元の神姫バスを利用し、観光バスではなく路線バスを使用して経費削減に努めた。
- ・弁当手配
地元の「まねき食堂」の弁当を手配。弁当の種類は1種類として、お茶を付けて釣り銭の少ないように工夫し、日替わりの内容にした。
- ・保険手配
- ・お茶手配
- ・会場周辺飲食店マップ作成
- ・本部機材レンタル依頼(副委員長所有の物)
- ・実行委員、現地実行委員用の名札作成
- ・弁当引き替え券作成
- ・本部、クローク、弁当販売場所の設営
- ・別会合の弁当、お茶の手配
- ・ポスター貼り付け

【当日作業】

- ・弁当販売と予約受付
- ・弁当、お茶手配
- ・クローク業務
- ・写真撮影(ほぼ副委員長が対応)
- ・特別シンポジウム会場への誘導
- ・名札作成(事前連絡がなかった分)
- ・送迎バスへの誘導
- ・別会合の弁当、お茶の手配と配達
- ・ゴミ処理

(3) 申し送り事項

- ・会場周辺にレストランが少なかったので弁当(お茶付き)を 600 円で販売した。苦勞のわりに利用者
はごくわずかであった。今後、参加者への弁当の手配は必要ないと思われる。
- ・大会関係者の弁当は数だけを管理していたため、数が合わない日があった。大会関係者の弁当も
リストが必要である。
- ・クロークにはコートを預ける人が多いので、ハンガーの準備が必要である。
- ・事前準備では各係の役割分担を細かいところまではっきりさせる必要がある。今回は別の係や事務
局と同じ準備をしてしまう無駄な作業が多かった。
- ・事務局の積極的な協力が必要である。
- ・アルバイトは 3 人でクローク業務 2 人、弁当販売 1 人とした。弁当が想定以上に売れなかったため、
人は余っていた。

添付書類:

- ・保険証券のコピー
- ・名札

第33回レーザー学会年次大会実行委員会(姫路)

第一回実行委員会議事録

日時:平成24年7月6日(金)14:40~16:40

場所:兵庫県立大学工学部(書写キャンパス)5号館2階5207室

出席者:大沢、本多、関岡、多田、石野、伊藤、布引、望月、藤原、宮本、菊池、中村、岡、天野、松井、上野、古賀(書記)(順不同、敬称略)

0. 望月実行委員長からの挨拶

1. 実行組織の役割分担と作業

事務局より資料をもとに説明が行われた。

2. 実行委員会とプログラム委員会の組織

- 実行組織と役割分担の内容確認が行われた。
- 学会誌掲載予定の原稿に一部誤字があるため藤原副実行委員長より事務局にメールで連絡する。
- 開催後の実施報告書は申し送り事項を伝えるのが目的なので形式は問わない。開催後すみやかに作成し、作業終了する。
- 会場係は会場レイアウトが主な役割である。プログラムが決まってからの作業となる。第2回実行委員会までに具体的な案を出せるようにする。パソコンはレンタルする。パソコンの準備は会場係の役割である。
- 運営資金の振り込みは事務局が行うが口座管理は会計係が行う。学会、懇親会の参加費は当日現金受付で行う。

3. 全体計画とマスタースケジュール

(1) 第33回年次大会概要

事務局より資料をもとに説明が行われた。

(2) 全体スケジュール

スケジュールの確認が行われた。10月の実行委員会までに事務局から各係への依頼事項のリストを作成することになった。各係での検討も歓迎する。

(3) 年次大会予算案

予算案の説明が藤原副実行委員長より行われた。

- 今回からの試みとして予稿集のUSB化がある。参加費は千円値上がりしているが予稿集が無料になる。USB化作業費は10万円計上しているが、未定である。見積り中。
- 招待講演者・シンポジウム講演者には、謝金、旅費の支給はなく、参加費は従来通り会員料金とさせていただきます。ただし、懇親会は会員・非会員の区別無く無料招待とする。(従来:会員・非会員の区別無く参加費は会員料金、予稿集は無料、懇親会は有料)また、現地実行委員は姫路の事情に合わせて特例として参加費を免除とする。

4. 講演会場について

事務局より説明が行われた。

5. 懇親会

予算案について説明が行われた。参加者は160人で総額120万円(バス輸送費含む)を計上している。シンポジウム・招待講演者は無料招待する。無料招待者は約80人で約半分が参加すると予想。有料参加者110名+賛助企業各1名+招待者40名+名誉会員3名=160名。会場は最大収容人数160人程度。1、2台の送迎バスを運行させることを考えている。懇親会係には場所も含め、費用対効果が高い運営を行って欲しいとの要望があった。

6. 予算の取り扱いについて

- ▶ 賛助金、助成金、広告収入は新設口座に直接入金される。
- ▶ 予算の取り扱い方法について学会としては特に取り決めはない。茶菓子や昼食代に使用することも可能である。現在は実行委員会用の口座開設が難しい場合が多いため、レーザー学会事務局に口座開設をお願いする、もしくは既に学会で持っている口座を使用させて欲しいとの要望が出された。可能かどうか事務局で検討することとなった。事前にある程度の金額を入金して欲しいとの要望が出された。
- ▶ 当日現金授受では混乱が予想されるとのコメントが出された。事前申し込みにした方が良いとの意見が出たが、現状では対応していないと事務局からの回答があった。

7. 公開特別講演会、シンポジウムについて

会場に関する説明が行われた。特別講演は2件程度を予定している。公開特別講演会は実行委員会で決定し、シンポジウム・招待講演はプログラム委員会で決定する。(従来通り)

8. 賛助、助成について

賛助について説明が行われた。各委員には依頼先を推薦いただきたいと事務局より要請があった。推薦の時点で内諾をとる必要はない。

9. ポスター作成について

歴代ポスターの説明が事務局より行われた。大きさはA2サイズ。前年はプロにデザインを頼んだ。総務担当の中村教授製作のポスター案について議論がなされ、公募はせず試作ポスター(開催地が分かり易い姫路城の入ったポスター)を採用することとなった。城は改修中と書いて置いた方が良いのではないかとコメントが出された。協賛、後援等の記入を忘れないようにする(コンベンションビュロー、経営者協会、姫路市、等)。必要なポスター枚数は学会が300枚程度使用プラス現地使用枚数となる。

10. その他

- 現地実行委員のほとんどがレーザーとは無関係で学会員ではないため、謝礼は支払われぬのか事務局に確認がなされ、希望者がいれば入会金会費無料で本年度特別会員にするなどの措置もできるかもしれないとの回答があった。
- 学会当日の混雑を避けるため、(ホームページからダウンロードした)受付用紙に事前記入できるようにしておいてはどうか、との提案があった。
- 企業では USB 予稿集の購入が難しい可能性があるとの指摘に対し、参加費に含まれる配布物扱いなので問題ないのではないかと回答があった。

以上



第二回年次大会実行委員会議事録（案）

日時:10月26日(金)15:00~18:00

場所:姫路商工会議所 604会議室

出席者:望月、藤原、的場、宮本、山本、大沢、岡、松井、古賀(書記)、菊池、奥田、多田、森、牧野
(順不同、敬称略)

1. 望月実行委員長からの挨拶

1. 各係からの報告(括弧内は報告者)

総務係(岡)

- ・ ポスター作成完了
- ・ 弁当について
 - 弁当を食べるところは受付近くに設けたコーヒーエリアおよびパブリックスペース(占有しなければOKとのこと)。
 - 初日の弁当の数は委員の人数プラス100個を用意する。二日目、三日目は10時までチケットの販売を行い、把握できた数を発注する。弁当の配布は業者にお問い合わせできないか確認する。メニューは1日1種類が良い。
 - レストランマップは商工会議所から紹介を受け総務が作成する。

(商工会議所担当者からの情報)

- ・ 会議室での飲食は可。パブリックスペースでの飲食は占有しないのであればOK。レストランの紹介はできる(来月いっぱい岡先生に連絡する)。
- ・ ゴミ袋は販売するがゴミ箱はない。
- ・ LANの口はあるが無線LANはない。運営側で無線システムを用意すれば利用するのはOK。
- ・ 看板は備え付けスペースを利用してほしい。
- ・ 当日は8時半からカギを渡せる。
- ・ 展示会場の設営でパーティションの設置等中央管理を使うなら別途料金が発生する。

・バスについての議論

- 17時半に特別講演が終了してから行きは4台で一斉に出発。帰りは2台ないし1台でピストン輸送を予定。
- 費用は1台4万程度を考えている。神姫バスと交渉の必要有り。

会計係(事務局)

- ・ 180万円(賛助金)+70万円(広告)=250万円を予定
現在は賛助金150万円+広告2件9万円

広告はアークハリマに打診中で10万円弱は見込めると予想している。まだ足りないので地元企業を事務局に推薦してほしい。

- ・ 観光ビューローの助成金は最高50万円程度を期待している。前回仙台は30万円であった。
- ・ 年会用の通帳は作成済み
- ・ アルバイト人数の概算は会計1+総務2+会場7~8+受付7+弁当1=19名/日。詳細はアルバイト係がとりまとめる。
- ・ 昨年あった本部受付のアルバイトは電話番号が主な仕事だった。

受付係(菊池)

- ・ 展示ホール配置の説明があった。
 - コーヒーエリアで用紙に記入してもらう。
 - 本部は別に1部屋あるが会場との連携を考えて受付隣にも設置した。
 - 受付横には掲示板(ホワイトボード)を設置した方がよい。
 - クロックを設置する。
- ・ イーグレにも人員を配置する

会場係(奥田)

- ・ アルバイト表作成した
- ・ 会場レイアウトを作成した
- ・ PCは総務係がレンタルする。業者は必要であれば事務局から情報を提供する。
- ・ ベル、ポインター等は事務局から持って行く。
- ・ USB予稿集の印刷設備は設けない
- ・ テーブルタップを用意する必要がある。延長コードなど商工会議所が持っていないか総務係で確認する。
- ・ コーヒーポット(40杯)×2を設置する。経験上1日400杯くらい出るので何回かに分けて交換する予定である。

懇親会(藤原)

- ・ 懇親会は移動時間を考慮し、18時半開始とした
- ・ 参加者は150~200名と予想している
- ・ 招待者は120名
- ・ バス代は雑費から支出予定
- ・ ポスターには18時から開始と表示しているとの指摘があった。ウェルカムドリンクはできるか灘菊と相談することになった。
- ・ 式次第について議論が行われ、挨拶は中井先生、姫路市関係者、学長等、望月先生がピックアップすることとなった。

アルバイト係(多田)

- ・ 必要数、時間を含めてアルバイトの詳細をとりまとめる
- ・ 募集の手立てを考える

広報係(岡)

- ・ 看板の準備をする
- ・ 大会の横断幕等作成するかは現地実行委員会に任されている。去年は吊り看板はなかった。
- ・ 昨年、お酒のポスターは総務が作成していたが、懇親会係が作成するのでもいいのではないかと意見が出された。

展示会(大沢)

- ・ レーザーソリューション 1 コマ 1 テーブル 15000 円。搬入時間は相談したい。搬出は最終日 15 時から。
- ・ パーティションは日曜日 18 時からビルメンテと行う必要があるかもしれない。費用は大澤氏がビルメンテに問い合わせる。
- ・ コーヒーはレーザーソリューションが対応する
- ・ ウシオ電機は部屋を別に借りて展示するかもしれないと聞いた。

2. 事務局からの連絡

- ・ 会場へのアクセスマップと会場のマップを 11 月 14 日までに事務局に送付して欲しい(会場係で対応)
- ・ 別会合の昼食代は別会計で行う
- ・ 最終日 18 時には部屋を空けて欲しいと藤原先生から要請があった
- ・ 写真撮影(特別講演会と懇親会はマスト)(総務係で対応する)

3. プログラム委員報告

- 講演数総計334件は過去最高数となった
- 優秀論文賞審査用紙は座長に受け付けで渡す
- 採点結果は各会場からアルバイトが本部にもってくる

4. スケジュール確認

- ・ 27 日 18 時以降設営を行う。仙台の時は前日にもアルバイトを招集し、費用も支払った。今回はどうするか要検討。
- ・ 本部室は前日から借りている
- ・ 保険に入るかどうか(アルバイトと実行委員)。去年は入っていなかった。一昨年の資料を事務局から総務係に送る。

- ・ 前年報告書の電子ファイルを事務局から多田先生に送付する。まとめたファイルがないか藤原先生から昨年の実行委員長に確認する。
- ・ USBスケジュールについては的場先生が業者と連絡取っている。11月末原稿完成予定。
- ・ 現地実行委員のほぼ全てが学会員ではないため、参加費免除について確認があった。ただし、講演を聴かないことから、USB 予稿集は渡さず、業務に必要な次第書のみ配布する。

以上

レーザー学会学術講演会第33回年次大会

33rd Annual Meeting, The Laser Society of Japan

レーザーによる新事業の創出をめざして

会期：2013年1月28日(月)～30日(水)

会場：姫路商工会議所 (姫路駅よりバス5分, 徒歩20分)

公開特別講演(入場無料) 1月29日(火)15:30～17:30

イーグレひめじ あいめっせホール

『可視領域レーザーの光産業における価値と将来展望』

ウシオ電機(株)固体光源事業部長 杉谷 晃彦 氏

『メディカルフォトリクス の現状とその将来』

日本レーザー医学会理事長 菊地 眞 氏

シンポジウム 1月28日(月)～30日(水)

・次世代エンジンのためのレーザー点火

●周波数コム光源とその計測応用の進展

・SPRING-8, SACLAで展開されるレーザー計測

・医学と光・レーザー技術とのコラボレーション

・期待される次世代産業用レーザー加工技術開発

・レーザーの農業応用<動き出した固体光源植物工場>

・太陽光励起レーザー<先端レーザー技術が切り拓く次世代エネルギー>

・レーザー学会賞受賞記念講演

・レーザー安全公開シンポジウム

参加費(USB予稿集)

正会員/賛助会員：6,000円

学生会員：2,000円

非会員：8,000円

一般講演申込期限 10月1日

懇親会(有料) 1月29日(火) 18:00～

併設展示会(入場無料) Laser Solution 2013

レーザー学会 <http://www.lsj.or.jp/>

〒770-0001 兵庫県姫路市本町5-1-1

賠償責任保険申込書 (お客さま控)

三井住友海上火災保険株式会社 宛

申込書 (付帯書類を添付せず) の記載事項に基づいてこの保険契約にかかわる契約書 (特約書、免状書等) はこの申込書に添付されたものに限り有効であることをお断りのうえ、賠償責任保険賠償金請求の際、特約書が適用される保険契約を申し込めます。

申込日 平成 年 月 日 671-2201 079-266-1661

申込者 兵庫県 姫路市 書写2167
兵庫県立大学 工学部内

代表者 兵庫県立大学 工学部
教授 中村 龍哉

〒2167 兵庫県 姫路市 書写2167

〒2167 兵庫県 姫路市 書写2167

保険契約者 兵庫県立大学 工学部
代表者 中村 龍哉
〒2167 兵庫県 姫路市 書写2167

一時払
保険期間 平成25年1月29日 午後6時 から
平成25年1月30日 午後4時まで 1日間
562 名称 4-ジ*ビルダ
569 所在地 兵庫県 姫路市
565 適用地域 兵庫県 姫路市

品名	数量	品目	1個あたり賠償限度額 (円)	合計賠償限度額 (円)	免状金額 (円)	免状額 (円)	免状率 (%)	賠償率 (%)	支払総額 (円)	支払総額 (円)	支払総額 (円)
500 施設所有者 (管理)者 10	524 W7 借用イベント施設損壊補償	504 AE 507 300名 502 身体 100,000 501 500,000 504 10,000 503 300名 502 100,000 501 500,000 504 10,000 503 300名	502 100,000 501 500,000 504 10,000	502 100,000 501 500,000 504 10,000	401 500,000 402 10,000	0 0 0	701 700 702 5,180	700 5,180	700 5,180	700 5,180	700 5,180

新規模 (060) 代理店フリーコード (066) : 686008

申込書作成日 平成25年1月18日11時39分

2010 4 改訂

MS&ND 三井住友海上

賠償責任保険申込書(お客さま控)

三井住友海上火災保険株式会社

申込日 平成 年 月 日 671-2201 077 079-266-1661

契約区分 種別 696 印刷番号 16953465

申請番号 NB32190524

申込人 兵衛 中村 龍毅
 〒115 兵衛 中村 龍毅
 〒115 兵衛 中村 龍毅

名称 兵衛 中村 龍毅
 〒115 兵衛 中村 龍毅
 〒115 兵衛 中村 龍毅

職業 工学部 工学部
 〒115 兵衛 中村 龍毅
 〒115 兵衛 中村 龍毅

〒115 兵衛 中村 龍毅
 〒115 兵衛 中村 龍毅

契約期間 平成25年1月27日 午前6時から
 平成25年2月2日 午後4時まで 6日間

契約区分	種別	印刷番号	申請番号
696		16953465	NB32190524
保険期間	年	月	日
平成25年	1	27	
代理人	兵衛 中村 龍毅		
住所	〒115 兵衛 中村 龍毅		
職業	工学部		
契約金額	700		
支払方法	口座振替		
口座番号	724 住友生命		
印字番号	E23		
住所	〒115 兵衛 中村 龍毅		
職業	工学部		
契約金額	700		

種類	品名	数量	保険料	補償額	支払限度額	支払額	残額	支払日
1	500 施設所有者 (管理)者	10	500	300	300	300	0	5,190
521	W7 借用イベント施設損壊補償	521	300	300	300	300	0	700
502	4E	300	500	500	500	500	0	700
503	ニホーサー9741	300	500	500	500	500	0	700

507 保険料 5,000

508 手数料 317

509 合計 5,317

510 保険料 310

511 手数料 3

512 合計 313

513 保険料 700

514 手数料 3

515 合計 703

516 保険料 5,880

517 手数料 317

518 合計 6,197

519 保険料 5,880

520 手数料 317

521 合計 6,197

522 保険料 5,880

523 手数料 317

524 合計 6,197

525 保険料 5,880

526 手数料 317

527 合計 6,197

528 保険料 5,880

529 手数料 317

530 合計 6,197

2010 4 22

MS&AD 三井住友海上

賠償責任保険申込書 (お客さま控)

三井住友海上火災保険株式会社宛

申込書 (付属書類をきかます。)の取扱事項およびこの保険約款にかかわる契約書 (特約書・乗車書)は、この申込書に添付されたものに限り有効であることとを承諾のうえ、賠償責任保険標準保険約款・特約約款・特約が適用される保険契約を申し込みます。

010 申込日 平成 年 月 日 012 〒 671-2201 011 区 079-266-1661

013 住所 兵庫県姫路市 書写2167
014 兵庫県立大学 工学部内

015 申込者 兵衛 隼哉 工学部教授
中村 龍哉
〒719-0145

016 保険料 377円/年
017 399円/年
018 307円/年
019 *341円/年

020 一時払
021 契約期間 平成25年1月28日 午後6時 から
平成25年1月31日 午後4時まで3日間
022 契約内容 火災保険
023 証券番号 F23
024 566 運用地域 岡山県
025 566 運用地域 岡山県

026 582 名称 エビノヤカガキイノイ
027 583 所在地 エビノヤカガキイノイ
(COVER MARKET)

品名	数量	単価	品名	数量	単価	品名	数量	単価	品名	数量	単価	品名	数量	単価
500 受託者	1	40	503 4M材		504 A9		507 3,000千円 (SIH: 構造躯体)		604 3,000		606 3,000	402	5	702 1,290

028 保険料 377円/年
029 399円/年
030 307円/年
031 *341円/年

032 代理店 コーポレート (066) : 686008
033 申込書作成日 平成25年1月21日 18時20分
034 2010.9

035 5,000 円

1. 本申込書の記載事項は、本申込書の記載事項に準じて行われ、本申込書の記載事項と異なる場合は、本申込書の記載事項に準じます。
2. 本申込書の記載事項は、本申込書の記載事項に準じて行われ、本申込書の記載事項と異なる場合は、本申込書の記載事項に準じます。
3. 本申込書の記載事項は、本申込書の記載事項に準じて行われ、本申込書の記載事項と異なる場合は、本申込書の記載事項に準じます。

レーザー学会学術講演会
第33回年次大会

実行委員会

委員長

望月 孝晏

レーザー学会学術講演会
第33回年次大会

実行委員会

副委員長

藤原 関夫

レーザー学会学術講演会
第33回年次大会

実行委員会

副委員長

畑中 秀和

レーザー学会学術講演会
第33回年次大会

実行委員会

顧問

松浦 祐司

レーザー学会学術講演会
第33回年次大会

実行委員会

プログラム委員長

的場 修

レーザー学会学術講演会
第33回年次大会

実行委員会

プログラム副委員長

宮本 修治

レーザー学会学術講演会
第33回年次大会

実行委員会

プログラム副委員長

石野 正人

レーザー学会学術講演会
第33回年次大会

実行委員会

展示会実行委員長

山本 和久

レーザー学会学術講演会
第33回年次大会

展示会

事務局

上野 直樹

レーザー学会学術講演会
第33回年次大会

展示会

事務局

大沢 哲夫

ものづくり大学校からのお知らせ「ものづくり体験館」オープン!!!

平成25年1月に姫路市市之郷にオープンする「ものづくり体験館」では、将来の進路を選択するうえで重要な時期となる中学生等に対し、ものづくりの魅力と奥深さを伝えるため、本格的なものづくり体験の機会と場を提供します。

各技能士会の「ひょうごの匠」やものづくり企業OBの熟練技能者なども講師に加え、ものづくり体験学習(平日に中学校が利用)や体験講座

(春・夏・冬休み、などに個人又は一泊で利用)を行います。また、展示学習スペースは、「ひょうごの



休日
グル
ドを
1階
スで
匠」

の作品やものづくり企業の製品などを展示しています。皆様のご利用をお待ちしています。

ものづくり体験指導者(候補)を募集

県内企業などで長年に渡り培った熟練の技を有する方々を対象に指導者を募集しています。

■指導内容

・主に中学生に、金工・木工・電工を実演、指導

■募集分野

「金工」、「木工」、「電工」

お問い合わせ先

〒670-0947 姫路市市之郷1001-1

ものづくり大学校企画調整課(担当:高本、大塚)

TEL 079-240-7081 FAX 079-281-6626

<http://www.monodai.ac.jp/index2.html#6>

兵庫県 企画県民部 企画財政局からのお知らせ『電子証明書の取得はお早めに!』

インターネットでe-Tax(国税電子申告・納税システム)を利用して、本人の電子証明書を付して期間内に確定申告を行った場合、所得税額から最3,000円(H24年分の所得税額を限度とします)が控除される特別控除制度が設けられています(H19~23年分で控除制度を利用された方は対象外です)。

ぜひ、この機会に公的個人認証サービスの電子証明書を取得いただきますようお願いいたします。■詳しくは、次のHPをご覧ください。

【住基カード】<http://juki-card.com/index.html>

【電子証明書(公的個人認証サービス)】

<http://www.jpki.go.jp/>

【ICカードリーダーライタ】<http://www.jpki-rw.jp/>

【e-Tax(国税電子申告・納税システム)】

<http://www.e-tax.nta.go.jp/>

お問い合わせ先

兵庫県 企画県民部 企画財政局

情報企画課 行政情報化係 TEL:078-362-3047

姫路市生きがい推進課からののお知らせ 平成24年度

退職を控えた人や退職直後の人がスムーズにセカンドライフに移行し、充実した毎日を送るヒントとなる講座を開催します。

対象:定年退職を控えた人や、すでに退職している人で、これからの時間の使い方、人生の過ごし方について考えたい人(男女問わず)※50代~60代前半を想定

定員:30人程度

日時:平成25年2月2日(土)14:00~16:00

平成25年2月9日(土)14:00~16:00

放送大学からののお知らせ 放送大学4月入学生募集

放送大学はテレビ等の放送やインターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で、幅広い世代の方が学んでいます。

ただ今平成25年度4月入学生を募集しています。詳しい資料を無料で送付致しますので、お気軽にお問い合わせください。

■募集学生の種類

一 教養学部

科目履修生(6ヶ月在学し、希望する科目を履修)

50代からのセカンドライフ発見セミナー

平成25年2月16日(土)14:00~16:30

場所:姫路市市民会館

受講料:無料

詳しくはHPをご覧ください。

<http://www.city.himeji.lg.jp/s30/2212986.html>

お申し込み・お問い合わせ先

姫路市生きがい推進課 TEL:079-221-2986

選科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)

前科履修生(4年以上在学し、卒業を目指す)

一 大学院

修士科目生(6ヶ月在学し、希望する科目を履修)

修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修)

出願期間:平成25年2月28日まで

資料請求(無料)・お問い合わせ先

放送大学 兵庫学習センター TEL:078-805-0052

姫路サテライトスペース TEL:079-284-5788

レーザー学会からののお知らせ

公開特別講演とレーザー安全公開シンポジウムのご案内

社団法人レーザー学会第33回年次大会が姫路商工会議所で開催されるのを機に、一般の方も理解しやすい公開特別講演とレーザーや強い光を扱う従事者のためのレーザー安全公開シンポジウムを同時開催します。

○公開特別講演

日時:平成25年1月29日(火)15:30~17:30

場所:イーグレひめじ3階あいめっせホール

○レーザー安全公開シンポジウム

日時:平成25年1月30日(水)14:00~17:15

場所:イーグレひめじ地下1階アートホール

受講料 何れも無料

申し込み・問い合わせ先

詳しくはHPをご覧ください。www.lsj.or.jp

レーザー学会 TEL 06-6878-3070

姫路実行委員(藤原) TEL 079-267-4866

行政等からの **information** お知らせ

■ 姫路市生きがい推進課からのお知らせ **平成24年度 50代からのセカンドライフ発見セミナー**

退職を控えた人や退職直後の人がスムーズにセカンドライフに移行し、充実した毎日を送るヒントとなる講座を開催します。

- 対 象 定年退職を控えた人や、すでに退職している人で、これからの時間の使い方、人生の過ごし方について考えたい人(男女問わず)
※50代～60代前半を想定
- 定 員 30人程度
- 日 時 平成25年2月 2日(土) 14:00～16:00
平成25年2月 9日(土) 14:00～16:00
平成25年2月16日(土) 14:00～16:30

- 場 所 姫路市市民会館
 - 受講料 無料
- 詳しくはHPをご覧ください。
<http://www.city.himeji.lg.jp/s30/2212986.html>

お申し込み・問い合わせ先
姫路市生きがい推進課 TEL 079-221-2986

■ 放送大学からのお知らせ **放送大学4月入学生募集**

放送大学はテレビ等の放送やインターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で、幅広い世代の方が学んでいます。ただ今、平成25年度4月入学生を募集しています。詳しい資料を無料で送付いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

- 募集学生の種類
(教養学部)
科目履修生(6ヶ月在学し、希望する科目を履修)
選科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)
前科履修生(4年以上在学し、卒業を目指す)

- 〈大学院〉
修士科目生(6ヶ月在学し、希望する科目を履修)
修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修)
- 出願期間 平成25年2月28日まで

資料請求(無料)・お問い合わせ先
放送大学 兵庫学習センター TEL 078-805-0052
姫路サテライトスペース TEL 079-284-5788

■ レーザー学会からのお知らせ **公開特別講演とレーザー安全公開シンポジウムのご案内**

社団法人レーザー学会 第33回年次大会が姫路商工会議所で開催されるのを機に、一般の方も理解しやすい公開特別講演とレーザーや強い光を扱う従事者のためのレーザー安全公開シンポジウムを同時開催します。

- 公開特別講演
 - 日 時 平成25年1月29日(火) 15:30～17:30
 - 場 所 イーグレひめじ 3階 あいめっせホール

- レーザー安全公開シンポジウム
 - 日 時 平成25年1月30日(水) 14:00～17:15
 - 場 所 イーグレひめじ 地下1階 アートホール
- 受講料は何れも無料です。
詳しくはHPをご覧ください。 <http://www.lsj.or.jp>

お申し込み・お問い合わせ先
レーザー学会 TEL 06-6878-3070
姫路実行委員(藤原) TEL 079-267-4866

■ 21世紀播磨科学技術フォーラムからのお知らせ **第44回セミナーと交流会のご案内“水の科学と安全保障とビジネス機会”**

- 日 時 平成25年2月1日(金)
セミナー 14:00～17:30
交流会 17:30～19:00
- 演 題 「水の科学—水の機能について考える」
講師:神崎 愷氏(神奈川工科大学)
「水の安全保障に向けて」
講師:吉野 悟氏(日本水フォーラム マネジャー)
- 場 所 姫路キャッスルホテル
- セミナー参加費 会員 無料、非会員 2,000円

- 交流会参加費 2,000円
- 詳しくはHPをご覧ください。
<http://www.lasti.u-hyogo.ac.jp/21/>

お申し込み・お問い合わせ先
兵庫県立大学高度産業科学技術研究所内
フォーラム事務局 担当:森口、望月
TEL 0791-58-0357 FAX 0791-58-0244

■ 姫路市産業振興課からのお知らせ **海外販路拡大セミナー ～如何にして製品やサービスを海外で売るか!!～ を開催します**

「如何にして製品やサービスを海外で売るか」をテーマに、ジェトロ講師による講演と播磨国際協議会会員によるパネルディスカッションを行います。セミナー終了後個別相談会も開催します。ぜひご来場ください。

- 日 時 平成25年2月12日(火) 13:30～16:30
- 会 場 姫路商工会議所 6階 605会議室
- 定 員 40名(参加無料)
- 個別相談 事前申込制
- 内 容
【基調講演】
「サービス産業の海外展開」
講師:ジェトロ神戸 係長 西尾 瑛里子氏

- 【パネルディスカッション】
「繊維業・食品業・サービス業の海外販路拡大戦略」
パネリスト:播磨国際協議会会員企業4社
(株)シンセイコーポレーション・ヤエガキ酒造(株)
(株)三機サービス・岡野食品産業(株)
- 申 込 産業振興課HPより申込書をダウンロードし、下記までお申し込みください。締め切りは2月1日(金)

お問い合わせ先
姫路市役所 産業振興課
TEL 079-221-2506 FAX 079-221-2508
E-mail:sankou@city.himeji.hyogo.jp
URL:http://www.city.himeji.lg.jp/s60/2212506/_20191.html

III-2.2 会計係

松井 伸之、古賀 麻由子、上浦 尚武

1 概要

大会賛助金は予算額を満たすことができた。広告収入は予算額に達しなかったが、姫路市からの助成金 70 万円を得ることができ、結果的に予定していた以上の資金を得ることができた。また、懇親会参加費等の収入は、ほぼ予算通りであり、大会参加費の収入については予想以上に非会員の方に参加していただいたことで、参加費も予定より多い収入となった。これらの結果は、委員各位、事務局およびその他関係者のご尽力によるところが大きく、全体の収支についてはかなりの黒字となった。

2 主な作業内容

(1) 大会前々日まで(～1/26)

- 口座開設 (三菱東京UFJ銀行)(事務局の協力)
- 賛助金入金確認 (事務局の協力)
- 各種支払い手続き (事務局、副実行委員長の協力)
- 謝金、交通費、アルバイト代の支払い金額の把握 (事務局、アルバイト係と連携)
- 封筒、領収書準備 (事務局と連携)

(2) 大会前日 (1/27)

- 会場内会計係作業場所 (現金取扱場所)の設置 (受付近く)
- 受付係との現金授受に関する打ち合わせ

(3) 大会期間中 (1/28～1/30)

- 受付係との現金受け渡し業務
- 入金作業と釣銭準備 (三菱東京UFJ銀行および近隣銀行)
- アルバイト代支給および領収書回収
- 謝金支給および領収書回収
- 各種支払の対応
- 入出金額の確認 (受付記録との照合)

(4) 大会終了後 (2/1～)

- 各種支払手続き
- 交通費、雑費の精算
- 広告費等の入金確認
- 展示会会場費の請求書送付(事務局の協力)
- 会計報告書の作成

- 口座解約と残金処理（事務局と連携）

3 収支について

収支として 1. 概要で述べたとおり黒字決算となった。

(1) 反省事項および次年度への申し送り事項

- 銀行口座開設等について
- 賛助金の入金のため前年の 8 月位までには口座開設すること（前回申し送り事項を踏襲）
- 事務局に大会前の口座開設および入金確認についてご協力いただいた
- 口座は法人口座で、口座名義は「レーザー学会年次大会事業代表理事中井貞雄」（カードにはレーザーガッカイネンジタイカイと記載）とした

(2) 現金、通帳、印鑑、カードの管理について

- 通帳、カードは会計委員が管理した
- 会期中の現金は小型金庫（大学事務保有）に入れて保管した。また、会場隣接のホテルを副実行委員長の宿泊先とし、移動中の事故がないよう注意を払った（前年度の申し送り事項を参考とした）。
- 入金は 1 日 1 回、夕方に大会会場より徒歩 20 分程度の支店（三菱東京UFJ銀行 姫路支店）を利用した。なお、入出金時の移動はできるだけ 2 名で行った。
- 口座は広告費等の入金が大会終了後となるため、すべての入金を確認した後、年度内の解約までの期間は管理が必要である。

(3) 釣銭の準備

- 初日の釣銭用に会議前日に 1 千円札×27 枚、会議当日に 1 千円札×100 枚、5 千円札×50 枚、100 円玉×200 枚を用意したが、千円札が瞬く間に無くなり、会計委員から 4 万円分の千円札を借用し、さらに 9 万円分を両替した。2 日目以降も 6 つのブースへの釣り銭として各ブース千円札×20 枚を用意した。両替はできれば手数料無料の範囲で行いたかったが、今回は弁当販売のために 100 円玉の釣り銭が必要だったため、ATMで調達するのは難しく、窓口で両替を行った。
- 2 日目以降は受付でなるべく釣り銭が少なくなるような支払いに協力していただくよう参加者に呼びかけたため、釣り銭の消費が少なくなり、会計として大変助かった。

(4) 受付係との現金授受、現金照合について

- 会計係は受付の近くに作業場所を設置した。
- 金銭の授受については現金を持ってきたブース番号と金額、入金の時刻をエクセルシートに記入し、同時にもう一人が金庫に現金を入れるという二人体制で注意を払った。受付参加者数と現金の照合については、受付係とのチェックを入念に行った

が、毎日最初は現金の金額と受付金額に相違が生じ、何度も確認を行うなど困難を極めた。

委員およびアルバイト全員の努力のおかげで最終的に受付人数と受理金額が一致したが、今後はオプトロニクス社等に依頼して事前クレジット払いとする(当日払い参加費を少し増額し、事前払いを奨励する)ことを強く推奨する。

(5) アルバイト代、特別講演者謝礼・交通費支給について

- アルバイト代の支給は支給人数が多いため、アルバイト系の協力を得た。
- 特別講演者謝礼・交通費については、支給金額は事務局と会計係で算出したが、会計係はこういった計算に慣れていないため、今後は事務局にお任せした方が良いと思われる。また、今回は特別講演会場が大会会場と別会場であったため、本会場の受付に来られなかった講演者がいた。そのため、特別講演会場が異なる場合は注意が必要である。特別講演者とのコンタクトの機会が少ないため、できれば事前または事後の謝礼送付にした方が良いと思われる。

以上

追記：会計の実質的担当者である古賀先生は3月になっても会計処理に追われた。最後まで最も苦勞された先生である。100円未満の領収書も対象であり、多くの時間を費やされたことは容易に想像できる。難しい面もあろうかと思うが、会計処理の簡略化は大きな課題として申し送る。

年次大会賛助会社一覧 (計18口)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ・ウシオ電機(株) 3口 | ・三菱電機(株) 2口 |
| ・(株)オプトサイエンス 1口 | ・(株)日本レーザー 1口 |
| ・(株)片岡製作所 1口 | ・シグマ光機(株) 1口 |
| ・浜松ホトニクス(株) 2口 | ・(株)ユニタック 1口 |
| ・(株)光学技研 1口 | ・明昌機工(株) 1口 |
| ・東明技研(株) 1口 | ・(株)東京インスツルメンツ 1口 |
| ・(株)東芝 1口 | ・(株)日本技術センター 1口 |

広告 (6社)

- | | | |
|------------|-----------|---------------|
| ・(株)三菱電機 | ・(株)片岡製作所 | ・(株)オフィールジャパン |
| ・アークハリマ(株) | ・(株)光学技研 | ・(株)日本技術センター |

第33回年次大会姫路収支計算書

(予稿集:USB)

(全て税込み額)

2013/03/21 (単位:円)

科目	予算額 a	決算額 b	差異 a-b	備考
I 収入の部				
1.賛助金・助成金	1,800,000	1,800,000	0	14社18口
展示会賛助		100,000	-100,000	オプトロニクス社
姫路市助成金		700,000	-700,000	
2.参加費収入	2,360,000	2,848,000	-488,000	
正会員収入	1,800,000	2,070,000	-270,000	6千円 * 307人+賛助会員38人
学生会員収入	240,000	234,000	6,000	2千円 * 117人
非会員収入	320,000	544,000	-224,000	8千円 * 68人
3.予稿集販売収入	0	4,000	-4,000	参加者全員に配布
4.会誌広告収入	700,000	340,000	360,000	6社
5.懇親会参加費	460,000	487,289	-27,289	5千円 * 79人+学生2千円 * 29人 +弁当売上金
6.その他		173,985	-173,985	オプトロニクス社展示会場会場費
収入合計 (A)	5,320,000	6,453,274	-1,133,274	

科目	予算額 a	決算額 b	差異 a-b	備考
II 支出の部				
1.会場費				
会場借料	1,100,000	1,066,144	33,856	個別会合の会議室費を除外した会場費
特別講演照明、人権費		29,200	-29,200	
PC、プロジェクタレンタル	150,000	143,178	6,822	
2.会議費				
会場費+交通費	1,100,000	866,300	233,700	プログラム委員会2回、実行委員会4回
会議室借料		54,823	-54,823	委員会会議室
3.予稿集作成費				
USB媒体	362,500	388,900	-26,400	600個(ラベル印刷、コピー含む)
USB化作業費	100,000	150,000	-50,000	PDF予稿データの加工が追加
4.印刷費				
講演案内、参加章他	80,000	85,282	-5,282	
次第書	100,000	108,940	-8,940	カラーあり、公開特別講演予稿集含む
ポスター	100,000	64,100	35,900	デザイン料無し、400枚(学会300、現地100)
公開特別講演予稿集	40,000	50,000	-10,000	
5.アルバイト	400,000	411,000	-11,000	アルバイト411000
6.特別講演者交通費・謝礼				
特別講演謝礼	60,000	60,000	0	
交通費	50,000	60,000	-10,000	
7.懇親会費	1,200,000	1,193,480	6,520	料理4,000*170+飲み放題2,000*196 升(230個+焼印)81,480+持込40,000
8.通信費	100,000	82,364	17,636	
9.雑費	300,000	334,995	-164,495	保険・コピー・弁当代他
		35,000		手提げ紙袋100*350
		94,500		懇親会用バス31500*3
10.その他	77,500	41,375	36,125	源泉徴収、振込手数料等
当期支出合計 (B)	5,320,000	5,319,581	419	
収支差異 (A)-(B)	0	1,133,693	-1,133,693	

(案)レーザー学会：参加費6000円、学生2000円 (USB) (従来より1000円増し)

会場費(税込み)

	27日	28日	29日	30日	
姫路商工会議所	50,652	456,981	337,974	265,737	1,111,344
イーグレひめじ			23,300	2,620	25,920
				小計	1,137,264
ホール照明・人件費			29,200		29,200

1,166,464

6.その他収入 展示会場費の半分を展示会主催者(OPTRONICS)が分担
 $(48+132+132+84) \times 0.9 \times 1.05 / 2 = 187.11$ 千円
 パネル設置費用(オプトロニクス支払): 26.25 千円
 オプトロニクス社への請求 $187.11 - 26.25 / 2 = 173,985$ 円

参考:プラズマ核融合学会:事前登録参加費5000円、学生2500円(オンライン)
 応用物理学会:事前登録参加費8000円、学生3000円(DVD)

レーザー学会

様

有限会社 ステップワン

代表取締役 岡崎 猛 夫

〒671-0248

兵庫県姫路市西郷町山脇608-1

TEL (079) 252-6313

FAX (079) 252-6542

下記の通りご請求申し上げます


種 別	金 額	摘 要
舞台人件費	21,000	平成25年1月29日 レーザー学会第33回 年次大会 於あいぬせホール
小 計	21,000	
消 費 税		
合 計	¥21,000	

取引銀行 みなと銀行御着支店 当座 2408908
姫路信用金庫御着支店 当座 6127

姫路市男女共同参画推進センター

領 収 証 書

No. 006460

住 所	氏名 (団体名及び代表者名) (社) レーザー学会 様
大阪府吹田市山田丘2-6	
平成 24 年度 市 歳 入	使用料及び手数料
金 額	782000
取扱者印	
摘 要	但し、 <input checked="" type="checkbox"/> 男女共同参画推進センター使用料 (使用許可番号No.405にて申請済) <input checked="" type="checkbox"/> 附属設備等使用料 (内訳は附属設備等使用明細書のとおり)
上記のとおり領収しました。	
平成 25 年 1 月 29 日	
姫路市出納員 八 木 優	



施設名 姫路市民プラザ

領 収 証 書 2012 No 00164

(社) レーザー学会
藤原 関夫 様

金 額 ¥ 2 / 00 円 也

摘要 ただし、 占用施設使用料
・設備等使用料
A-ホール. H25. 1. 30(水) 午後

上記のとおり領収しました。

平成 24 8 月 17 日

姫路市民プラザ指定管理者
イーグレひめじ管理株式会社
代表取締役 井上 克己



24.4. 2×100×15

施設名 姫路市民プラザ

領 収 証 書 2012 No 00760

(社) レーザー学会 様

金 額 ¥ 5 2 0 円 也

摘要 ただし、 占用施設使用料
・設備等使用料
H25. 1/30 A-ホール 午後延長

上記のとおり領収しました。

平成 24 12 月 - 4

姫路市民プラザ指定管理者
イーグレひめじ管理株式会社
代表取締役 井上 克己



24.4. 2×100×15

請求書

発行日	2013/1/31
請求番号	107

社団法人 レーザー学会 様

姫路経営者協会
 670-0932 姫路市下寺町43
 TEL: 079-288-3011
 FAX: 079-289-1415
 担当: 高橋

いつもお世話になっております。
 下記の通り御請求申し上げます。
 なお、本請求書とお振込が入れ違いになりました際にはご容赦下さいますようお願い致します。

合計 **1,111,344**円
 会場費 + 70,000円
 30603
 レーザー学会 45000

研修日	研修名	単価	0	合計
1/27-1/29	レーザー学会 会場費 (詳細は別途)	1,111,344	1	1,111,344
				1,111,344


- ・三井住友銀行 姫路支店 (普通) No. 1193708
 - ・兵庫信用金庫 本店 (普通) No. 144073
 - ・三菱東京UFJ銀行 姫路中央支店 (普通) No. 0667291
 - ・播州信用金庫 本店 (普通) No. 2848300
 - ・姫路信用金庫 本店 (普通) No. 354494
 - ・みなと銀行 姫路支店 (普通) No. 1768493
- 口座名: 姫路経営者協会 ※恐れ入りますが、振込手数料は貴社にてご負担いただきますよう、お願い致します。

										53,600

施設使用料	割引額	設営等使用料		消費税	駐車料金	差引使用料計
53,600	5,360			2,412		50,652

備考	取消される場合は次の通りキャンセル料をいただきます。 (1) 使用日の30日前まで 0% (2) " の10日前まで 50% (3) " の9日前以降 全額
----	---

入金済額
差引御請求額
50,652

担当 

上記のとおり御請求申し上げます。

姫路商工会議所

領 収 証

No. 047100

社団法人 レーザー学会 様

25年2月6日

金 額	¥1,193,480-
-----	-------------

但し 懇親会費として、
上記金額、正に領収いたしました



灘菊酒造株式会社

〒670-0972 姫路市手柄1丁目121番地
TEL (079) 285-3111 (代 理 店)
FAX (079) 284-0059 (酒 送 文)
FAX (079) 285-2021 (領 収 印 刷)



炭焼と炭焼料理

前 蔵

酒蔵勝欠

西 蔵

串揚倶楽部

蔵



係 員
各 田

請 求 書

平成 25年 1月 26日

レーザー学会 第33回年次大会実行委員会 御中

請求書No.	015887
コード番号	41003
振込銀行	三井住友銀行九州支店普 2241003



アプライド株式会社
代表取締役 岡 義治

〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-3-1
TEL(092)481-7801 (代) FAX(092)481-9965

下記の通り請求いたします。
¥150,000 也(消費税を含む)


品 名	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アプライド USBコンテンツ制作	レーザー学会学術講演会 USBコンテンツ	1		150,000	150,000	



御見積書

レーザー学会第33回年次大会 実行委員会 様

発行日	2012年12月21日
有効期限	発行日から2週間
支払条件	発送 クレジットカード
納品先	ご指定先
機材お届け日	2013年01月27日14時～16時
レンタル期間	2013年01月28日～2013年01月30日
お客様発送日	2013年01月30日発送、翌日弊社到着 (北海道・沖縄一部離島除く) (翌日弊社到着・一部除く)


株式会社 ビデオエクス
www.apex106.com
 〒530-0054 大阪府大阪市北区南森町 2-3-30
 TEL:06-6363-1010 FAX:06-6363-6060

合計金額(税込)
¥143,178

※仮予約お申込み後、機材の在庫を確認し、確保致します。

機材	個数	単価	小計
EMP-1710	5	¥9,800	¥49,000
ノートパソコン(Win7 OSのみ) LIFEBOOK A550/B(FUJITSU)	8	¥6,720	¥53,760
ノートパソコン(Win7 OSのみ) dynabook Satellite B551/D(東芝)	1	¥6,720	¥6,720
RGBケーブル・ミニDサブ15ピン 10m	5	¥700	¥3,500
マイクロソフトオフィス2010(Windows・アカデミック)	9	¥1,200	¥10,800
Kingsoft Internet Security	9	¥900	¥8,100
		レンタル料金	¥131,880
		安心補償	¥11,298
		送料	¥0
		合計	¥143,178

備考欄

※この見積書は自動発行です。
 仮予約お申込み後、正式な料金をご案内させていただきます。

いつもお引立てをいただきありがとうございます。

<お払込内容のご案内>のとおり、お手続きにつきましてご案内申し上げます。

◇この振込用紙にて、下記に記載のお払込期限までに、お客さまご自身でお払込みください。

◇金額訂正された振込用紙はお取扱いできません。

◇ゆうちょ銀行またはコンビニエンスストアよりお払込みください。(手数料は不要です。)

◇裏面のお取扱金融機関一覧(ATM・パソコン・携帯電話)記載の方法でもお払込みが可能です。

学生アルバイトの保険

◇原則として領収証の発行を省略させていただいております。振込控等を大切に保管してください。
なお、この振込用紙を用いて担当者が現金をお預かりすることはございません。

<お払込内容のご案内>

◆証券番号
◆お払込内容
①品区分
▼お払込額

E101773138
三井住友海上 新契約保険料
新種
72,000円

【ご照会先】

住友生命保険相互会社
明石支社
〒673-0898
明石市樽屋町 1-29
日工住友生命ビル8F
Tel (078) 917-1495

お払込期限：保険始期日まで
(経過後は速やかにお払い込み下さい)

担当者 明石支社明石支部
荒川 和子

**お客さまご自身で、ゆうちょ銀行(郵便局)もしくはコンビニエンスストア
からお払込み下さい**

↓下の部分を切り取りお払込みください。(お払込金額の訂正はできません。)

紙 350 枚

領収証

NO.

上野学園芸術講演会 第33回年次大会様

H25年 1月25日

金額									

435000-

内
消費税等

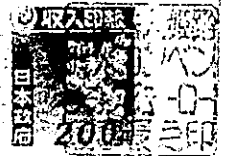
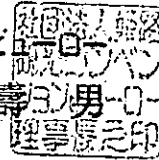
但 コンベンションバック®@100x350
上記正に領収いたしました

現金			
小切手			

姫路市本町68番地

敬啓 総務光コンベンションビ

理事長 尾上 壽



HISAGO #778

領 収 証

A No. 034528

レジャー学会様

平成25年 1月28日

金 額	百	拾	万	千	百	拾	円
			9	4	0	0	0

但



CS

上記の金額領収致しました



まねき食品株式会社 味の三昧

本社 姫路市北条953 TEL (079)224-0251
 加古川本店 加古川市加古川町北在家289 TEL (078)427-7788
 飾磨店 姫路市飾磨区西田原1316-8 TEL (0783)22-4011
 龍野本店 たつの市龍野町基永1005-56 TEL (0791)62-4636
 飾磨店 姫路市飾磨区西田原1316-8 TEL (078)427-7788
 龍野本店 たつの市龍野町基永1005-56 TEL (0791)62-4636



3X50X240mm

兵

御請求金額

¥94,000

飾磨店 電話 (079) 231-2266
 リヴィン店 電話 (079) 295-5215
 龍野本店 電話 (0791) 62-4636
 加古川店 電話 (079) 422-6772

取引銀行

百十四銀行 姫路支店 当座No0001862
 三井住友銀行 姫路支店 当座No2108288
 姫路信用金庫 駅南支店 当座No0006864
 播州信用金庫 駅前支店 当座No0644411
 三井住友銀行 加古川支店 当座No2430165
 姫路信用金庫 加古川支店 当座No0023760
 但陽信用金庫 福崎支店 当座No5000367
 姫路信用金庫 龍野支店 当座No0020031

毎度ありがとうございます。
 下記の通り納品致しました御査収下さい。

品名	数量	単価	金額
K-011 新 味御膳「国産米使用」	39	¥1,000	¥39,000
K-509 お一えん弁当「国産米使用」	100	¥550	¥55,000
S-053 弁当空き箱回収費	1	¥1,000	¥1,000
Z-999 値引き	1	-¥1,000	¥-1,000
小計		¥94,000	
		消費税等	¥0
合計		¥94,000	
		前受入金	¥0
		御請求額	¥94,000

当社で取得した個人情報、商品のご案内などの他、お客様と当社との連絡に利用させていただきますが、第三者に提供する事はありません。

納品書 ②



ma-no-ki まねき株式会社



本社：姫路市北条町1丁目1番1号 電話(079)224-0255(代)
 姫路本店：電話(079)224-0251
 加古川本店：電話(079)427-7788
 福崎営業所：電話(0790)22-4011

CS配達

受注No. 220497-1

平成 25 年 1 月 29 日 11 時 15 分 扱い店営業

兵庫県立大学

様

御請求金額

¥54,720

毎度ありがとうございます。
 下記の通り納品致しました御査収下さい。

味三昧各店

駅前本店 姫路市駅前町御殿前188-1
 電話 (079) 223-8652
 飾磨店 電話 (079) 231-2266
 リザイン店 電話 (079) 295-5215
 龍野本店 電話 (0791) 62-4636
 加古川店 電話 (079) 422-6772

取引銀行

百十四銀行 姫路支店 当座No0001862
 三井住友銀行 姫路支店 当座No2108288
 姫路信用金庫 駅南支店 当座No0006864
 播州信用金庫 駅前支店 当座No0644411
 三井住友銀行 加古川支店 当座No2430165
 姫路信用金庫 加古川支店 当座No0023760
 但馬信用金庫 福崎支店 当座No5000367
 姫路信用金庫 龍野支店 当座No0020031

品名	数量	単価	金額
K-011 新 味御膳「国産米使用」	27	¥1,000	¥27,000
K-602 パワフルランチ「国産米使用」	44	¥630	¥27,720
S-053 弁当空き箱回収費	1	¥1,000	¥1,000
Z-999 値引き	1	-¥1,000	¥-1,000
小計		¥54,720	消費税等 ¥0
合計		¥54,720	前受入金 ¥0 御請求額 ¥54,720

当社で取得した個人情報、商品のご案内などの他、お客様と当社との連絡に利用させていただきますが、第三者に提供する事はありません。

納 品 書 ②



ma-ne-ki



まねき漬株式会社

本 社：姫路市北区西町1丁目1番1号 (079) 224-0255(代)

姫路本店：電話(079)224-0255

加古川本店：電話(079)427-7788

福岡営業所：電話(0790)22-4011

CS配達

受注No 220621-1

平成 25 年 1 月 30 日 11 時 15 分 扱い店営業

兵庫県立大学

様

御請求金額

¥18,900

毎度ありがとうございます。
下記の通り納品致しました御査収下さい。

味三昧各店

駅前本店 姫路市駅前町御殿前188-1

電 話 (079) 223-8652

飾 磨 店 電 話 (079) 231-2266

リザイン店 電 話 (079) 295-5215

能野本店 電 話 (0791) 62-4636

加古川店 電 話 (079) 422-6772

取引銀行

百十四銀行 姫路支店 当座No0001862

三井住友銀行 姫路支店 当座No2108288

姫路信用金庫 駅前支店 当座No0006864

播州信用金庫 駅前支店 当座No0644411

三井住友銀行 加古川支店 当座No2430165

姫路信用金庫 加古川支店 当座No0023760

但陽信用金庫 福岡支店 当座No5000367

姫路信用金庫 能野支店 当座No0020031

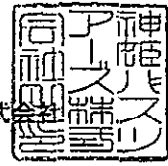
	品 名	数 量	単 価	金 額
K-502	かけっこ弁当「国産米使用」	36	¥525	¥18,900
S-053	弁当空き箱回収費	1	¥1,000	¥1,000
Z-999	値引き	1	-¥1,000	¥-1,000
小 計	¥18,900	消費税等	¥0	¥0
合 計	¥18,900	前受入金	¥0	御請求額 ¥18,900

当社で取得した個人情報、商品のご案内などの他、お客様と当社との連絡に利用させていただきますが、第三者に提供する事はありません。

〒671-2280
 姫路市書写2280番地
 兵庫県立大学 電機系
 教授 藤原 関夫 様

請求書

発行日 13年01月31日
 予約番号 14-048779
 請求番号 001-01



神姫バスツアーズ株式会社
 姫路支店
 〒670-0913
 兵庫県姫路市西駅前町1番地

ご請求額 ¥94,500.-

TEL:079-224-1501 FAX:079-285-0402

毎度お引立ていただきありがとうございます。
 下記の通りご請求申し上げます。

責任者	担当者

利用日	項目名	内容	単位	数量	単価	金額
13/01/29	貸切バス代金	「レーザー学会学術講演会」様	台	3	31,500	94,500
合 計 (A)						94,500
ご入金済額 (B)						0
今回請求額 (A)-(B)						94,500

お振り込みは、下記口座へ13年2月28日までにお願いします。
 振込手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。

振込先	播州信用金庫 本店 普通 9526480 シキバ・ツアーズ(カ)
-----	---

備考	いつも神姫バスツアーズをご利用頂きまして誠に有難うございます。
----	---------------------------------

III-2.3 受付係

永田 正義(主査)、菊池 祐介、岡田 翔、天野 壮

1. 概要

受付係の担当は、受付会場の配置、名簿・物品準備、受付設営、大会期間中の受付、参加費の撤収などであり、受付業務は、参加費徴収、予稿集販売、関係資料配布、懇親会参加費徴収、座長・採点者への採点表等の袋詰めの配布を含む。それらの準備作業、実施状況、および今後の参考として申し送り事項について述べる。

2. 受付実績

1) 講演会

	1月28日	1月29日	1月30日	合計
正会員	204	65	38	307
学生会員	75	24	18	117
非会員	39	13	16	68
賛助会員	29	18	16	63
総数	347	120	88	555

2) 懇親会

一般	167
学生	29
合計	196

公開特別講演の参加者数は約 270 名で、記名をお願いした大会参加者以外の参加者は 11 名であった。

3. 業務内容

1) 事前作業

・受付名簿の作成

招待講演者、シンポジウム講演者、公開特別講演者、受賞記念講演者、名誉会員、座長、採点者、学会賛助会員、年次大会賛助企業などの名簿をレーザー学会事務局よりもらい、50音順に整理した名簿を作成した。

・受付レイアウトの作成

・受付の表示の作成

・アルバイトの手配 (6名、クローク受付は総務係より)

・受付アルバイトマニュアルの作成

2) 前日作業

・受付の準備、設営

・参加者へ渡すバッグ (次第書、USB 予稿集等) の準備

・受付事務作業キットの確認 (事務局より送付)

・アルバイトへの作業説明

・会計係との確認

3) 当日作業

- ・受付業務の実施
- ・各種問い合わせへの対応

4. 実施状況

1) 事前作業

受付は一般受付（学生、正会員、非会員）と特別受付を設け、事務局から送付された名簿を基に特別受付用名簿を作成した。特別受付は懇親会が無料になる受付区分（招待講演者、シンポジウム講演者、公開特別講演者、受賞記念講演者、名誉会員、学会賛助会員、年次大会賛助企業）と座長・採点者の2つに分けた。

2) 前日作業

受付机等の設営を実施し、アルバイトへの受付業務内容の説明を行った。座長・採点者への配布物等は事務局が事前に準備した。

3) 当日作業

つり銭を会計係から受け取り、領収書等を準備し、特別受付2列、一般受付3列、懇親会受付（予稿集販売も実施）の6列体制で受け付け業務を実施した。クローク受付は総務係、入会者受付は事務局が対応した。参加者には受付用紙に必要事項を記入してもらい、その用紙を持参して受付に来るようにした。受付用紙は学会 Web ページから事前にダウンロードできるようにしたが、事前に記載してきた人は2～3名と少なかった。初日、2日目午前は行列ができるケースがあり、混乱も見られたが、大きな問題も発生せず、受付業務を実施できた。また、受付の際に姫路での宿泊アンケートを実施した。会計係との現金のやりとりは、一定金額が受付に集まった時点で受付係のスタッフが会計係に渡した。公開特別講演の会場（イーグレ姫路・あいめっせホール）前に受付機を設置し、アルバイトを2名配置した。

5. 当日の様子・問題点と申し送り事項

当日気が付いたことを記載しています。

【提案】

- ・参加費を事前収納にすることで受付業務は簡素化され、以下に挙げた問題点等の多くは解決される。

【当日の様子・問題点】

- ・受付区分により参加費や懇親会費有無が異なるため、受付アルバイトが慣れるまでかなり大変であった。特に懇親会招待者を担当するブースの受付アルバイトは過負荷となった。
- ・賛助会員には事前に参加章が送付されているが、それを忘れたケースがいくつかあり、事務局にその都度確認する必要があった。
- ・一般受付（学生会員）は混雑したため、他の一般受付（正員、非会員）と独立させた。
- ・受付バッグ（次第書等）は570部用意したが数が足らなかった。USB 予稿集の不良も一件あった。

- ・クレジットカードで参加費支払いを希望する参加者（海外からの参加者）が1名いた。

【受付アルバイトからの意見】

- ・お金ケースが各ブースに1つ用意されているが、1万円札と千円札が混在してしまうので、お釣りを探す手間がかかった。会計係との入出金票はもう少ししっかりとしたものを作成したほうが良かった。
- ・一般受付の参加者含めて参加者リストを事前に作成し、誰が受付したかをチェックしてしまっただけが後で楽ではないか。受付区分を間違えるケースが多発したため。



受付係アルバイトマニュアル

集合時間：1月27日（日）17時30分

1月28日（月）8時30分（講演は10時30分～）

1月29日（火）8時30分（講演は9時～）

1月30日（水）8時30分（講演は9時～）

集合場所：姫路商工会議所1階（商工会議所は8時30分に開場）

作業分担表：別紙参照

一般注意事項：

- ・ 各自のスケジュール確認
- ・ 大会当日（28日～30日）はスーツ・ネクタイ着用のこと。
- ・ 都合により担当者が変わる場合には、事前に受付係担当者まで連絡すること。
- ・ 昼食は弁当を用意します。

受付業務内容：

（1）全体注意事項：

- ・ 受付カウンターは以下の7つに分けて、それぞれ一人のアルバイトが担当する。
- ・ 来場者はまず受付用紙に必要事項を記入し、特別受付、一般受付に分かれて受付する。受付用紙を記入せずに受付カウンターに来た場合にはその旨伝える。
- ・ 全員に宿泊情報アンケート用紙に記入のお願いをする。
- ・ 懇親会費は懇親会受付にて支払う。懇親会人数の確認、会計業務上、この方式が楽なため。
- ・ 参加費等のやりとりについて：
受け取ったお金、お釣りのやりとりをアルバイトが実施し、「お金ケース（事務局用意）」に入れ管理する。背後に控える教員が定期的に回収する。

（2）受付区分

メイン会場：

①特別受付

- ・ 該当者：招待講演者（61名）、シンポジウム講演者（47名）、公開特別講演者（2名）、受賞記念講演者（5名）、名誉会員（3名）→計：118名、学会賛助会員、年次大会賛助企業
- ・ 参加費：6,000円
- ・ 注意事項：懇親会費は無料の区分を特別受付にした。なお、公開特別講演者、名誉会員、学会賛助会員、年次大会賛助企業は参加費も無料。懇親会に参加をする場合にのみ懇親会参加章を渡す。

②特別受付

- ・ 該当者：座長（61名）、採点者（32名）→計：93名
- ・ 参加費：6,000円
- ・ 注意事項：座長・採点者セットを渡す。

③一般受付（両方で～150名）

- ・ 該当者：正員
- ・ 参加費：6,000円

④一般受付

- ・ 該当者：正員
- ・ 参加費：6,000円

⑤一般受付（学生員～120名、非会員～40名）

- ・ 該当者：学生員・非会員
- ・ 参加費：学生員 2,000円、非会員 8,000円

⑥懇親会・予稿集販売受付（～100名）

- ・ 懇親会費：
正員・非会員：5,000円、学生員：2,000円

⑦クローク受付

- ・ 荷物を受け取る際に引き換え札（事務局用意）を渡す。
- ・ 貴重品は携帯するようにお願いします。
- ・ ハンガー等は用意しないので、上着を預かる場合には荷物の上に置かせてもらう旨を伝える。大きい荷物を預かるのが基本。

イーグレ姫路：

①特別講演（1月29日15時30分～17時30分）@あいめっせホール（3階）

- ・ 一般来場者に対する受付を2名で実施。受付テーブル等の準備は当日実施。
- ・ 当日は14時30分にあいめっせホール前に集合。
非会員の一般来場者に記名してもらい、特別講演予稿を配布。

第33回年次大会 受付用の配布・記入・回収資料 一覧

記入資料

- ・受付用紙(全員)
- ・宿泊先記入帳(宿泊される方全員、受付時に記入依頼 15名/枚)
- ・懇親会参加者(懇親会受付にて、有料のみ)

配布資料

- ・次第書(USB含む)
 - ・紙袋, 姫路観光案内
 - ・レーザーによる事故およびその安全対策実態調査
(橋心先生が約500部準備、回収箱が必要)
- 参加章兼領収書(紙袋に入れず別途手渡し)

一般受付資料

- ・座長・採点者用資料(名前を書いた封筒+一般受付資料)
参加章兼領収書(紙袋に入れず別途手渡し)

- ・招待講演・シンポジウム講演者

一般受付資料+懇親会無料招待券

参加章兼領収書+(参加有無確認後に)懇親会無料招待券(紙袋に入れず別途手渡し)

- ・参加章兼領収書(懇親会)

懇親会有料受付

受付名簿記載後に懇親会参加章を手渡し

アンケート

- ・参加者アンケート(県外の10人以上)(藤原他が個別に依頼、回収箱が必要)

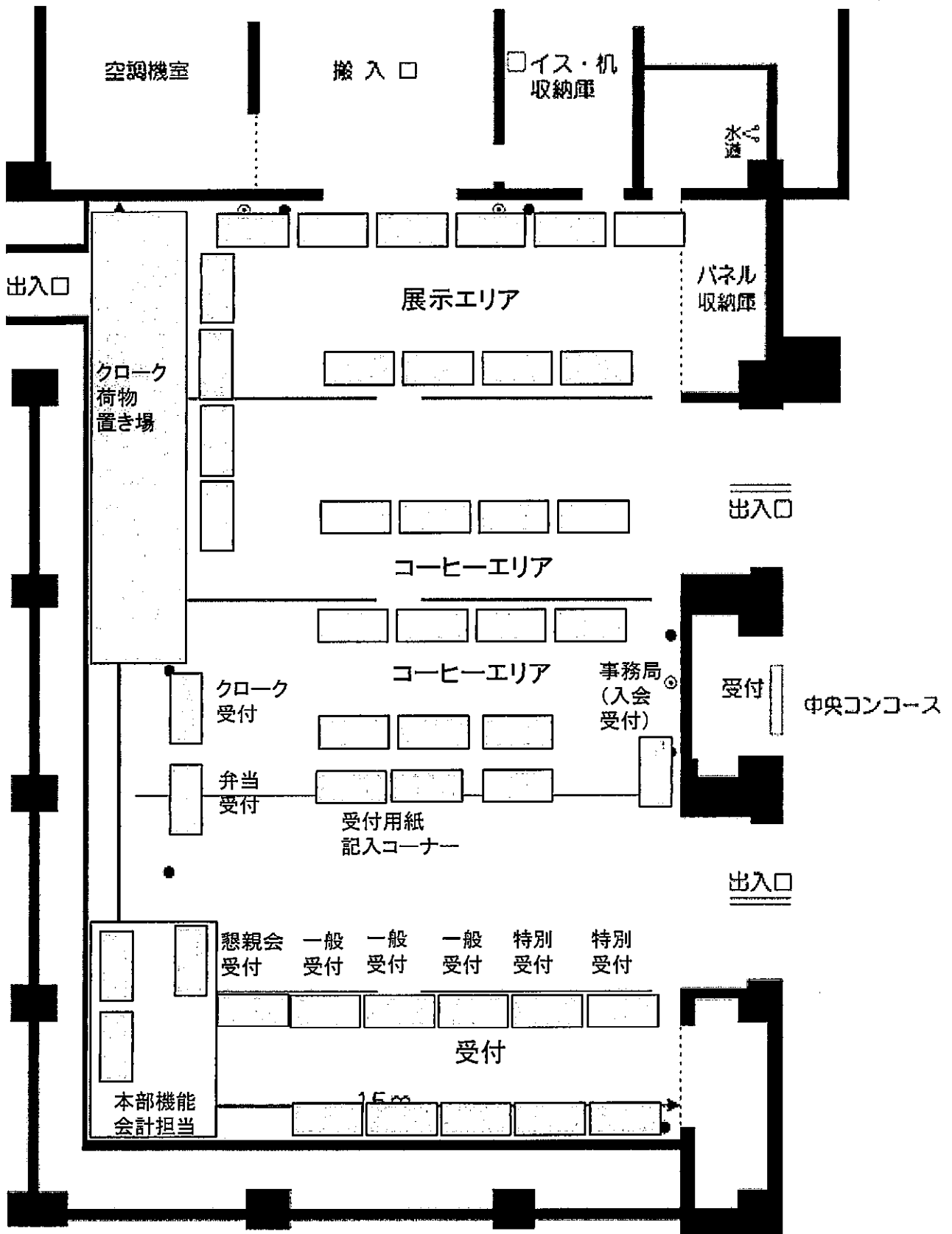
手持ち資料

- ・招待講演・シンポジウム講演者・公開特別講演者・受賞記念講演者 一覧
- ・座長, 採点者(要チェックリスト)
- ・学会関係/賛助会社, 名誉会員

姫路商工会議所展示ホール 受付会場

1F 展示ホール平面図(112坪)

4
↑



◎ 動力用電源(3カ所) ● 一般用電源(9カ所) ——— 天井ダクト(コンセント8カ所)

特別受付

招待講演、シンポジウム講演、
公開特別講演、受賞記念講演、
名誉会員、学会賛助会員、
年次大会賛助企業

特別受付 座長、採点者

兼務される方は隣の受付へ
(招待講演、シンポジウム講演、
公開特別講演、受賞記念講演)

一般受付

正会員

一般受付

学生会員
非会員

懇親会受付 予講集販売

クローク

貴重品はお預けにならない
ようにお願いします。

受付用紙

受付用紙にご記入の上、
受付カウンターにお越し
ください。

- ・賛助会員
 - ・年次大会賛助企業
- 特別受付にお越し
ください。

入会受付

レーザー学会会場
イーグレ姫路



レーザー学会会場
イーグレ姫路



III-2.4 会場係

奥田孝一（主査）、福本直之、関岡嗣久、本多信一、布引雅之

1. 概要

第33回年次大会は、2013年1月28日(月)～1月30日(水)の3日間、姫路市商工会議所を主会場としてイーグレ姫路との2会場において開催された。今回は、昨年度と同様に会議室を借り上げての開催であったため、準備品の手配等、昨年度を参考に準備を行った。会場の手配は、実行委員会副委員長が実施日より1年以上前に仮予約した(姫路商工会議所:講演会会場9室, 受付・展示会会場, 大会本部室1室, 会議室3室, イーグレひめじ:特別講演会場, レーザー安全公開シンポジウム会場)。また、懇親会は別会場(灘菊酒造)にて行った。会場係の役割は、会誌, HP, 次第書掲載用会場案内図等の作成, 講演会会場の機材の確保・管理(PC, プロジェクター等のレンタル手配を含む), 会場内の各種案内の準備, 会場の運営, および会場アルバイト学生(タイムキーパー)への作業内容の説明(アルバイトマニュアルの作成)である。以下に、準備過程, 実施状況および申し送り事項について述べる。

2. 準備過程

2012年7月6日

第1回現地実行委員会が開催された。実行組織と役割分担, 大会スケジュールについての説明と議論があり, 会場係(主査1名, 副査4名)の役割が決定された。会場係は, 会場レイアウトが主な役割で, プログラム決定後(第2回実行委員会までに具体的な案を提示)からの作業となった。また, PC, プロジェクター等はレンタルし, その準備は会場係の役割となった。会場については, 藤原先生(実行副委員長)の手続きにより, 既に仮予約がなされていた。会場は2カ所で, 姫路商工会議所は, 講演会会場9室, 受付・展示会会場, 大会本部室1室, 会議室3室, イーグレひめじは, 特別講演会場, レーザー安全公開シンポジウム会場が確保されていた。講演会会場9室は, 第I会場(180席), 第II会場(60席), 第III会場(60席), 第IV会場(30席), 第V会場(60席), 第VI会場(60席), 第VII会場(105席), 第VIII会場(138席), 第IX会場(105席)の割り当てを予定した。受付・展示会会場は全面218m²の利用を予定した。特別講演会場とレーザー安全公開シンポジウム会場は, あいめっせホール(280席), アートホール(120席)の利用を予定した。講演会会場, 会議室は, 3日間連続利用と時間指定利用が混在する運営形態となった。なお, 懇親会会場については, 懇親会係の担当となった。

2012年10月26日

第2回現地実行委員会が開催され, 姫路商工会議所での現地確認も行われた。プログラム委員から, プログラムの各セッションの開催会場と時間等のコマ割が報告された。会場係主査より, 会場アルバイト表および会場レイアウトの作成等を報告した。そして, 会場係の役割が確認された(PC等の手

配は総務係であったが、後に、昨年度に合わせて会場係に変更した。)。姫路商工会議所担当者より、会議室利用にあたり説明があった。

姫路商工会議所担当者情報：

- ・会議室での飲食は可。パブリックスペースでの飲食は、占有しないのであれば可。
- ・ゴミ袋は販売するがゴミ箱はない(ゴミは契約業者による収集のため、専用ゴミ袋の購入が必要)。
- ・LANは接続口はあるが、無線LANの機器はない。
※運営側で無線システムを用意のうえ、利用するのは可
- ・会場の鍵は8時半に渡す。

会場係主査報告事項：

- ・会場レイアウトを作成した。(参考資料1)
- ・アルバイト表を作成した。(参考資料2)
- ・PCは総務係がレンタルする。業者は必要であれば事務局から情報を提供する。
※後日、昨年度に合わせて、会場係が手配することとなった。
- ・USB予稿集の印刷設備は設けない。
- ・テーブルタップを用意する必要がある。延長コードなど商工会議所がもっていないか
総務係が確認する。

2012年10月31日

具体的な会場の準備に関して、会場係で打合せを行った。

主査より会場係の役割・作業内容の説明があり、担当者全員で確認を行った。また、会場係内での役割分担を決定した。早急に会場案内原稿を作成することになった。

2012年11月13日

大会会場への交通案内、会場平面図の作成と会誌、HP、次第書掲載用の原稿の最終版作成し、事務局に提出した。(参考資料3, 4)(それまでに、事務局と確認・修正を数回行った。)

2012年12月4日

現地実行副委員長の藤原先生と会場係とで、イーグレひめじにてあいめっせホール(特別講演会場)の会場スタッフと打合せを行った。あいめっせホールおよび附属施設等の確認に続き、アートホール(レーザー安全公開シンポジウム会場)の確認を行った。(参考資料5)

あいめっせホールの会場スタッフとの確認事項：

- ・壇上左側に講演台設置、右側に座長席設置、中央にプロジェクター投影の形式とした。
- ・当日、会場スタッフ2名が設営および機器操作を担当する。
- ・マイクは有線2本(講演者用、座長用)の貸し出し料金は会場費に含まれる。

- ・無線マイクも貸し出し可能なので、当日までに使用の有無を決定する。
(※特別講演は質疑応答がないため、無線マイクの利用はなくなった。)
- ・講演者・題目の懸垂幕は座長席横に設置、懸垂幕は裏表で2名とした。
- ・懸垂幕は、50cm(幅)×300cm(長さ)で、上下に掲示処理用に50cmほど余白部を設ける。
- ・懸垂幕は、印刷物の持ち込みで対応する。設営は会場スタッフが行う。
- ・プロジェクター用のPC(Windows, Macともに投影可能)は持ち込みで対応する。
- ・演台花は無しとした。
- ・控室2室を利用できる。控室裏口よりWCへ移動できる。電気ポット、茶碗等も利用できる。
- ・予備いすを利用可能で、会場内通路に臨時席を設けることができる。
- ・会場受付用のテーブル、いすを利用できる。
- ・当日は13:00過ぎにあいめっせホール受付にて会場の鍵を受け取ることができる。

現地実行副委員長と会場係の確認事項:

- ・懸垂幕は、会場係が準備する。
- ・講演者2名用の水・コップを用意する。
- ・会場係が、当日13:00過ぎに会場の鍵を受け取り後、PC等持ち込み、受付等の準備を行う。

2012年12月21日

ノートPC、マイクロソフトオフィス2010、セキュリティソフト、プロジェクター、RGBケーブル(ミニD-sub15ピン)のレンタルのため、株式会社ビデオエイベックスで仮予約を行った。手続きは、会場係が行ったが、予約申込者は、便宜上、現地実行副委員長の藤原先生とした。その後、すぐに藤原先生の個人登録を行い、承認後、当日中に本予約を完了した。(参考資料6)

予約リスト:

- 1)プロジェクター:EMP-1710(EPSON) 5台
- 2)ノートパソコン(Win7 OSのみ) LIFEBOOK A550/B(FUJITSU) 8台
- 3)ノートパソコン(Win7 OSのみ) dynabook Satellite B551/D(東芝) 1台
- 4)RGBケーブル・ミニDサブ15ピン 10m 5本
- 5)マイクロソフトオフィス2010(Windows・アカデミック*) 9本
- 6)Kingsoft Internet Security 9本

*申込みの際のIPアドレスから大学であることが確認されれば、アカデミック価格でのレンタルが可能であった。

※レンタル期間は2泊3日以上から指定可能

※レンタル開始日前日に機材配達(到着翌日のレンタル開始日から料金カウント)が可能

※レンタル最終日当日の運送会社(ヤマト運輸)への発送受付扱い翌日返却が可能

※レンタル料金が3千円以上であれば、送料は無料

2012 年 12 月 25 日

PC 等のレンタル代金の藤原先生によるカード払い決済により、支払いと予約が確定した。(参考資料 7)

※領収書は、PC 配送時に同封され、学会開催期間中に会計係に渡した。

2013 年 1 月 11 日

会場係担当アルバイトを確定した。

2013 年 1 月 21 日

藤原先生と会場係とで、姫路商工会議所で担当者とともに最終確認を行った。

現地実行副委員長と会場係の確認事項：

- ・各会場内でのプロジェクター、スクリーン、PC の設置場所を決定した。(参考資料 8)
- ・各会場内での電源コンセントの利用場所と延長コードの長さを決定した。(参考資料 8)
- ・延長コードは、実行副委員長が準備する。
- ・無線 LAN 機器は、実行副委員長が準備し、会場係で設定する。
- ・本部用プリンタは、実行副委員長が準備する。
- ・会場内の案内等掲示は、会場係が印刷し準備する。
- ・壁等への掲示は禁止のため、掲示板を利用する。

2013 年 1 月 21 日～25 日

会場案内掲示、講演会懸垂幕等を作成した。(参考資料 9)

2013 年 1 月 24 日

会場係アルバイトマニュアルを作成し、確認した。(参考資料 10)

2013 年 1 月 26 日

アルバイト部屋割り表を作成した。(参考資料 11)

2013 年 1 月 27 日

第 3 回現地実行委員会が開催され、準備状況を報告した。実行委員会開催中、会場担当者と警備員間の連絡不足により宅配業者の配達指定時刻(16:00～18:00)が勝手に 19:00 以降の配達に変更が行われていることが判明し、宅配業者と連絡をとり、当初予定の時刻に配達する様に依頼した。

委員会終了後、委員およびアルバイトにより、会場の準備を開始した。会場係は、アルバイト部屋割り表の確認、講演会場での使用機器(ポインタ、ベル、その他必要書類等)の準備を行った。受付・展示会会場の掲示板、机、いす等の設営は、商工会議所の管理を請け負っているビル管理会社が行っており、追加の準備を受付係、会場係、その他で行った。

3. 実施状況

2013年1月28日 8:30～

学会開演は10:30からであり、8:30の会場の鍵受け取り後、PCに、動画用にQuickTime7とPDF用にAdobe Readerをインストールした。会場係担当のアルバイトにマニュアルをもとに説明を行った。その後、会場のPC、プロジェクター等の設置、セットアップ等を行った。また、会場内に各種案内の掲示を行った。

10:30前には、各会場にアルバイトを待機させた。当日は積雪のため、交通機関の遅延や交通渋滞が発生し会場係のアルバイト1名が大幅に遅刻(昼頃到着)したが、別の係を担当するアルバイトを当てて、予定通り会場運営を行った。当初予定のアルバイトが到着後は、通常のシフトに戻して、運営を行った。昼食の対応として、講演会場での飲食が可能であることを各会場のプロジェクターで通知した(参考資料12)。最終セッションの一部に進行が遅れるところが出て、予定時間を大幅に過ぎて終了した。一部会場は、当日の時間指定の利用であったため、該当する会場はセッション終了後にPC等を撤収した。それら会場の中に進行が大幅におくれているものがあり、途中で会場を変更してセッションを継続した。

2013年1月29日 8:30～

8:30の会場の鍵受け取り後、会場のPC、プロジェクター等のセットアップ等を行った。また、当日が初めてのアルバイトにマニュアルをもとに説明を行った。9:00前には、各会場にアルバイトを待機させた。午前中に、最終日の撤収準備として、ヤマト運輸に17:30以降の集荷を依頼した。

15:30からイーグレひめじのあいめっせホールで開催される特別講演の準備のため、13:00過ぎに現地実行副委員長の藤原先生と会場係1名がイーグレひめじにPC等準備品を持ち移動した。受付係のアルバイト2名を特別講演会会場受付として割り当てた。

一般講演会終了から特別講演会開始まで時間的余裕がないため、藤原先生より、午後のセッションの座長に円滑な講演運営をお願いした。一般講演会終了後、会場移動のため、移動経路途中に、総務係から2名案内役で配置した。また、イーグレひめじ1階においても、会場内の移動(1階から3階)を円滑に行うため、案内役1名を配置した。特別講演会会場のホール内では、入場者が多く、会場内の通路に臨時的いすを多数設置した。

講演会終了後、総務係、会場係、その他により、懇親会出席者を送迎バスへ誘導した。会場係とアルバイトによる会場の撤収作業終了後、持ち込み機材等を会場係1名とアルバイト2名で、一般講演会会場の姫路商工会議所に持ち帰った。その後、会場係1名は、懇親会会場へ移動した。

2013年1月29日 8:30～

8:30の会場の鍵受け取り後、会場のPC、プロジェクター等のセットアップ等を行った。また、当日が初めてのアルバイトにマニュアルをもとに説明を行った。9:00前には、各会場にアルバイトを待機させた。アルバイト1名が遅刻したため、臨時に会場係1名が代わりに待機した。

14:00からイーグレひめじのアートホールで開催されるレーザー安全公開シンポジウムの準備のため、13:00過ぎに現地実行副委員長の藤原先生と会場係1名がイーグレひめじに準備品を持ち移動した。

一般講演会終了後の撤収およびレンタル品の搬出まで時間的余裕がないため、会場係1名より、午後のセッションの座長に円滑な講演運営をお願いした。講演が終了した会場より、撤収作業を開始した。会場内の各種案内の撤去、レンタル品の撤収、確認、梱包を行った。また、講演会場での使用機器(ポインタ、ベル、その他必要書類等)の撤収、確認、梱包を行った。座長の協力により、ほぼ予定時刻で全ての講演を終了することができた。レンタル品は、宅配業者による当日受付で無事発送することができた(翌日、業者よりレンタル品全品受け取り完了の連絡があった。)。その他、事務局、展示会関係の物品も、宅配業者への引き渡しを完了した。受付・展示会場については、学会関係品等は、他の係と協力し、撤収作業を完了した。受付・展示会会場の掲示板、机、いす等の撤収は、商工会議所の管理を請け負っているビル管理会社が行った。

4. 反省と申し送り事項

特段大きな問題は発生しなかった。今回は、一般講演会場の姫路商工会議所、特別講演会場およびレーザー安全公開シンポジウム会場のイーグレひめじ、懇親会会場の灘菊酒造と3カ所に分かれていたが、移動も含め円滑な運営であった。

・学会関係荷物の発送等について

展示担当、事務局、会場係他、荷物の搬入状況(配達個数、配達時間指定等)、現時の現地実行委員会(実質責任者または会場係)に情報を集約する必要がある。

・USBでの発表資料のセッティングについて

学会会員外の発表者が多数いた。特にシンポジウムは、医療関係者も多く、多忙なためか自分の発表時間のみ出席者(自分の発表時間しか知らない?発表者あり)がおり、該当セッション開始後にUSBで発表資料のファイルのPCへのコピーを依頼してくる場合があった。発表者交替の際に、コピーしたが、事前にシンポジウム責任者からルールを説明すべき。

・優秀論文の審査について

座長以外に審査員がいる場合、事務局マニュアルでは、その採点票を座長分とともに会場アルバイトが回収とあるが、採点票を受付に提出する審査員も多数いた。事務局から受付係に、その扱いについての指示がでておらず、事務局、会場係とも、採点票の所在が不明の状況となった。途中退

室の審査員もいると思われるので、審査員の採点票は受付か事務局での回収にした方が良いように思われる。

・特別講演について

講演者が確認しやすいタイマーの設置が望まれる(講演者からも希望あり、本人の iPad のタイマーで代用)。

各会議室の鍵は、事務局ではなく、撤収作業等も考えると、現地実行委員会(実質的な責任者か会場係)が管理した方が良いと思われる。

・学会運営の情報の共有について

大会実行委員会内の各委員会および事務局間で、情報の共有ができていないと思われることが多くみられた。学会の円滑な運営のためには、現地で実質的に学会を運営しているメンバーに今回以上に情報の集約をした方が良いと思われる。

=====

レーザー学会非会員としての意見:

・地方大学の一研究室が実質担当として運営するには、あまりにも現地委員会の負担が大きすぎる様に思われる。特に、受付はアルバイトに頼らざるを得ない状況にありながら、扱う現金が多額過ぎる。今後も、同規模での運営を考えるなら、会費は事前払い込みに移行する方が良いと思われる。

・現地実行委員会と事務局の役割分担が不明なところや、権限の移譲が不十分なところがあると思われる。できるかぎり現地実行委員会へ権限等を移譲した方が、円滑な運営がし易いように思われる。

(添付書類)

参考資料 1 : 会場レイアウト図

参考資料 2 : アルバイト表 (初回提出版)

参考資料 3 : 大会会場への交通案内

参考資料 4 : 会場平面図

参考資料 5 : イーグレひめじ (あいめっせホール, アートホール) 会場参考写真

参考資料 6 : PC 等レンタル予約

参考資料 7 : PC 等レンタル代金支払いと予約確定

参考資料 8 : 会場案内掲示, 講演会懸垂幕等

参考資料 9 : 会場係アルバイトマニュアル

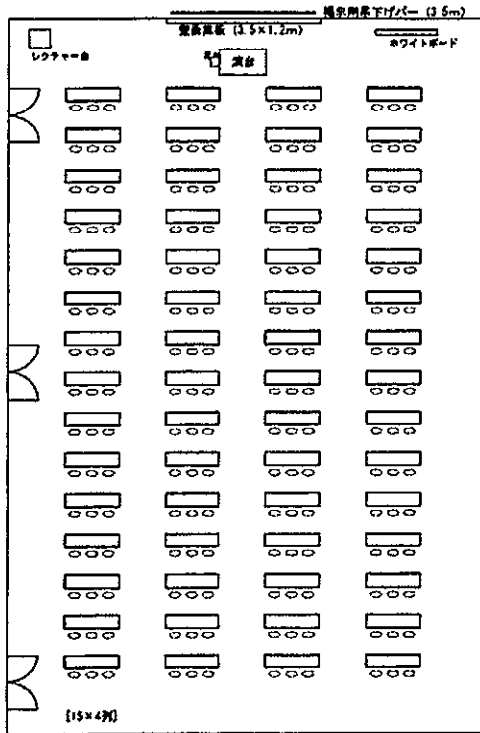
参考資料 10 : アルバイト部屋割り表

参考資料 11 : 昼食時の会議室利用案内

参考資料 1

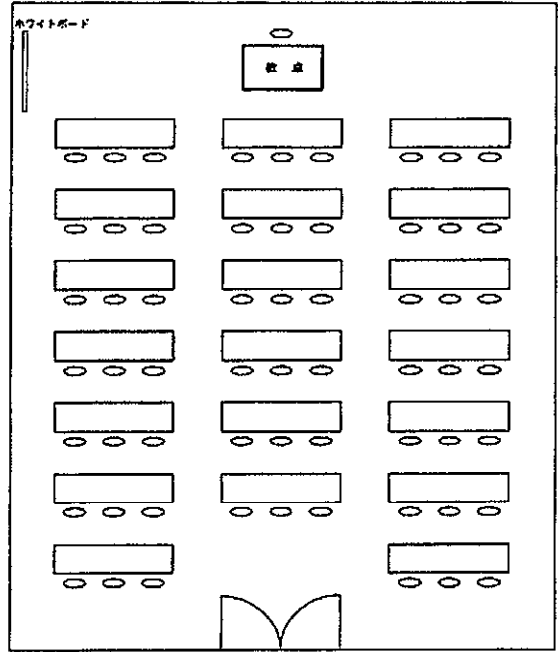
姫路商工会議所

501ホール レイアウト図



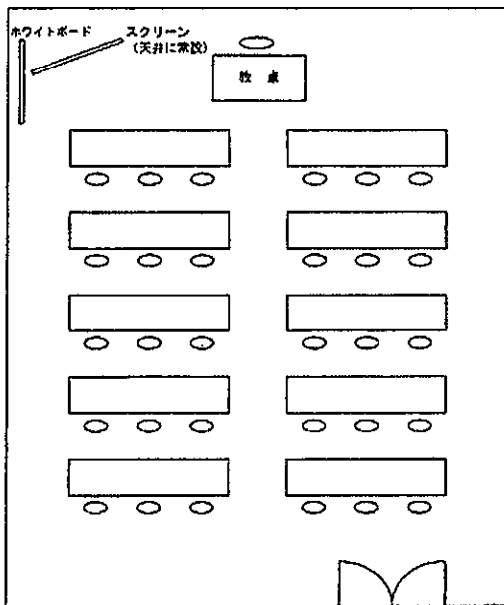
会場 I (501) 机 60台 椅子 180脚

503会議室 レイアウト図



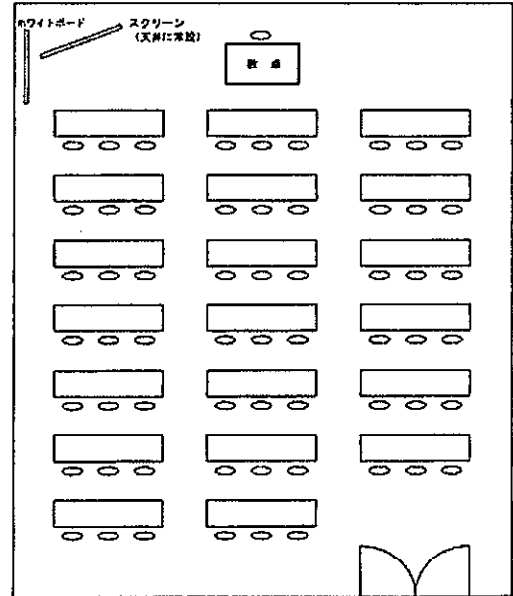
会場 II (502), 会場 III (503)

601会議室 レイアウト図



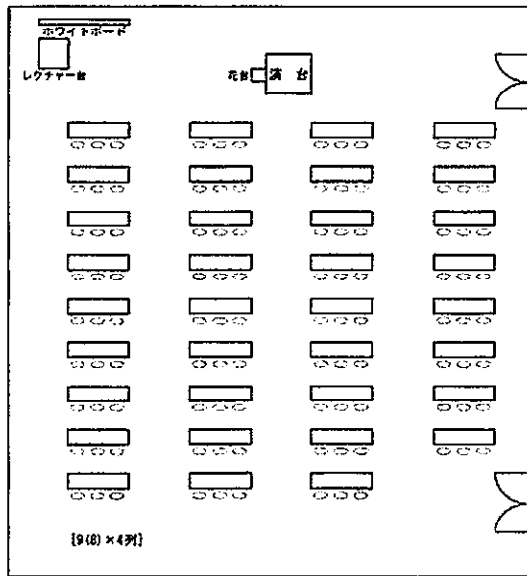
会場 IV (601) 机 10台 椅子 30脚

603会議室 レイアウト図



会場 V (602), 会場 VI (603) 机 20台 椅子 60脚

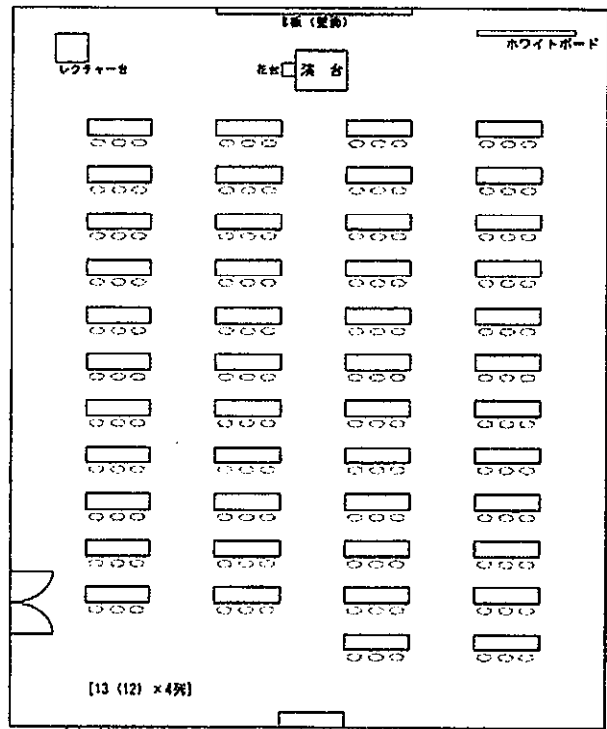
605会議室 レイアウト図



会場Ⅶ(605)

机 35台
椅子 105脚

701ホール レイアウト図

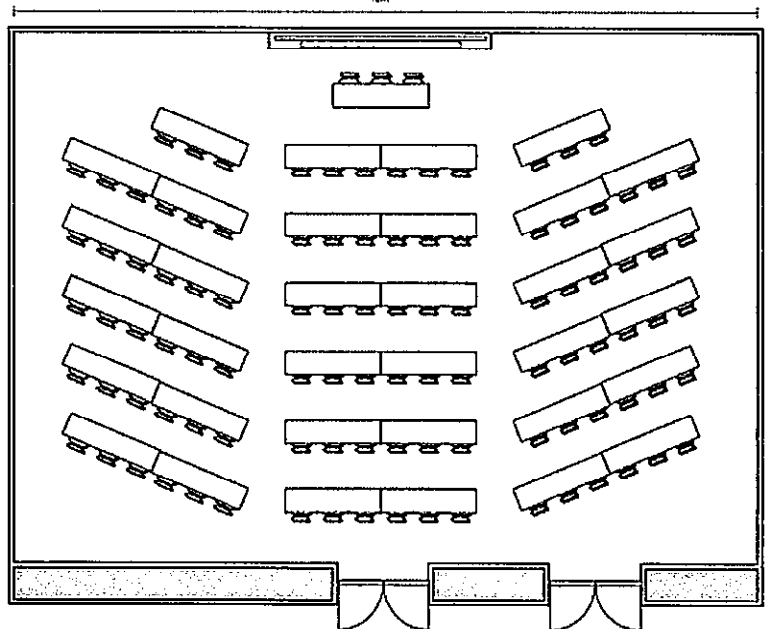


会場Ⅶ(701)

机 46台
椅子 138脚

姫路商工会議所

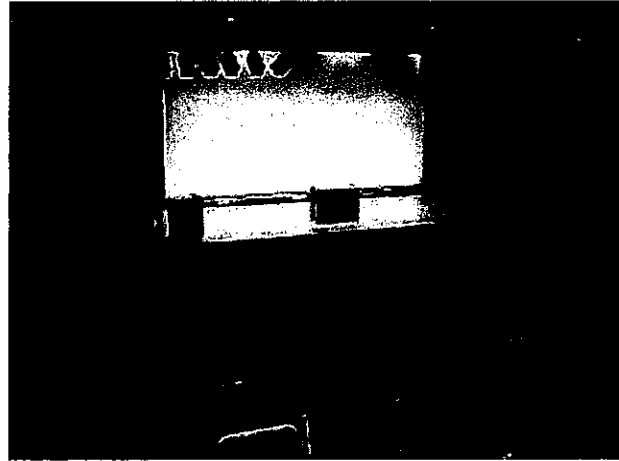
702ホール レイアウト図



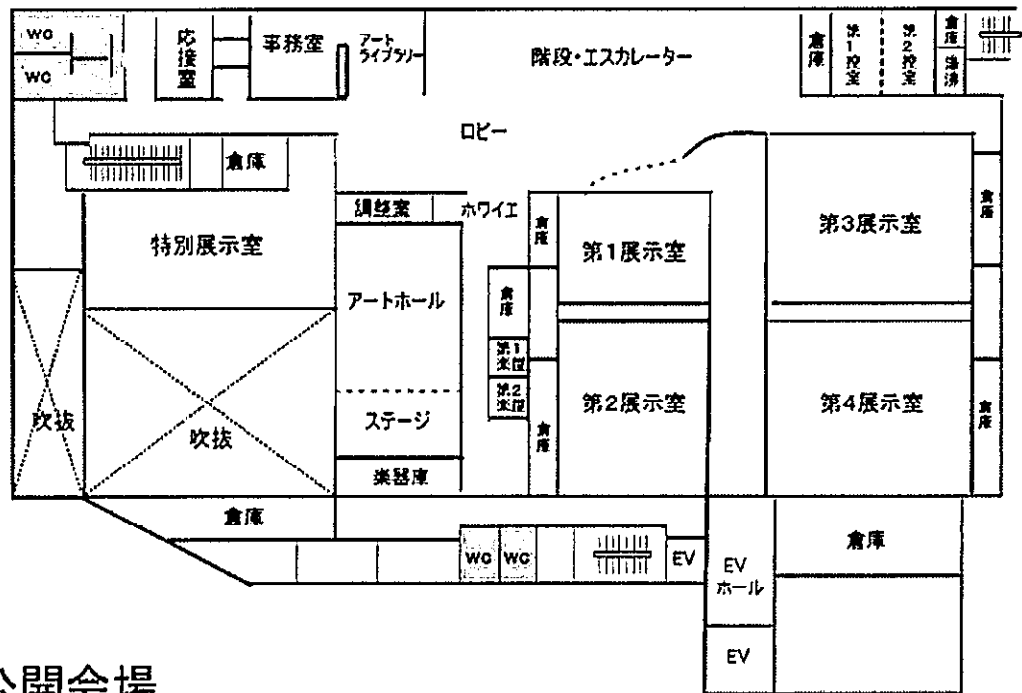
会場Ⅷ(702)

105名

特別会場
 あいめっせホール
 (3F, 280名)



イーグレ姫路



公開会場
 アートホール
 (B1F, 120名)

参考資料 2

会場係アルバイト表

		2013年1月28日				2013年1月29日				2013年1月30日			
		午前		午後		午前		午後		午前		午後	
		前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
会場(1)	姫商工501		○	○	○							○	
会場(2)	姫商工502		○	○		○	○	○		○	○	○	○
会場(3)	姫商工503		○	○	○	○	○	○		○	○		
会場(4)	姫商工601					○	○	○		○	○	○	○
会場(5)	姫商工602		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
会場(6)	姫商工603		○	○	○	○		○		○	○	○	○
会場(7)	姫商工605			○	○								
会場(8)	姫商工701		○	○	○								
会場(9)	姫商工702		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
特別会場	イーグレ3F								○				
公開会場	イーグレB1F											○	○

大会会場への交通案内

大会会場へのアクセス

J R 姫路駅（北側，姫路城側）より

①一般講演会場，本部，受付

姫路商工会議所（〒670-8505 姫路市下寺町 43 電話 079-222-6001）

・神姫バス（姫路駅（北口）のりば）

※日出町 行 25 ⇒ 商工会議所前 下車

※鹿島神社 行 21，夕陽ヶ丘 行 22，別所駅 行 22 ⇒ 坂田町 下車

※運賃 100 円，乗車時間 4 分

※バス停は下図，時刻表は次頁をご参照下さい。（11月1日時点）

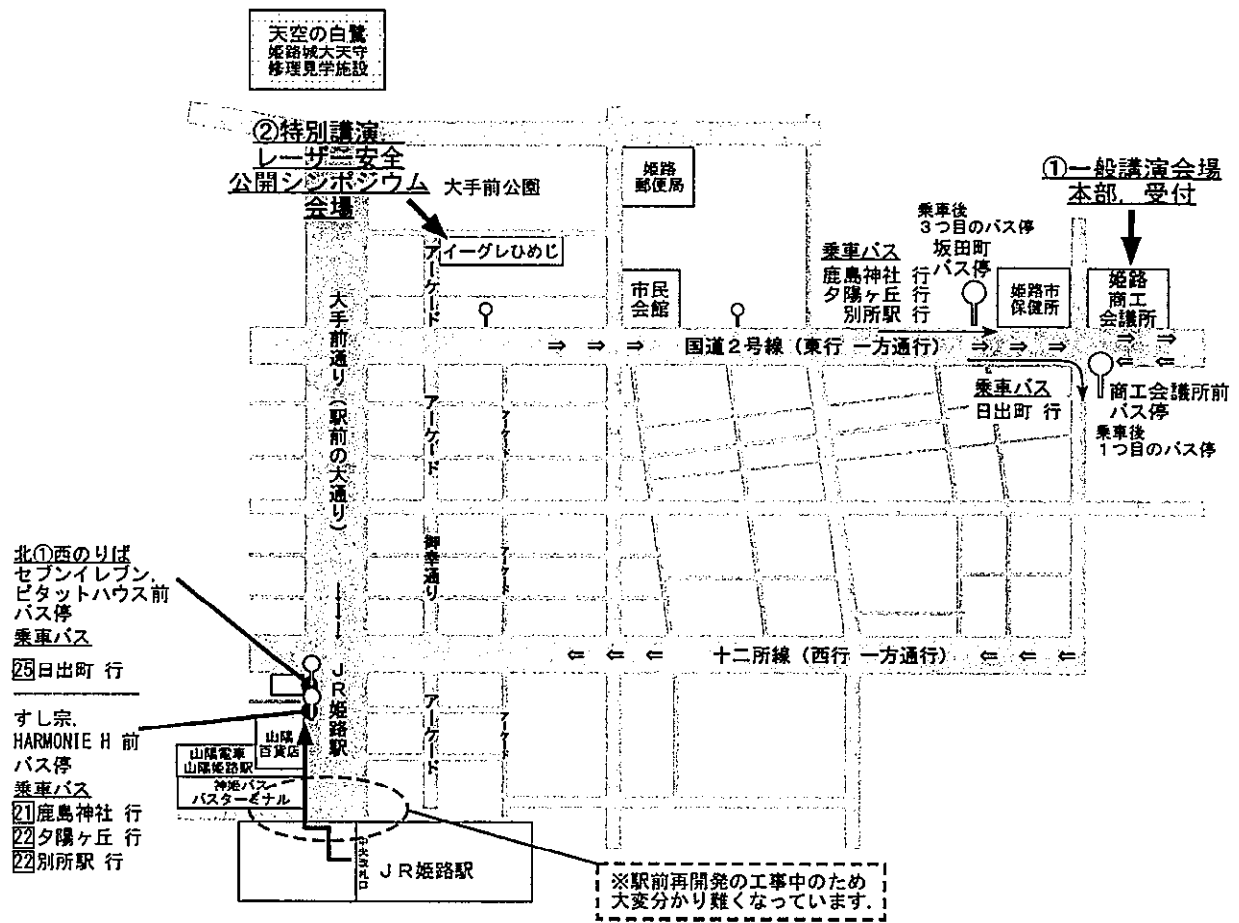
※J R 姫路駅北側再開発の工事のため，臨時バス停となっており，分かり難くなっています。

・徒歩約 18 分（約 1.4 km）

②特別講演・レーザー安全公開シンポジウム会場

イーグレひめじ（〒670-0012 姫路市本町 68 番地 290 電話 079-287-0803）

・徒歩約 7 分



姫路駅（北口）北①西のりば時刻表

平日				
時刻	行先			
	乗り場 セブンイレブン、 ピタットハウス前		乗り場 すし宗、HARMONIE H 前	
	日出町	路線番号 25	別所駅・夕陽ヶ丘 22	鹿島神社 21
7	00	20 40 50	50	
8	00	15 30 40	50	20
9	00	20 40	50	20
10	00	20 40	50	
11	00	20 40	20	
12	00	20 40		20
13	00	20 40	20	
14	00	20 40	20	

15	00 20 40		20
16	00 20 40	20 50	
17	00 20 40	20	

◎神姫バス携帯用時刻表 QR コード

日出町行

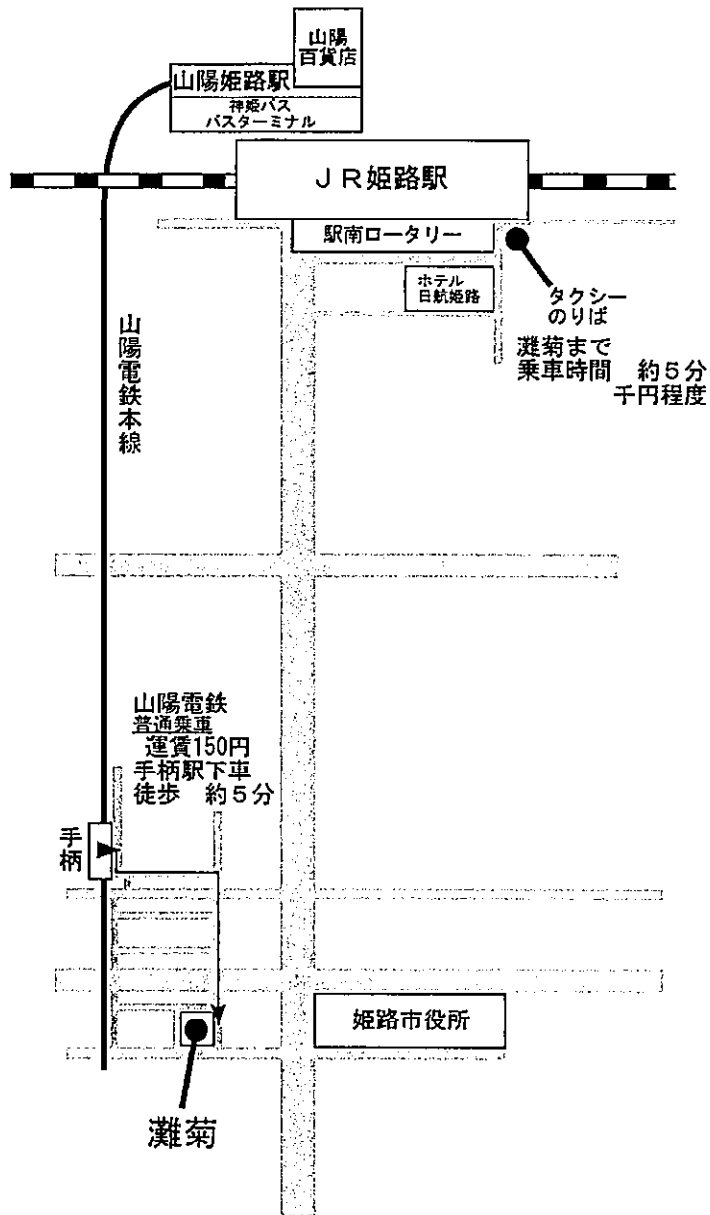


別所駅行, 夕陽ヶ丘行, 鹿島神社行



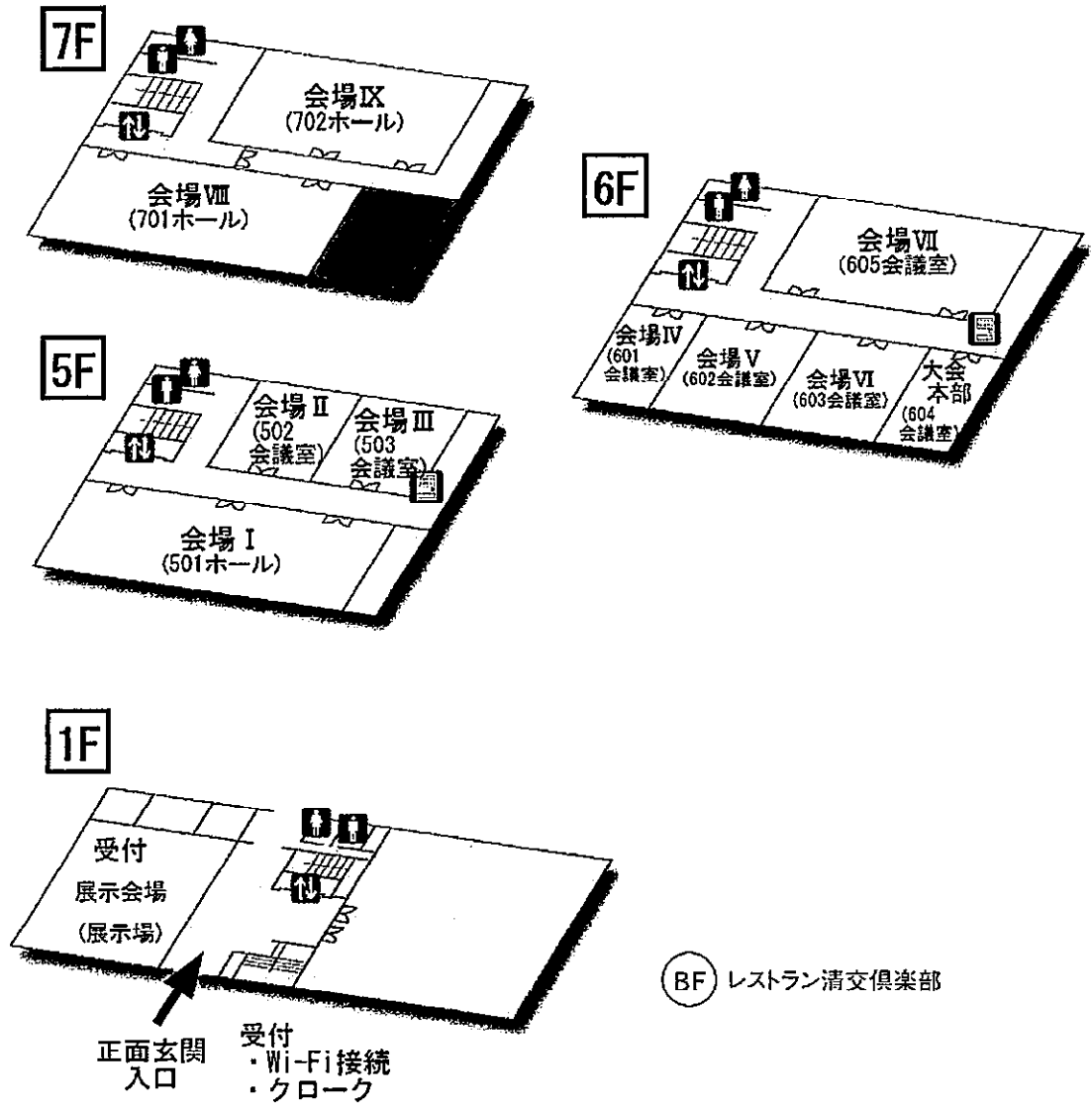
◎懇親会会場（会場へ直接お越しの場合は、姫路駅南側タクシー乗り場をご利用下さい。）

灘菊（〒670-0972 姫路市手柄 1丁目 121 電話 079-285-3111／タクシー乗車 約5分）



第 33 回年次大会会場平面図

①一般講演会場，本部，受付：姫路商工会議所



男子トイレ



女子トイレ



エレベーター

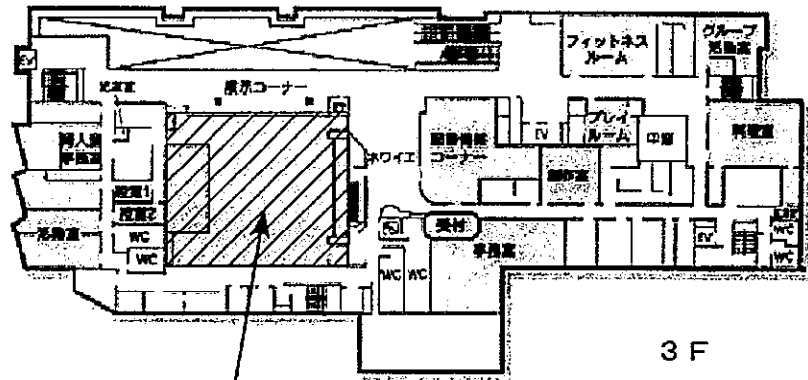


自販機

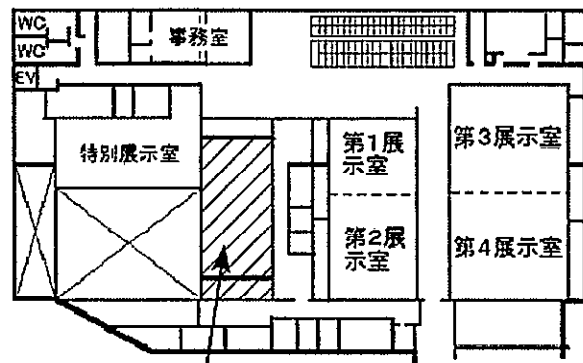


喫煙所

②特別講演, レーザー安全公開シンポジウム会場: イーグレひめじ

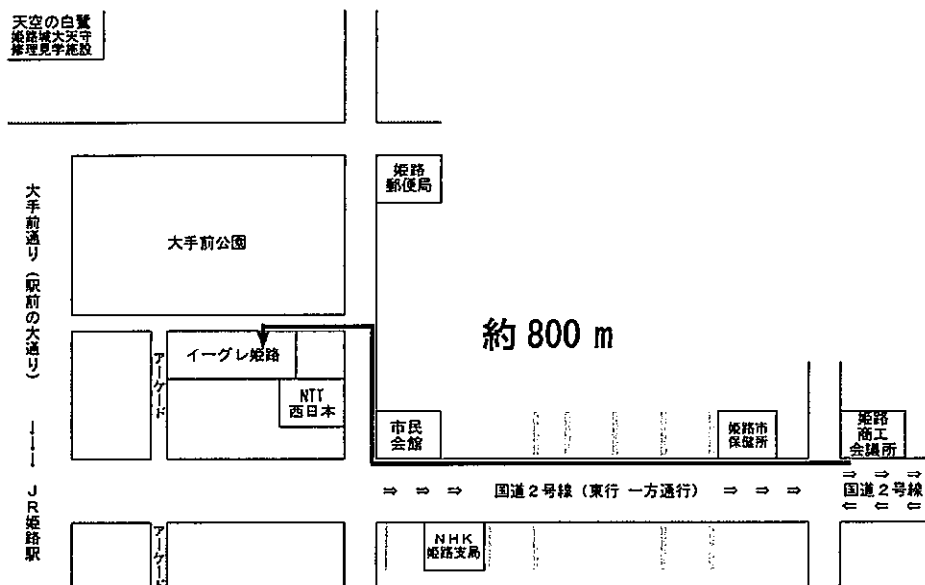


特別講演会場
あいめっせ
ホール



レーザー安全
公開シンポジウム
会場
アートホール

地下1F

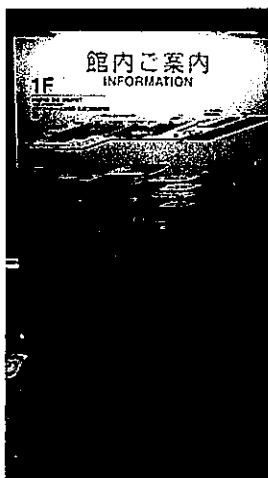


参考資料 5

イーグレひめじ会場 参考写真

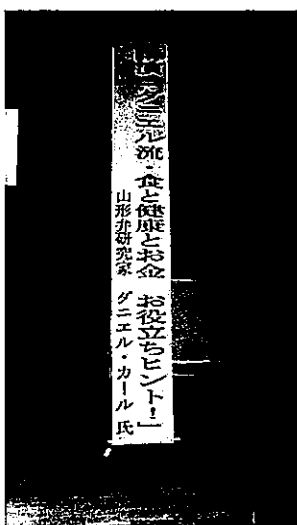
○1階 館内案内

○1階 施設利用案内

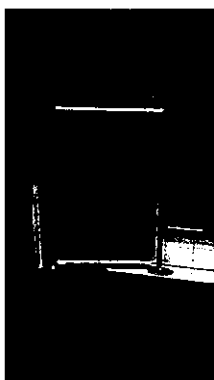


あいめっせホール (特別講演会場)

○講演者 紹介垂れ幕 (表裏2枚で2名分対応)

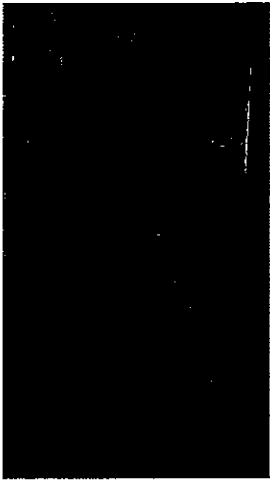


○掲示板



アートホール（公開シンポジウム会場）

○ホール横案内掲示



○掲示板

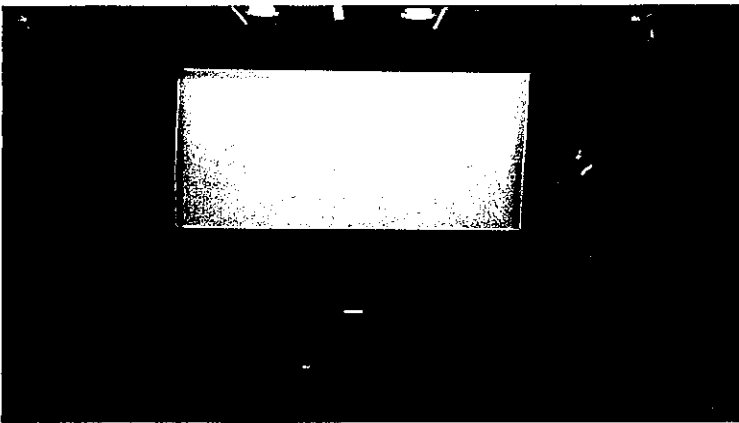


参考：掲示例

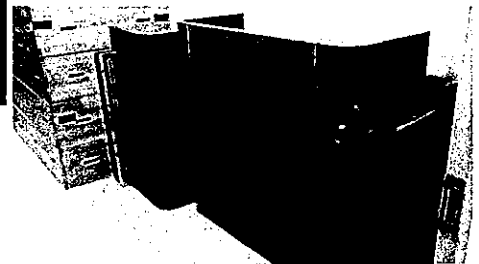
○受付台



○ホール内



○講演者台



御見積書

レーザー学会第33回年次大会
実行委員会 様

発行日	2012年12月21日
有効期限	発行日から2週間
支払条件	発送 クレジットカード
納品先	ご指定先
機材お届け日	2013年01月27日14時～16時
レンタル期間	2013年01月28日～2013年01月30日
お客様発送日	2013年01月30日発送、翌日弊社到着(北海道・沖縄一部離島除く) (翌日弊社到着・一部除く)

APEX 株式会社 ビデオエクスプレス
www.apex106.com
〒530-0054 大阪府大阪市北区南森町 2-3-30
TEL:06-6363-1010 FAX:06-6363-6060

合計金額(税込)
¥143,178

※仮予約お申込み後、機材の在庫を確認し、確保致します。

機材	個数	単価	小計
EMP-1710	5	¥9,800	¥49,000
ノートパソコン(Win7 OSのみ) LIFEBOOK A550/B(FUJITSU)	8	¥6,720	¥53,760
ノートパソコン(Win7 OSのみ) dynabook Satellite B551/D(東芝)	1	¥6,720	¥6,720
RGBケーブル・ミニDサブ15ピン 10m	5	¥700	¥3,500
マイクロソフトオフィス2010(Windows・アカデミック)	9	¥1,200	¥10,800
Kingsoft Internet Security	9	¥900	¥8,100
		レンタル料金	¥131,880
		安心補償	¥11,298
		送料	¥0
		合計	¥143,178

備考欄

※この見積書は自動発行です。
仮予約お申込み後、正式な料金をご案内させていただきます。

安心補償

Safe system

弊社レンタルサービスをご利用いただくとき、レンタル料金合計金額の10%を上乗せすることで、安心補償(国内&海外)をつけることができます。補償の対象範囲はレンタルしていただく本体およびアクセサリまでカバーしておりますので、万が一のときも安心です。

1. 補償の対象となる場合

下記2を除く偶然かつ外来の事故によって物件に生じたすべての損害が、補償の対象となります(免責金額:1泊2日分のレンタル価格)

例:破損、火災、落雷、破裂、爆発、航空機の墜落、自動車の飛込み、労働争議に伴う盗行、取扱い不注意、誤操作などにより損害が生じた場合

※補償の対象となる場合でも、返却遅延により物件に損害を生じた場合はお客様の全額負担とします。

免責金額について

レンタル期間中、補償となる事故が発生した場合でも、レンタル物件の1泊2日分のレンタル価格がお客様負担額とさせていただきます。

※場合により上記価格に限りません。事故内容によりお客様にて修理額・物件の時価額の一部及び全額をご負担頂く場合があります。

2. 補償の対象とならない場合(主なもの)

下記の事由によって生じた損害は、補償の対象となりません。

※下記の事由等により損害が生じた場合は、修理額・物件時価額の全額をご負担頂きます。

- (1)紛失、置忘れ、詐欺、横領
- (2)水漏れ、雨、台風や暴風雨による水災
- (3)故意または重大な過失、不誠実行為
- (4)地震、噴火、津波
- (5)使用の結果として生ずる変質、汚損
- (6)戦争、暴動、その他の変乱
- (7)公共機関による差押、没収、破壊
- (8)修理・清掃等の作業中の損害
- (9)盗難(警察が受理した場合も含む)

3. 事故発生の場合の手続き

物件に事故が発生した時は、直ちに弊社にご連絡下さい。

To: fukumotn@eng.u-hyogo.ac.jp
Subject: ご予約確定致しました【ビデオエイベックス】
From: info@apex106.com
Date: Fri, 21 Dec 2012 17:18:28 +0900 (JST)

藤原 関夫様

株式会社ビデオエイベックスです。
この度は弊社レンタルサービスのご利用ありがとうございます。

レンタル仮予約いただきましたご希望のレンタル商品の在庫がございましたのでご予約確定のご連絡を差し上げました。

つきましては下記1・2のお手続きをお願いいたします。

1、初回ご利用または登録内容に変更がある場合は、
下記より登録書をプリントアウトの上ご提示ください。
https://www.apex106.com/shop/login_faxpage.php?on=1212211069
※プリンタをお持ちでない場合は別の書式でも構いません。
※FAXをお持ちでない場合はメール添付も可。宛先: info@apex106.com

2、レンタル代金を事前にご入金下さい。
* *****
《クレジットカード決済》下記 URL よりお手続きください。
<https://www.apex106.com/shop/paycard.php?ma=fukumotn@eng.u-hyogo.ac.jp&on=1212211069>
・SSL暗号化通信で保護されております。安心してご利用ください。
* *****

////////////////////////////////////
// //
// 上記手続き締切日 1月 10日 15時まで //
// //
////////////////////////////////////

キャンセルの際は必ずご連絡くださいませ。
よろしくお願ひ申し上げます。

注文番号 1212211069 受付日: 2012年12月21日 金曜日 17:05:15

機材お届け日 : 2013年01月27日 14時~16時
レンタル期間 : 2013年01月28日~2013年01月30日
お客様発送日 : 2013年01月30日付集荷発送 (お客様ご手配)
翌日弊社到着 (北海道・沖縄一部離島は除く)
引渡し方法 : 発送
決済方法 : クレジットカード
安心補償 : 海外&国内安心補償+10%

付属品:
電源ケーブル、リモコン、ミニDサブ15ピン、ステレオミニジャック、AVケーブル(黄白赤)、ミニプラグ変換、USBケーブル、取扱説明書CD-ROM、取扱説明書、電源ケーブル、リモコン、ミニDサブ15ピン、ステレオミニジャック、AVケーブル(黄白赤)、ミニプラグ変換、USBケーブル、取扱説明書CD-ROM、取扱説明書、電源ケーブル、リモコン、ミニDサブ15ピン、ステレオミニジャック、AVケーブル(黄白赤)、ミニプラグ変換、USBケーブル、取扱説明書CD-ROM、取扱説明書、電源ケーブル、リモコン、ミニDサブ15ピン、ステレオミニジャック、AVケーブル(黄白赤)、ミニプラグ変換、USBケーブル、取扱説明書CD-ROM、取扱説明書、ACアダプター、電源ケーブル、マウス、データ抹消ソフトCD-R、ACアダプター、電源ケーブル、マウス、データ抹消ソフトCD-R、ACアダプター、電源ケーブル、マウス、データ抹消ソフトCD-R、ACアダプター、電源ケーブル、マウス、データ抹消ソフトCD-R、ACアダプター、電源ケーブル、マウス、データ抹消ソフトCD-R、ACアダプター、電源ケーブル、マウス、データ抹消ソフトCD-R、ACアダプター、電源コード、マウス、取扱説明書、データ抹消ソフトCD-R

商品名	数量	単価(税込)	小計(税込)			
EMP-1710	5	9,800	49,000			
ノートパソコン (Win7 OSのみ)	LIFEBOOK A550/B (FUJITSU)	8	6,720	53,760		
ノートパソコン (Win7 OSのみ)	dynabook Satellite B551/D (東芝)	1	6,720	6,720		
RGB ケーブル・ミニD サブ 15ピン 10m	5	700	3,500			
マイクロソフトオフィス 2010 (Windows・アカデミック)	9	1,200	10,800			
Kingsoft Internet Security	9	900	8,100			
	レンタル料金合計		¥131,880			
	安心補償		¥11,298			
	送料		¥0			
	合 計		¥143,178			

安心補償加入の方へ

<http://www.apex106.com/html/system/hosho.html>

【 お引渡し 】

お名前 : 姫路商工会議所 レーザー学会・兵庫県立大学 藤原・福本様
 電話番号 : 079-222-6001
 郵便番号 : 670-8505
 都道府県 : 兵庫県
 郡市区町村 : 姫路市
 それ以降の住所 : 下寺町 43
 建物名 : 姫路商工会議所

【 備 考 】

レーザー学会第33回年次大会で使用します。会場は姫路商工会議所で、現地実行委員は兵庫県立大学が担当します。なお、本申込みは、実行委員会 副委員長の藤原関夫（兵庫県立大学）が代表者ですが、実質の受付窓口は、福本直之（兵庫県立大学）が担当致します。会員登録の電話番号とメールは、福本につながる様になっております。以上、よろしくお願い致します。

 株式会社ビデオエイペックス

 [東京中央営業所] TEL.03-3668-6070 〒103-0014
 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-7-9 オンラインビル 1F

 [東京渋谷営業所] TEL.03-5774-1300 〒150-0011
 東京都渋谷区東 1-26-24

 [大阪本社] TEL.06-6363-1010 〒530-0054
 大阪市北区南森町 2-3-30

 [名古屋営業所] TEL.052-953-1700 〒461-0005
 名古屋市中区東桜 1-4-13 アイ高岳ビル 1F

- ・映像機材レンタル館 <http://www.apex106.com>
 ・パソコンレンタル館 <http://www.v-apex.jp>
 ・トラベル館 <http://www.suitcaserental.jp/>
 ・ビデオダビング専門 <http://www.v-apex.com>
 ・ビデオエイペックス <http://www.v-apex.co.jp>

参考資料 7

To: fukumotn@eng.u-hyogo.ac.jp
Subject: ご入金確認致しました【ビデオエイベックス】
From: info@apex106.com
Date: Tue, 25 Dec 2012 11:15:07 +0900 (JST)

藤原 関夫様

株式会社ビデオエイベックスです。
この度は弊社レンタルサービスのご利用ありがとうございます。

現在ご予約いただいております
注文番号 1212211069
のお支払いの件でご入金確認がとれました。ありがとうございます。

以上でお手続きは完了です。よろしくお願いいたします。

株式会社ビデオエイベックス

[大阪本社] TEL.06-6363-1010 〒530-0054
大阪市北区南森町 2-3-30

- ・映像機材レンタル館 <http://www.apex106.com>
- ・パソコンレンタル館 <http://www.v-apex.jp>
- ・トラベル館 <http://www.suitcaserental.jp/>
- ・ビデオダビング専門 <http://www.v-apex.com>
- ・ビデオエイベックス <http://www.v-apex.co.jp>

参考資料 8

レーザー学会年次大会(2013年1月28日～30日)

主会場: 姫路商工会議所 (姫路市下寺町43番地)

担当者: 兵庫県立大学教授 藤原 潤夫(Tel079-267-4866)

名称	定員(人)	面積(m ²)	備考	27日(日)	28日(月)	29日(火)	30日(水)	スクリーン	プロジェクター	PC	電源ケーブル	マイク
403会議室	22	56	口の字配置		12時-17時 姫路支部	(12時-17時) 理事会	×	×	×	×		×
501ホール(会場I)	180	268			(9時-18時)	×	(12時-18時) 農業(15-18)	○	○	△	10m*1	◎
502会議室(会場II)	60	86			(9時-22時)	(9時-22時)	(9時-17時)	○	△	△	5m*1	
503会議室(会場III)	60	86			(9時-22時)	(9時-22時)	(9時-13時)	○	△	△	5m*1	
601会議室(会場IV)	30	73			(12時-22時) 編集委員会	(9時-22時)	(9時-17時)	◎	△	△	5m*1	×
602会議室(会場V)	60	86			(9時-22時)	(9時-22時)	(9時-18時)	◎	△	△	5m*1	
603会議室(会場VI)	60	86			(9時-22時)	(9時-22時)	(9時-18時)	◎	△	△	5m*1	
604会議室(本部)	30	73	口の字、本部休憩		(9時-22時)	(9時-22時)	(9時-17時)	◎	×	×		×
605会議室(会場VII)	105	165			(12時-18時) カオス(16-18)	×	×	○	○	△	3m*2	◎
701ホール(会場VIII)	138	208			(9時-18時)	×	×	◎	○	△	10+3m	◎
702ホール(会場IX)	105	140			(9時-22時)	(9時-22時)	(9時-18時)	◎	◎	△	5m*1	◎
301新館会議室	24		東京支部会議	13-17時		(12時-14時) 東京支部会議		×	×	×		×
402会議室			安全専門委員会			(12時-14時) 安全専門委員会		×	×	×		×
1F展示場全体		218	受付・展示場(本部): (18時-22時)	(9時-22時)	(9時-22時)	(9時-22時)	(9時-17時)	×	×	×	5m*4	×

A: スクリーン

B: プロジェクター

○: マイク

ポータブルマイクが別途4台あり

◎: 設置済み

○: 移動式予定

×

△: リース

リース

・PC 8台+本部1台=9台

・プロジェクタ 5台

特別講演, レーザー安全公開シンポジウム: イーグレ姫路 (姫路市本町68番地290)

3Fあいめっせホール	280	474	階段状ホール	×	(13時-21時)	×						
B1アートホール	120	140				(13時-21時)						

参考資料 9

各一般講演会場内掲示物

<p>座 長</p>	<p>講 演 者</p>
<p>締 切</p> <p>こちらからは 入れません</p>	<p>講演者の方は 事前に 発表資料を 備え付けのパソコンへ コピーして下さい</p>

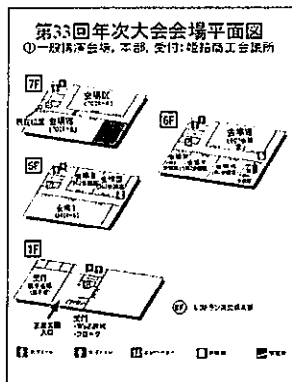
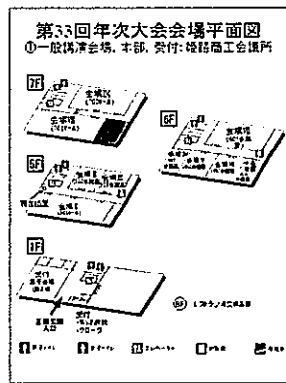
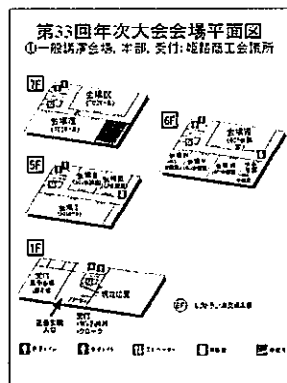
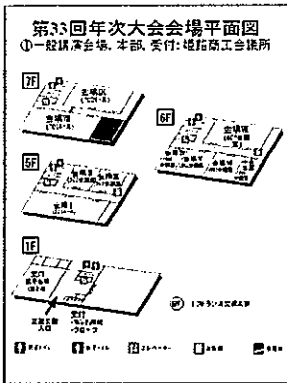
コピーされた発表資料は
学会終了後に
確実に消去致します

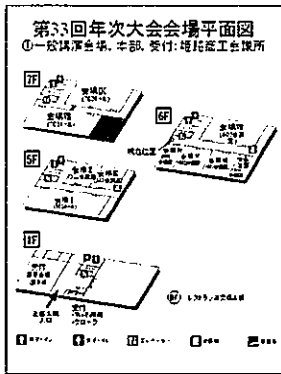
質問される方は
ご所属とお名前を
おっしゃって下さい

【予鈴】
15分 3回
12分 2回
10分 1回

【予鈴】
30分 3回
25分 2回
20分 1回

会場案内 (エレベーター前等)





特別講演会懸垂幕

レーザー学会学術講演会 第33回年次大会
公開特別講演会

バイオメディカル・フォトリクスの現状とその将来
日本レーザー医学会 理事長 菊地 眞 氏
可視領域レーザーの光産業における価値と将来展望
ウシオ電機 固体光源事業部長 杉谷 晃彦 氏

レーザー安全公開シンポジウム案内

レーザー安全
公開シンポジウム

会場係アルバイトマニュアル

集合時間：1月28日(月) 8:30

1月29日(火) 8:30

1月30日(水) 8:30

集合場所：姫路商工会議所 1階受付

会議室担当表：別紙参照

一般注意事項：

- ・ 作業終了時間は担当する会議室により異なるため、会議室担当表より各自が担当する会議室のスケジュールをしっかりと把握しておくこと。
- ・ 大会当日はネクタイ、スーツ着用が望ましい。腕時計を持参すること。
- ・ 会場への移動は公共交通機関を利用すること(交通費支給はなし)。
- ・ 都合により担当者が変わる場合は、事前に会場係担当者まで連絡すること。
- ・ 昼食は弁当を用意します。

緊急連絡先：

大会本部 TEL: 090-9716-0264(藤原先生)

業務内容：

(1) 会場設営・準備に関する業務内容

姫路商工会議所(会場Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ)

1月28日(月)(8:30～10:30)、1月29日(火)(8:30～9:00)、1月30日(水)(8:30～9:00)

1) 出欠確認

2) 作業内容説明

3) 各会場での設営作業

- ・ スクリーンの位置確認
- ・ PC プロジェクタの動作確認(操作法の確認)
- ・ マイク機器の動作確認
- ・ 照明スイッチの位置・動作確認、プロジェクタ投影時の会場の明るさ確認
- ・ 机、椅子等のセッティング状況確認、各会場の席数を調整(椅子を増やす)
- ・ 各会場への案内(階数、矢印など)を立て看板にて表示、各会場の入口に会場名を立看板にて表示、各会場の座長席に貼紙にて表示、予鈴および講演者への注意事項は各会場のホワイトボードに貼紙にて表示(1月28日に行う)

- ・ 不明な箇所や故障を発見したら、会場係担当者あるいは大会本部に至急連絡すること。

(2) 講演会会場の進行係の作業内容

作業 1: 各セッション開始前の準備作業

- ・ 講演者に対し、会場のパソコンに予めパワーポイントファイルを入れてもらうようアナウンスする。
- ・ 開始 10 分前までに座長席横に着席し、座長を確認しておく。
- ・ 自分が進行係であることを座長に伝え、必要に応じて打ち合わせを行っておくこと。
- ・ 優秀論文発表賞のエントリー件数を伝える。
- ・ 特別講演・懇親会・展示会に関する案内を座長に渡し、アナウンスを依頼する。
- ・ 講演者の PC プロジェクタ試写の手伝い(動画をご使用になる場合等の事情で PC をご持参される講演者のセッション前の休憩時間に予め PC プロジェクタとの接続・動作チェック作業の手伝いと講演終了後の元の PC への接続復帰作業の手伝いを含む)。
- ・ もし、座長がセッション開始 5 分前になっても現れないときは本部に連絡すること。

作業 2: 講演会の進行作業

- ・ PC プロジェクタ接続の手伝い
- ・ ベル操作
一般講演 15 分:一鈴(10 分経過時)、二鈴(12 分経過時)、三鈴(15 分経過時)
招待講演 30 分:一鈴(20 分経過時)、二鈴(25 分経過時)、三鈴(30 分経過時)
- ・ 照明操作 講演中は照明(の一部)OFF、質疑応答中は照明 ON
(必要に応じて適宜照明をつけるようにする)
- ・ 参加者数のカウント:計数結果を講演進行状況報告書に記入する(最大と最小人数と認められたときに適宜行う)。
- ・ 論文発表賞のエントリーがある場合、座長交代時に採点表を受け取る。

作業 3: 午前のセッション終了後のお昼休み時間の作業

- ・ 会場に忘れ物があれば、大会本部へ持ち帰る。
- ・ 会場にゴミがあれば、大会本部へ持ち帰る。
- ・ 大会本部に戻り、講演進行状況報告書(午前の前後半分)を提出する。
- ・ 大会本部にて連絡事項の確認をする。
- ・ 昼食休憩(大会本部にて)(次のセッションが始まる 10 分前までには担当会場に戻る)

作業 4: 午後のセッション終了後の片付け作業

- ・ PC プロジェクタ、マイク、ノートパソコンの電源を切る。
- ・ 机、椅子等、会場を整理する。
- ・ 会場に忘れ物があれば、大会本部へ持ち帰る。
- ・ 会場にゴミがあれば、大会本部へ持ち帰る。
- ・ 大会本部に戻り、講演進行状況報告書(午後の前後半分)を提出する。

・ 大会本部にて連絡事項の確認をする。

姫路商工会議所(会場 I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX)

1月28日(月)(会場によっては午後の前後半で分かれていないセッションもあるため、プログラム表で必ず確認のこと。)

午前前半 お昼休み 午後前半 午後後半 片付け

作業1ー作業2ー作業3ー作業1ー作業2ー作業1ー作業2ー作業4

1月29日(火)(会場によっては午前の前後半で分かれていないセッションもあるため、プログラム表で必ず確認のこと。)

午前前半 午前後半 お昼休み 午後後半 片付け

作業1ー作業2ー作業1ー作業2ー作業3ー作業1ー作業2ー作業4

1月30日(水)(会場によっては午前の前後半で分かれていないセッションもあるため、プログラム表で必ず確認のこと。)

午前前半 午前後半 お昼休み 午後前半 午後後半 片付け

作業1ー作業2ー作業1ー作業2ー作業3ー作業1ー作業2ー作業1ー作業2ー作業4

参考資料 1 1

担当		27日(日)		28日(月)		29日(火)			30日(水)		
		午後	午前	午後	弁当	午前	午後	弁当	午前	午後	弁当
会場係	アルバイトA					会場VI*	会場VI	○	会場IX	会場IX	○
28日・8名	アルバイトB					会場III	会場III	○	会場III	会場I	○
29日・6名	アルバイトC					会場V	会場V	○	会場V	会場V	○
30日・6名	アルバイトD		会場V	会場V	○						
	アルバイトE		会場I	会場I	○						
	アルバイトF		会場VIII	会場VIII	○						
	アルバイトG		会場IX	会場IX	○	会場IX	会場IX	○			
	アルバイトH		会場VI	会場VI	○	会場IV	会場IV	○			
	アルバイトI			会場VII	○						
	アルバイトJ		会場II	会場II	○	会場II	会場II	○	会場II	会場II	○
	アルバイトK		会場III	会場III	○						
	アルバイトL								会場IV	会場IV	○
	アルバイトM								会場VI	会場VI	○

*9日10:30~12:00会議室区で補助(30日担当の作業確認)

参考資料 1 2

昼休み中の会議室の利用について

昼食の際、会議室をご利用頂けます。

※ゴミについては、1階受付会場の所定の場所で廃棄をお願い致します。

レーザー学会年次大会(2013年1月28日～30日)

2013.1.25

主会場: 姫路商工会議所 (姫路市下寺町43番地) 担当者: 兵庫県立大学教授 藤原関夫(Tel:079-267-4866)

名称	定員(人)	面積(m ²)	備考	27日(日)	28日(月)	29日(火)	30日(水)	スクリーン	プロジェクター	PC	電源ケーブル
403会議室	22	56	口の字配置		12時-17時 関西支部	(12時-17時) 理事会	X	X	X	X	
501ホール(会場I)	180	268			(9時-18時)	X	(12時-18時) 農業(15-18)	O	O	△	10m*1
502会議室(会場II)	60	86			(9時-22時)		(9時-17時)	O	△	△	5m*1
503会議室(会場III)	60	86			(9時-22時)		(9時-13時)	O	△	△	5m*1
601会議室(会場IV)	30	73			(12時-22時) 編集委員会	(9時-22時)	(9時-17時)	◎	△	△	5m*1
602会議室(会場V)	60	86			(9時-22時)	(9時-22時)	(9時-18時)	◎	△	△	5m*1
603会議室(会場VI)	60	86			(9時-22時)	(9時-22時)	(9時-18時)	◎	△	△	5m*1
604会議室(本部)	30	73	口の字、本部休憩		(9時-22時)	(9時-22時)	(9時-17時)	◎	X	X	
605会議室(会場VII)	105	165			(12時-18時) カオス(16-18)	X	X	O	O	△	3m*2
701ホール(会場VIII)	138	208			(9時-18時)	X	X	◎	O	△	10+3m
702ホール(会場IX)	105	140			(9時-22時)	(9時-22時)	(9時-18時)	◎	◎	△	5m*1
301新館会議室	24		東京支部会議	13-17時		(12時-14時) 東京支部会議		X	X	X	
402会議室			安全専門委員会			(12時-14時) 安全専門委員会		X	X	X	
1F展示場全体	218		受付・展示場・(本部)	(18時-22時)	(9時-22時)	(9時-22時)	(9時-17時)	X	X	X	5m*4
設備使用料											15本

特別講演: イーグル姫路 (姫路市本町68番地290)

3Fあいみっせホール 280 474 階段状ホール

B1アートホール 120 140 (13時-21時)

合計

懇親会場: 灘菊酒造

A: スクリーン

B: プロジェクター

C: マイク

ポータブルマイクが別途1台あり

◎: 設置済み

O: 移動式予定

X: 無し又は不要

△: リース

リース

・PC 8台+本部1台=9台

・プロジェクター 5台

III-2.5 懇親会係

伊藤省吾、藤沢浩訓

A) 会場・日時

とにかく安く良い酒が出るところということで、それぞれで情報を出し、まねき食品の社長様とも相談した結果、造り酒屋「灘菊」の経営するレストランである「前蔵」がよいであろうという事で場所を確定した。場所は学会会場から数キロメートル離れているものの、路線バスを低価格で借りることで対応を行った。

会場のセッティングには一週間前に会場内部に入らせていただき、横断幕の大きさ、テーブルの数(立食形式)、料理の位置などを確認した。さらに前日に実行委員長の望月先生、副実行委員長の藤原先生と共に再確認の為に参上し、特別来賓の方々の席をマイクの横に配置した。

当日のセッティングには藤沢と伊藤およびアルバイト学生2名が午後から入り、筆書きの横断幕を張り付け、テーブル、樽、姫路酒造組合からのためし酒(大吟醸10本)+灘菊からの差し入れ(5本)を並べた(「姫路酒造組合」の書は灘菊社長の川石様による)。各お酒の瓶の前にメーカーからそのお酒の説明書きを送付してもらい、特殊な紙に印刷して用意しておき、お酒の前に並べておいた。

お土産用の升に名前を書いてもらうためのラベル200枚を事前に張り付け、玄関前に設置した。トイレは1階にしかないので、事前にその情報を階段の下側および上側の目立つところに張り付けた。階段を上がってすぐの部屋を荷物置場として使用するために、案内の張り紙を張り付けた。一階の会場上り口に、まだ支払っていない方の為に会計を設置した。

懇親会場への案内図は、レーザー学会の参加証に事前に印刷していただいた。

B) 会計

先ず、一般は5000円/人、学生は2000円/人、招待者は無料というところから会計の計算が行われ、昨年実績から、学生がおよそ30名、一般が80名、無料の招待者を合せて61名として、見積もり収入小計を46万円とした。また、学会からの補助として幾らを見込めるかを、会計担当の古賀先生に確認したところ74万円であるという回答を得て、総収入見積もりを120万円とした。

支出に関しては、事前の灘菊での打ち合わせ(H24年10月19日)で、料理が4500円/人、飲み放題2000円/人として、姫路市酒造組合へ4万円、升代が合計81,480円かかり、合計で123万2980円となった。しかし、これでは予算がオーバーするという事で、懇親会3日目の1月25日に灘菊に連絡を入れ、「少々質を落としてもいいので、安くたくさん食べさせてください」とお願いして、急きょ料理の代金を4000円/人に変更していただいた。その結果、予算合計が114万7480円という余裕が出るものとなった。結局決算は、それぞれの参加人数の内訳は昨年実績から近いものになり、学会からの補助金は74万480円という当初の設定額からの差異が僅かに0.06%という驚異的な精度で会計を終了することが出来た。

予算

収入

項目	単価	人数	合計
学生	¥2,000	30	¥60,000
一般	¥5,000	80	¥400,000
招待	¥0	61	¥0
小計		171	¥460,000

支出

項目	単価	人数	合計
参加者	¥6,000	171	¥1,026,000
酒造組合			¥40,000
升代		230	¥81,480
		合計	¥1,147,480

学会補助			¥740,000
		総合計	¥1,200,000

決算

収入

項目	単価	人数	合計
学生	¥2,000	29	¥58,000
一般	¥5,000	79	¥395,000
招待・賛助	¥0	88	¥0
小計		196	¥453,000

支出

項目	単価	人数	合計
料理	¥4,000	170	¥680,000
飲み放題	¥2,000	196	¥392,000
酒造組合			¥40,000
升代		230	¥81,480
		合計	¥1,193,480

学会補助			¥740,480
		総計	¥1,193,480

(料理の人数は1月28日の受付人数で確定。飲み放題の人数は当日配った升の数で確定)

C) 料理など

上記の通り、懇親会の3日前に値引きのお願いをしたのだが、結局は刺身や寿司も出て、ローストビーフもあり、鯛の塩釜焼きも出て、また生姜醤油で食べる姫路おでんや串揚げも出て、非常に満足度の高い料理であったとお聞きしております。また、たくさん食べて満足したところにタイのあら煮が出たり、第2弾の料理がたくさん出たために食べきれないほどの料理を出していただきました。また、樽酒を3種類出していただき、それぞれを飲み放題としました。学会の参加者からは「この値段でこれだけ出てきて、会計ほんまに大丈夫ですか？」と心配されるほどの満足度であったようです。

ビールもいくつか出していただいておりますが、参加者はあまりそれに手を付けず、純粋に日本酒を飲んでおりました。あれだけビールが減らない懇親会を初めて見ました。特に新酒樽酒が良かったと思えました。

料理が残ることは料理屋様には非常に申し訳ないのですが、これは参加者の満足度の表れという事で、灘菊様に連絡を入れておきました。

姫路酒造組合提供酒

- 1「神崎酒造 清酒 龍王の舞 大吟醸」 2「名城酒造 純米 隠し酒」
 3「壺坂酒造 純米吟醸雪彦山無ろ過原酒」 4「ヤエガキ酒造 八重垣 純米大吟醸青乃無」
 5「本田商店 大吟醸 龍力 米のささやき」 6「田中酒造 純米大吟醸 白鷺の城」
 7「灘菊酒造 吟醸原酒」 8「下村酒造 袋しぼり仕込第三伍號」
 9「老松酒造 しぼりたて原酒」 10「奥藤商事 大吟醸 忠臣蔵」

D) 進行

式次第は作成しませんでした。実行委員長望月先生と実行副委員長藤原先生が準備するというものでした。先ず乾杯前の挨拶をしていただき、次に特別来賓の方々にハッピーを着ていただいてから樽の鏡開き、そして事前に実行委員の先生方に柄杓(9本)を持っていただき、鏡開きと同時に皆様にお配りした升到日本酒を注ぎ、すぐに乾杯となりました。

宴会自体も盛り上がっていたように思われました。椅子を用意したのですが、それぞれ立食で会話をするのが忙しく、椅子はほとんど使用されませんでした。

最後に、締めを行い、帰りのバスを用意し、それぞれアナウンスと共に乗り込んでいただきました。

E) その他

今回はたまたま会計収支をきっちりと合わせる事が出来たが、100万円以上が動く懇親会に事前に参加人数と予算が確定できないという事は非常にリスクが高い。次回以降は、インターネットやメールを使用することでおよその人数を事前に確定しておくことを非常に強く推薦する。

参考資料:(前年度との比較)

	H24年度 姫路	H23年度 仙台
懇親会参加者	196人	139人
懇親会場費	無し	73,500
料理	4000*170=680,000(3,470/人)	6825*90=614,250(4,420/人)
フリードリンク	2000*196=392,000	1817*138=250,746
サービス料	無し	94,059
その他	酒持込(10本) 40,000 升 230個 81,480	酒持込(12) 50,000 ささかま 18,900
バス3台 (イーグレ姫路-灘菊)	約 31,500 *3=94,500円 (路線バス使用、別途支出)	
合計(単価/人)	1,193,480(6,089/人)	1,103,555(7,939/人)

バス費用は懇親会費外で支出

レーザー学会年次大会懇親会スケジュール

日時：平成 25 年 1 月 29 日（火） 18：15～20：30

場所：灘菊酒造 西蔵

http://www.nadagiku.co.jp/access/#case_car

懇親会参加数：196 人

（司会）藤原 関夫（実行副委員長）

1. 開会挨拶 兵庫県立大学名誉教授，実行委員長 望月 孝晏
2. 挨拶 レーザー学会会長 中井 貞雄
3. 来賓挨拶 兵庫県立大学長 清原 正義
日本レーザー医学会理事長 菊地 眞
4. 鏡開き（三樽） 司会よりメンバー紹介（9名）
中井 貞雄
清原 正義
菊地 眞 （特別講演）
杉谷 晃彦 （特別講演）
霜田 光一 （東京大学名誉教授，レーザー学会名誉会員，文化功労者）
八木 重典（レーザー学会副会長，三菱電機開発本部技術顧問）
加藤 義章 （光産業創成大学院大学学長）
的場 修 （プログラム委員長，神戸大学）
望月 孝晏
5. 乾杯挨拶 加藤 義章
歓談
6. （歓談終了前）次年度の挨拶 岡田 龍雄（九州大学）
7. 中締め 的場 修

以上

レーザー学会第33回年次大会（姫路）懇親会報告

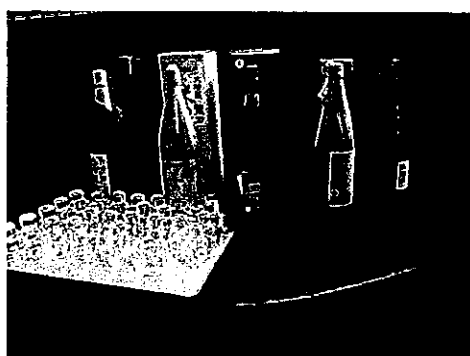
日時：平成25年1月29日（火） 18:15～20:30

場所：灘菊酒造 西蔵

懇親会参加者：196人

新酒3樽の鏡開きで始まり、学会名の入った升を手に開会となった。樽酒の他に、地元の協力を得て「姫路酒造組合全銘柄揃」と墨で書かれた下に10蔵の自慢の大吟醸が並んだ。

過去最大参加人数、雰囲気も含めて満足度の高い懇親会であった。



III-2.6 アルバイト係

上野 秀樹、多田 和也、東 欣吾

本年度のアルバイト係の担当事項は

- ①必要アルバイト人数の集計
- ②アルバイトの出勤管理, アルバイト代支払い, 報告書作成
- ③その他雑用

であった。

1. 準備経緯

1) 大会3か月前

実行委員会において、総務係、恒常係、受付係が必要とするアルバイト人数の計画/集計を依頼するとともに、各係から対象の学生を選定していただくように依頼。

2) 大会55日前

各係から報告を受け、アルバイト学生と担当時間割を用意。副実行委員長と相談の上、不必要なアルバイトを除く。

3) 大会40日前

2)の打ち合わせ結果をもとに、各係主査、委員に必要人数のアルバイト学生の確保を依頼。また、前日準備要員のアルバイトを追加。

4) 大会15日前

学生アルバイト必要人数確保完了。

5) 大会10日前

学生アルバイト傷害保険加入のため、総務係へ学生アルバイトのリスト提供。

6) 大会3日前

上記時間割りをもとにアルバイト出勤簿の用意。アルバイト代概算値を会計係へ報告。

7) 大会前日

- ①アルバイトの出勤管理
- ②参加者への配布資料の袋詰め及び受付ブース設営作業の手伝い

2. 大会期間中

- ①アルバイトの出勤管理

- ②アルバイト代の支払い。アルバイト代は1日ごとに支払った。領収書は学会支給のものを使用。
- ③受付の手伝い（釣銭の準備）
- ④懇親会の手伝い

3. 反省点・申し送り事項

アルバイト系の職務は限られているので、特に問題は無かった。

ただし、受付係の学生アルバイトは参加費を現金で扱うため、他の学生アルバイトに比べ負担大とみられる。参加費を事前振込みにするなど対応策が必要。

4. 添付資料

アルバイト出勤簿兼アルバイト代計算用エクセルシート

担当 会場係	氏名	27日(日)		28日(月)		29日(火)		30日(水)		バイト代			
		時間数	勤務時間	時間数	勤務時間	時間数	勤務時間	時間数	勤務時間	28日支払い	29日支払い	30日支払い	
28日・8名 29日・6名 30日・6名	** ** *							9	8:30~18:30			6,000	9,000
	** ** *							9	8:30~18:30			6,000	9,000
	** ** *							9	8:30~18:30			6,000	9,000
	** ** *			9	8:30~18:30						9,000		
	** ** *			9	8:30~18:30						9,000		
	** ** *			9	8:30~18:30						9,000		
	** ** *			7	10:30~18:30						7,000		9,000
	** ** *			9	8:30~18:30						9,000		9,000
	** ** *			5	12:00~17:00						5,000		
	** ** *			9	8:30~18:30						9,000		9,000
	** ** *			9	8:30~18:30						9,000		9,000
	** ** *												9,000
受付係	** ** *	2	17:30~19:30	9	8:30~18:30							11,000	9,000
	** ** *	2	17:30~19:30	9	8:30~18:30							11,000	
	** ** *	2	17:30~19:30	9	8:30~18:30							11,000	
	** ** *	2	17:30~19:30	9	8:30~18:30							11,000	9,000
	** ** *	2	17:30~19:30	9	8:30~18:30							11,000	
	** ** *	2	17:30~19:30	9	8:30~18:30							11,000	
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
総務係	** ** *	2	17:30~19:30	9	8:30~18:30							11,000	8,000
	** ** *	2	17:30~19:30	9	8:30~18:30							11,000	
	** ** *	2	17:30~19:30	8	9:30~18:30							10,000	
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
合計係1名	** ** *			8	9:30~18:30			7	8:30~16:30			8,000	7,000
	** ** *											172,000	114,000
	** ** *												125,000
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												
	** ** *												

備考
午前・午後勤務は間に1時間休憩
緑背景は遅刻/延長等によるバイト時間数変更あり

バイト代総計
411,000

各日バイト代
172,000

114,000

125,000

3 併設展示会(Laser Solution2013)

併設展示会「Laser Solution2013」は1月28日～1月30日の3日間、姫路商工会議所展示ホールにて開催し、以下の13社(団体)12小間の出展があった。

ウシオ電機(株)	オーシャンフォトニクス(株)
(株)オフィールジャパン	(株)オプトサイエンス
コヒレント・ジャパン(株)	(株)サードウェーブテクノロジーズ
セブンシックス(株)	(株)ティー・イー・エム
(株)トリマティス	日本デバイス(株)
(株)フォトニククラティス	(株)ユニタック

- ・ 例年どおりコーヒー無料サービスを実施し、実行委員をはじめ年次大会参加者が多数、出展社ブースにお立ち寄り頂き出展社から好評を得ることができた。

■ 次年度申し送り事項

- ・ 次年度の開催も展示会場は学会本部 or 学会総合受付と隣接し、休憩コーナーが取れる場所が望ましい。
- ・ 休憩時間にはなるべく展示会に足を運んでいただくように、年次大会参加者へは案内していただきたい。

オプトロニクス社が配信する「光産業e-mailニュース」(読者数 約10,000人)を利用して論文募集、参加募集を積極的に働きかけていきます。



III-4 事務局 実施項目・計画

(第33回年次大会前日及び当日)

1. 大会前日(1/27)作業項目

- (1)次第書, 予稿集USB, 公開特別講演資料, 事務用品の搬入確認と点検
予稿集USB:藤原副実行委員長持参(16時)
- (2)事務局準備品の各係への配付
 - ・会場係:会場用品セット(ポインター, ストップウォッチ, ヘル等), 会場用品等
 - ・受付係:次第書, 予稿集, 参加章, 予稿集用領収書, その他備品, 当日配布用座長・採点者資料
(事務用品:事務局より 16時着(宅配時間指定))
- (3)新規入会受付の設営

2. 大会当日(1/28~30)作業項目

- (1)参加章, 予稿集等の販売数と入金額との整合性チェック(受付係/会計係支援)
入会希望者に対する入会手続事務(会費の徴収, 領収書発行, 入会申込葉書の回収など);
 - ・事務局受付設営
 - ・受付設営支援
 - ・会場設営支援
 - ・会計係作業支援・事務局受付設営
 - ・受付設営支援
 - ・会場設営支援
- (2)会計係作業支援
- (3)書籍等の予約販売
- (4)年次大会受付係支援

3. 作業(予定)と分担

日時	項目	担当
1月27日(日) 16:00~19:00	・着荷確認(17:00~18:00) ・準備打合せ(16:00~17:00)	森, 牧野, 田中 森, 牧野, 田中
1月28日(月) 9:00~18:30	・事務局受付設営 ・受付設営支援 ・会場設営支援 ・会計係作業支援 ・事務局受付開始準備(9:30~)	森, 牧野, 田中 牧野, 田中 森 牧野 牧野, 田中
1月29日(火) 8:00~20:00	・会場確認(8:30~9:00) ・事務局受付開始(8:30~) ・28日29日の参加登録者数確認し 中井会長へ(12:00) ・理事会(11:45~13:00) ・公開特別講演会(15:30~17:30) 参加人数カウント ・懇親会参加人数カウント ・特別講演参加人数, 懇親会参加人数 を確認し望月実行委員長へ(18:00) ・懇親会(18:00~20:00)	森 牧野, 田中 森 森, 牧野 アルバイト アルバイト 森 森, 牧野, 田中
1月30日(水) 8:00~18:30	・会場確認(8:30~9:00) ・事務局受付開始(8:30~) ・後片付け(講演終了時刻:17:45) ・大会総括~終了後解散	森 牧野, 田中 森, 牧野, 田中 森, (実行委員)

事務局 特記事項
(第33回年次大会及び以降)

1. 依頼事項(大会期間中)

(1)連絡体制

・緊急時(座長不明、遅れるなど・・・)のため、実行委員会、プログラム委員会の幹部連絡先を本部に設置。

大会後に必ず破棄。

・事務局へは、090-4561-xxxx(「森」携帯)、06-6878-3070(大阪事務局;連携します)

(2)特別講演、懇親会の参加者カウントのアルバイトさんへの依頼可否

・「可」の場合、指定時間内に「森」まで連絡のこと

◆特別講演:17時30分

◆懇親会:17時50分

2. 大会以降の依頼事項

(1)大会速報の作成

・原稿締切:2月20日

・作成者:実行委員会 , 原稿とりまとめ:事務局

※サンプル(昨年度)配布

3. 大会報告書の作成

・原稿締切:3月E

原稿案について第3回実行委員会(3/M)で審議・承認

・作成者:実行委員会

※詳細は、第33回年次大会全体スケジュールを参照ください。

以上

第33回年次大会 事務局が準備する物品リスト

	品 名	内 訳 ・ 備 考
総務 関連	カメラ	デジカメ:1台 (総務係:別途 1台(+付属品一式)を準備)
	各種名簿	役員, 名誉会員, 特別・シンポジウム・招待講演者, 座長, 実行・プログラム委員, 等
	名札ケース, リボン	実行委員:30枚(名札自体は総務係に準備頂く;黒紐), 事務局:3枚(黒紐), アルバイト:34枚(名札自体は総務係に準備頂く;赤紐)
受付 関連	資料 [前日PM, 会場納入]	年次大会講演予稿集:600部(USB)藤原副実行委員長宛納入 年次大会講演予稿集:8部(紙面, 内4部は日割), 会場別予稿集:9部(9会場) 年次大会次第書:800部(業者から直送) ※1/27(日)に搬入 特別講演会講演予稿集:300部
	参加章・領収書	参加章兼領収書:正・賛助会員:650枚, 学生:200枚, 非会員:300枚 懇親会参加章兼領収書:一般:250枚, 学生:100枚 講演予稿集(USB)領収書:30枚
	受付用名簿	事務局受付対象者名簿(来賓, 賛助会員, 賛助会社)→受付係へ送付済(1/15)
	参加登録受付用紙	700枚(※A4はA4の1/2)(1/25現地指示), 但しHP持参有
	備品	花リボン…赤大花(公開特別講演会講師):2個+予備1 白大花(会長, 実行委員長):2個+予備1 ハンパリング: 2台, 招待ゴム印:1個, お金ケース: 8個
	座長・採点者用資料 …封筒に挿入(※)	※優秀論文発表採点用紙:65部/130枚+予備10枚 ※講演者略歴表(特別:2件→望月先生封筒, 受賞記念講演:5件→黒澤先生封筒) 座長名札:40枚(採点者は不要)-予備10枚 採点用回収チェックリスト:A3:1部/3枚(日毎), A4: 15部(日毎)
	掲示・PR資料 …ホワイトボード・ 受付資料台展示	年次大会ポスター:5部, #439, #440, #442研究会:各3部, OPIC:2部 セッション・座長表(ピンク):A3版:5部 会場平面図(ピンク):A3版:5部, A4版:5部 会誌見本:40.1~41.1号各1冊(含:購入申込書)…※「見本」シール貼り 入会案内冊子:30部, 入会案内ビラ:30部
	資料用封筒	A4版封筒:30部
	受賞記念研究会報告	5部(各登壇者宛て袋詰め)
	人員カウンター	2個(特別講演会, 懇親会参加者計数用)
	会場 関連	会場用品セット
座長用予稿集とラベル		会場備付用(座長用)会場別講演予稿9部と会場番号、座長用持出し厳禁を表記
会場係用アルバイト資料		講演進行状況報告書: 60枚+予備 10枚
会計	封筒 領収書	謝礼用封筒(公開特別講演者用):2部+予備1部 →会計係送付(1/22牧野) 長3封筒(アルバイト代用):100部+領収書→会計係送付(1/22牧野)
	事務局 専用分	現金等
受付用品		受付テーブル表示, 文具, 入金箱, 受入箱:3, 宅配便送状, ガムテープ等, 入会受付セット (入会手順、入会案内冊子 30部、入会申込書 30部、専門分野一覧表、年次大会入会 者リスト(事務局控え)、領収書 1冊、会員番号通知葉書(正学各 20枚)、自動引落申込 書 30部、返信用封筒 20枚、手提げ金庫 1)、マグネット、押ピン
理事会関連		理事会配布資料:11部(森), 名札 弁当手配(→総務係に依頼(1/22森))
賞状, 賞状盆		編集委員会用(牧野)
その他会合		弁当手配(→総務係に依頼(1/22森)) ※編集委員会, 東京支部委員会, 関 西支部委員会, 安室専門委員会

年次大会 各係準備事項(概要)

注) 下記はあくまで目安であり、適宜見直して下さい。

事務局準備品以外で手配・作成が必要な物品類は、担当の各係にて準備をお願い致します。
疑問点等ございましたら、弊事務局までご相談下さい。

係 名		準 備 事 項
総務係	事前作業	<input type="checkbox"/> 弁当配達手配: 実行委員, アルバイト, 事務局, 他. また, 理事会等の別会合分も一括手配. <input type="checkbox"/> 本部室用飲物の手配 <input type="checkbox"/> 実行委員名札作成(名刺版)→ケースは事務局が用意 <input type="checkbox"/> 会場外大会案内立て看板(広報係と連携)
	前日作業	<input type="checkbox"/> 本部室用品の搬入(パソコン, プリンタ, 飲物等) <input type="checkbox"/> 本部室設営: ロの字形式(約30名程度) <input type="checkbox"/> ランチマップ(受付用)
受付係	事前作業	<input type="checkbox"/> 受付配置案の作成 <input type="checkbox"/> 受付用器財の手配(テーブル, ホワイトボード, 椅子, 文房具等) <input type="checkbox"/> 受付用各種表示の作成(特別受付, 一般受付, 懇親会受付, 予稿集販売, 学会関係者等) <input type="checkbox"/> 受付アルバイトマニュアルの作成 <input type="checkbox"/> 受付用名簿, 封筒用ラベル作成(データは事務局より支給) ・特別参加者名簿, ラベル(特別・シンポ・招待講演者, 座長, 実行・プログラム委員) ・公開特別講演参加者名簿, 一般参加者名簿, 懇親会参加者名簿(いずれも記名用紙)
	前日作業	<input type="checkbox"/> 受付アルバイトへの作業内容説明 <input type="checkbox"/> 受付設営(特別, 一般, 懇親会, 予稿集販売, 学会関係者等) ・テーブル配置 ・受付用各種表示の掲示 ・予稿集, 次第書等資料の開封・配列 ・受付用品の配列(受付名簿, 特別参加者用封筒, 各種花リボン, 座長名札等) <input type="checkbox"/> つり銭用現金の確保 <input type="checkbox"/> 特別参加者用封筒詰(特別講演者, 座長・採点者用は事務局が準備) ・参加章兼領収書: 正・賛助会員/学生/非会員の3種類 ・懇親会参加章兼領収書: 一般/学生の2種類 ・講演予稿集領収書: 1種類
会場係	事前作業	<input type="checkbox"/> 会場予約(見積書, 請求書入手) <input type="checkbox"/> 使用機器の手配・確保(含: プロジェクタ, PC, ケーブル→レンタル?) <input type="checkbox"/> 本部室用パソコン, プリンタ手配(含: プリント用紙) <input type="checkbox"/> 特別会場吊看板, 立て看板の制作・設置手配 <input type="checkbox"/> 会場アルバイトマニュアルの作成 <input type="checkbox"/> 各種案内の作成(会場番号, 控え室, 休憩室, クローク, 締切, 案内矢印, 座長席表示, プロジェクター試写案内等)
	前日作業	<input type="checkbox"/> 会場用器財の搬入: プロジェクター他 <input type="checkbox"/> 会場アルバイトへの作業内容説明 ・資料: マニュアル, 講演使用機器一覧, 講演進行状況報告書, 案内用OHP <input type="checkbox"/> 講演会場設営 ・座長席設営(座長席表示, 会場用用品セット, 座長用予稿集) ・プロジェクター設置・試写, セレクター照明・マイクテスト等 ・吊看板, 立て看板の設置 ・式次第垂れ幕, 各種案内板の掲示
会計係	事前作業	<input type="checkbox"/> 会場予約金の支払
	前日作業	<input type="checkbox"/> 現金準備: 旅費, 謝礼, アルバイト代(封筒詰, 宛名書き必要), つり銭用 <input type="checkbox"/> 旅費, 謝礼, アルバイト代の封筒詰, 宛名書き ・源泉徴収用領収書: 特別・シンポ・招待・受賞記念講演者, アルバイト代(1日単位) <input type="checkbox"/> 受付係との連携確認 <input type="checkbox"/> 現金輸送ルートの確認

第33回年次大会 全体スケジュール

月	日	実行委員会関連	プログラム委員会関連	掲載号	会誌/ホームページ他
4月		・実施案立案(含:概算予算) ・実行委員案 作成			
5月		・実行委員委嘱			
6月	幹部会 4日	・実行委員会幹部会 ・基本方針 ・課題の抽出 ・ポスター制作開始	・プログラム委員案作成	7号	・年次大会開催案内 I (~6/E) ・一般講演募集 ・優秀論文発表賞募集 ・ポスター公募
7月	実行委 6日	・第1回実行委員会:7月6日 ・組織、役割分担の確認 ・スケジュール, 予算案 ・特別講演 → 講演依頼 ・大会賛助・広告・ポスター	・プログラム委員委嘱 ・シンポジウムテーマ案立案 →シンポジウム案(企画者) ・招待講演案の作成 (各主査に依頼)	8号	・大会案内 II (~7/25) ・一般講演募集 ・優秀論文発表賞募集
8月	プロ委 7日	・ポスター印刷(~8/E)	・第1回プログラム委員会:8月7日 ・シンポジウム講演者選定(決定) ・招待講演者選定(決定) →講演者の内諾(~8/31) ・一般講演募集開始(8/M)	9号	・大会案内 III (~8/E) ・公開特別講演 ・シンポジウム ・一般講演募集案内
9月		・銀行口座開設 ・特別講演会依頼状送付 ・ポスターの配布、掲示依頼 ・企業への賛助・広告依頼	・シンポジウム・招待講演依頼 →依頼状送付(~9/7) ・概略コマ割案の作成 ・一般講演の募集締切(10/1)	10号	・大会案内 IV (~9/E) ・公開特別講演(最終) ・シンポジウム全件 ・招待講演全件 ・講演時の注意事項
10月	プロ委 16日 実行委 26日	・予算概要(収支等) ・優秀論文発表採点方法等 ・第2回実行委員会(10/26) ・必要に応じて会場下見	・第2回プログラム委員会(10/16) ・全プログラムコマ割付(最終) ・座長、採点者の決定→内諾(10/26) ・予稿(招待/一般)締切(~10/31)	11号	・大会案内 V (~10/E) ・セッション・座長表 ・全招待講演 ◆学会HPに掲載
11月			・座長・採点者依頼 ・次第書・予稿集の作成(紙面, USB)	12号	・大会案内 VI(最終)(~11/E) ・全講演プログラム ・会場案内(マップ、アクセス) ◆学会HPに掲載
12月			・各種印刷、予稿集USB		
H25 1月	27日 ~30日	・大会前日の準備会議:1/27(日) ・大会報告書担当決定・依頼 (実行委員長→事務局) ・第33回年次大会: 1月28日(月)~30日(水)			
2月		・年次大会速報原稿(~2/20) ・大会報告書原稿作成 ・報告書原稿集約(~2/E)	・年次大会速報原稿(~2/20) ・大会報告書原稿作成 ・優秀論文発表賞候補者選定		
3月	実行委	・第3回実行委員会(3/13) ・年次大会報告書まとめ ・会計報告 ・優秀論文発表賞候補者承認		4号	第33回年次大会速報(~3/E)
4- 5月		・年次大会実施報告書発行			

IV. 33回レーザー学会年次大会（姫路）の収支について

レーザー学会年次大会の報告書を書きながら、思いつくところをしたためます。

姫路でレーザー学会年次大会を開催するに際して、特に留意したことは以下の2点に尽きます。

○赤字会計を避け、レーザー学会にご迷惑をおかけしない。

○姫路に来て戴いた方々に、懇親会も含めて良い印象を持って戴けるように努める。

会計については、電通大(31回)大会の学会誌報告(記事参照)において、大会財政について危機感が全面に溢れるまとめが書かれていたのが印象的でした。大会としては近年まれな黒字であったにもかかわらず、です。内容を精査すると非会員の参加増が黒字の主要因であり、植田・小原・西岡先生方の危機感は間違っていないようです。学会から戴いた31回詳細報告書からは、経費削減の努力が随所に読み取れます。

対して、昨年度の仙台(32回)の報告書では驚愕すべき赤字が計上されていました。東北大震災直後の混乱の中での大会であり、学会事務局も赤字会計を承認していたと思われ、平時とは違う大会であったことは十分理解できます。赤字については仙台の詳細報告書に「全体の収支については赤字を圧縮することができた」と一行記載されているのみ。

姫路(33回)で開催するに際して、随分と参考にさせて戴きました。

以下に過去3回の年次大会の主要収支を記載いたします(報告書より転写)。

	33回姫路	32回仙台	31回東京
参加費収入	(USB 込)2,848 千円	1,919 千円	2,634 千円
賛助金・助成金収入	1,900 千円	1,500 千円	1,600 千円
広告収入	340 千円	693 千円	301 千円
予稿集収入	4 千円	585 千円	831 千円
懇親会収入	487 千円	548 千円	391 千円
地元からの補助金	700 千円	300 千円	0
展示会会場費分担	174 千円		
収入合計	6,453 千円	5,544 千円	5,757 千円
会場費	1,066 千円	1,794 千円	753 千円
会議費	921 千円	1,729 千円	1,015 千円
予稿集印刷費	(USB) 539 千円	1,154 千円	1,330 千円
懇親会	(196 名)1,193 千円	(138 名)1,035 千円	(130 名)805 千円
その他			
支出合計	5,320 千円	6,883 千円	4,755 千円
収入－支出	1,134 千円	-1,339 千円	1,002 千円

お気づきになる点があるのではないのでしょうか？

支出において、32回では会議費が31回の1.7倍に膨れています。人件費を支出しておらず、少人数の現地実行委員会であったことを考慮すると、プログラム委員会の委員旅費がほとんどと思われます。支出全体の25%、収入に対しては31%に相当します。プログラム委員会を東京で開催するなどの工夫でもう少し改善されたかもしれません。

姫路大会では東京大会並に会議費を抑制するため、

- 的場プログラム委員長は関西支部メンバーを中心としたプログラム委員会を構成された。
- 現地実行委員会は地元姫路の先生で全て構成された。

大会3日間は県立大工学部電気系の先生がいらっしゃるフロアから(講義と会議以外の)全ての先生が不在の状況になりました。大学には大変ご迷惑をおかけしました。

他方、年次大会にとっての利点は、会計ばかりでなく、個別の現地打合せが簡単なアポだけで頻繁に開けたため、詳細なツメができたことでした。ご苦勞は、学会員ではない先生方が活動できるように、特例を認めて下さった学会事務局が大汗をかかれたことでした。結果として、会議費は東京大会以下に抑制されています。

このほか、予稿集にUSBを採用したことも会計上幸いしました。

従来の紙予稿集は製本原価の半額で販売しており(招待講演者には無料配布しており、あくまで数字だけを見た場合)、USB化によって参加費は1000円増えたものの全員にお持ち戴くと共に、ソフト制作費も含めて製造原価に抑えることができました。その結果、約50万円の経費節約(赤字解消)に寄与しています。他方、ソフト化では、初めての試みであり、プログラム委員長は随分ご苦勞されました。尚、招待講演者には懇親会を無料招待しましたが、お忙しい方が多いのか、約1/3強のみが出席されました。

懇親会会計は大赤字ですが、収入には招待講演者と賛助会社の無料招待が考慮されておらず、単純には計算できません。姫路開催の前記留意事項を踏まえて、懇親会係は設定予算内で参加者満足度に重点を置いた企画をして戴きました。

収支改善に関しては、予稿集USB化で+50万円、地元からの補助金+70万円が最も大きく黒字化に貢献しました。その他、会議費減、PC等の安価なリース会社採用、などの細やかな経費削減努力、そして予想以上の非会員の増加、賛助会員の増加でした。会員外の参加者増加は前年度比+30万円に相当します。

参加者動向

	第33回 姫路	第32回 仙台	第31回 東京電通大	第30回 大阪千里	第29回 徳島	第28回 名古屋
一般講演数	221	226	226	203	201	216
招待講演数	61	59	52	66	52	50
シンポジウム	52	29	26	24	16	25
特別講演	2	2	2	2	2	2
総講演数	336	316	306	295	271	293
参加者数	555	506	633	500	473	555

正会員 : 307人
学生会員 : 117人
非会員 : 68人
賛助会員 : 63人

正会員 : 294人
学生会員 : 122人
非会員 : 38人
賛助会員 : 52人

正会員 : 292人
学生会員 : 143人
非会員 : 151人
賛助会員 : 47人

この数字から、正会員はほぼ一定、学生会員は減少傾向、賛助会員は景気依存、非会員は興味あるテーマ設定と開催地に依存、との傾向が見られます。曜日では、東京など大都会は土日曜日が、地方開催は平日が良いとされており、今回も月火水の平日開催です。尚、上記賛助会員数は無料の招待者と有料の合計であり、経理上は有料者数のみが記載されていて数字が異なります。

非会員の所属からは、自動車関連会社から12人参加がありシンポジウム「エンジンのためのレーザー点火」関連かと思われます。産業界に関連性の高いテーマには参加者が増える傾向があるのかも知れません。以下は私見ながら、レーザー医療関連では「レーザー安全公開シンポジウム」が印象的でした。近大橋新先生が開催され、姫路で人が集まるのか心配しました。姫路商工会議所のパンフレット、姫路の産学連携組織にも働きかけてアナウンスしましたが、とにかくレーザー使用会社が姫路に少ないことがネックでした。結果は、80名前後と想定以上の参加者があり、質問では会社の労災部門の方からレーザー損傷を判断できる眼科医の不足を嘆いておられました。有料の学会参加に結びついているかどうかは分かりませんが、裾野を広げる意味でも価値があります。

良い年次大会にしたい、との気持から、経費はややもすると膨らむ傾向があります。

委員長、副委員長、プログラム委員長の収支に対する共通認識が大変重要です。

本報告書が後年度の参考になりましたら幸いです。

以上

(2013.3 第33回年次大会 実行副委員長 藤原関夫)

に若手実務者を増やす。実務者の決定は次回大会において行われる。

3. 懇親会

大会初日、特別講演会終了後(1月9日18:00~20:00) 調布駅前クレストンホテルにおいて懇親会が開催された。参加者数は130名であった。東海大学山口滋実行委員が進行役を務めた。植田 憲一実行委員長、執行役員中井 貞雄会長から主催者を代表して挨拶があり、続いて、特別講演者 国立天文台 家 正剛先生からご祝辞を戴いた。慶應義塾大学 小原 實東京支部長のご発声により



植田 憲一実行委員長。



懇親会風景。

レーザー研究 2011年4月

のコメントがあり、それを受けて、電気通信大学 植田 佳子実行委員からスピーチを戴いた。締めくくりとして、次回実行委員長を務める東北大学 松浦 祐司先生から次回年次大会のアナウンスが行われた。

4. 併設展示会

大会会期中、講演会場ロビーにおいて併設展示会「Laser Solution 2011」が開催された。以下の15社15小間の出展があった。

出展企業：エクセルテクノロジー(株)、(株)オフィールジャパン、(株)オプトロニクス社、クロスライトソフトウェアインク日本支社、コヒレント・ジャパン(株)、シグマ光機(株)、(株)島津製作所、セブンスックス(株)、(株)ティー・イー・エム、(株)トリマティス、(株)日本レーザー、(株)ハナムラオプティクス、浜松ホトニクス(株)、(株)ビーマック・ジャパン、三菱電線工業(株)。

5. 収支について

大会賛助金および広告収入は激減、過去最低であった。一方、例年を上回る投稿論文数、大会参加者数があり参加登録料は大幅増、予稿集は完売であった。また、大学開催で会場費が低く抑えられたため、単純な数字の上では収支は良好であった。しかしながら、大学かつ休日開催であるため、講演会場、展示会場、案内、受付の準備・運営を全て実行委員が担当する必要があり、実行委員の皆様には例年に無い過大なご負担をお掛けする結果となった。

本年次大会開催にあたり、大会の企画、準備及び実施にご尽力いただいた年次大会実行委員会委員、プログラム委員会委員、併設展示会事務局、賛助会員、レーザー学会事務局、並びに関係各位に心よりお礼申し上げます。

第39巻第4号

V. 次年度申し送り事項（まとめ）

1 プログラム委員会

1) 日程

主査、副査の方は忙しい人ばかりなので、第1、第2回プログラム委員会の開催日を同時に先に決めておくのが良い。

2) 投稿締切日

10月1日の投稿締切日は延長しない方針で行った。直前に投稿数が急激に増えるため数の目処が難しいが、最低投稿数を設定し、この数を下回る場合には締切日を炎症するなどの方針設定を予めしておくのが良いかと思う。一般投稿の少ない部門には個別に打診した。また、今回は月曜日が締切日であったために土日に登録をする人が多く、事務局には休日に負担をかけることになった。締切日の曜日設定を考慮する必要がある。

3) 地方開催

関西では大阪大学を含め大阪近郊で行うことが多く、初めての姫路開催となった。プログラム委員には、各種学会や大型プロジェクト等でご活躍されている若手・中堅の方や今回の大会テーマにちなみ企業の方を積極的に選出した。また、関西で開催するので関西でご活躍されている方に委員として選出することを依頼した。

4) 招待講演

招待講演は、年次大会の核となる講演であり、講演者、講演題目の選定は一般講演投稿の促進に極めて重要である。昨年からの引き継ぎ事項として、レーザー学会員以外の方を招待講演する場合に参加費を免除できないかというものがある。今回は参加費免除の代わりに、懇親会費を免除した。他学会でご活躍の方にレーザー学会員になって頂くような取組みを引き続き検討して頂ければと思う。

5) シンポジウム

今回は実行委員長の依頼のもと、大会テーマを掲げ、かつそれに則した魅力あるシンポジウムを多く企画することができた。一般講演件数を含めた会場規模からの制限はあると思うが、シンポジウムによる魅力ある講演企画についても引き続き検討して頂ければと思う。

6) プログラム委員会のやり方について

昨今、どの学会でもプログラム委員会のやり方については、可能な範囲で事前に情報を送付して部門ごとに調整することで、プログラム委員の時間と交通費などの経費の削減に役立たせている傾向にある。事前に部門内で調整して頂ければ、プログラム委員会も主査、副査のみで調整することも可能かと思うので、プログラム委員会のやり方についても検討してみることも必要かと考えられる。

7) 優秀論文発表賞の採点票回収について

現状、採点者がセッション終了後に会場アルバイトに手渡すことになっているが、アルバイトは採点者が誰か分からないこと、採点者がセッション途中で退出する場合があるため、アルバイトによる回収は困難である。そのため、会場受付や大会本部で採点表を回収することを採点者に連絡する紙を挿入する工夫が必要である。

- 8) 会場備え付けパソコンを用いて発表を希望する場合のスライドインストールの周知について
シンポジウム講演等において、セッション途中に会場備え付けパソコンに USB による講演スライドをインストールしたいという申し出があった。全ての講演者に対して、会場備え付けのパソコンによる発表を希望する場合には、講演スライドはセッション前にインストールするように周知する必要がある。
- 9) シンポジウム「レーザー学会受賞記念講演」の扱いについて
ここ何回かは「レーザー学会受賞記念講演」は一つのシンポジウムとして開催しているが、シンポジウムが多くある場合には聴講者数は非常に少ないようであり、受賞記念講演であるにも関わらず、講演者にも良く思われていない状況にある。以前は該当する核部門に招待講演としてプログラムに入れるやり方もあったようである。受賞記念講演として重要視するのであれば、特別講演前後にシンポジウムを配置することも考えられる。このシンポジウムの扱いについては担当の黒澤先生と相談して頂ければと思う。
- 10) USB 検討事項
- a. 電子化担当委員の任命(プログラム委員 or 実行委員)またはレーザー学会事務局
今回は USB 化が初めてであったので、プログラム委員長と事務局が連携して作業にあたった。今回の作業でひな形が出来たので、これをベースにされる場合には業者とのやり取り、チェックを行う担当者を確認しておいた方が良い。その担当者は継続性からするとレーザー学会事務局にお願いできれば一番良いが、それが難しい場合にはプログラム委員か実行委員から選出するように調整する必要がある。
- b. 特別講演、シンポジウム、招待講演、一般講演のテンプレートの更新
PDF のヘッダに講演種別、講演番号、年次大会名の3つを追加して記載する必要がある。ヘッダ部分は PDF に直接追記するのでテンプレートにはなにも記載がない方が後の作業が楽になるため、テンプレートの更新を検討してください。
- c. どこまで業者委託とするのか。予算との兼ね合い。
コンテンツ作成、予稿集のリンクはり、上記 PDF の加工を業者にすべて委託するのか、それともアルバイトにするかは予算次第である。業者に委託する割合が増えると金額も増すため、参加費の改訂も含めて検討する必要がある。

2 現地実行委員会

2.1 総務・広報係

- ・会場周辺にレストランが少なかったので弁当(お茶付き)を 600 円で販売した。利用者はごくわずかであった。今後、参加者への弁当の手配は必要ないと思われる。
- ・大会関係者の弁当は数だけを管理していたため、数が合わない日があった。大会関係者の弁当もリストが必要である。
- ・クロークにはコートを預ける人が多いので、ハンガーの準備が必要である。
- ・事前準備では各係の役割分担を細かいところまではっきりさせる必要がある。今回は別の係や事務局と同じ準備をしてしまう無駄な作業が多かった。
- ・事務局の積極的な協力が必要である。

2.2 会計係

反省事項および次年度への申し送り事項

(1) 銀行口座開設等について

賛助金の入金のため前年の8月位までには口座開設すること(前回申し送り事項を踏襲)事務局に大会前の口座開設および入金確認についてご協力いただいた。

口座は法人口座で、口座名義は「レーザー学会年次大会事業代表理事中井貞雄」(カードにはレーザーガッカイネンジタイカイと記載)とした。

(2) 現金、通帳、印鑑、カードの管理について

通帳、カードは会計委員が管理した。

会期中の現金は小型金庫(大学事務保有)に入れて保管した。また、会場隣接のホテルを副実行委員長の宿泊先とし、移動中の事故がないよう注意を払った(前年度の申し送り事項を参考とした)。

入金は1日1回、夕方に大会会場より徒歩20分程度の支店(三菱東京UFJ銀行姫路支店)を利用した。なお、入出金時の移動はできるだけ2名で行った。

口座は広告費等の入金が大会終了後となるため、すべての入金を確認した後、年度内の解約までの期間は管理が必要である。

(3) 釣銭の準備

初日の釣銭用に会議前日に1千円札×27枚、会議当日に1千円札×100枚、5千円札×50枚、100円玉×200枚を用意したが、千円札が瞬く間に無くなり、会計委員から4万円分の千円札を借用し、さらに9万円分を両替した。2日目以降も6つのブースへの釣り銭として各ブース千円札×20枚を用意した。両替はできれば手数料無料の範囲で行いたかったが、今回は弁当販売のために100円玉の釣り銭が必要だったため、ATMで調達するのは難しく、窓口で両替を行った。

2日目以降は受付でなるべく釣り銭が少なくなるような支払いに協力していただくよう参加者に呼びかけたため、釣り銭の消費が少なくなり、会計として大変助かった。

(4) 受付係との現金授受、現金照合について

会計係は受付の近くに作業場所を設置した。

金銭の授受については現金を持ってきたブース番号と金額、入金の時刻をエクセルシートに記入し、同時にもう一人が金庫に現金を入れるという二人体制で注意を払った。受付参加者数と現金の照合については、受付係とのチェックを入念に行ったが、毎日最初は現金の金額と受付金額に相違が生じ、何度も確認を行うなど困難を極めた。

委員およびアルバイト全員の努力のおかげで最終的に受付人数と受理金額が一致したが、今後はオプトロニクス社等に依頼して事前クレジット払いとする(当日払い参加費を少し増額し、事前払いを奨励する)ことを強く推奨する。

(5) アルバイト代、特別講演者謝礼・交通費支給について

アルバイト代の支給は支給人数が多いため、アルバイト係の協力を得た。

特別講演者謝礼・交通費については、支給金額は事務局と会計係で算出したが、会計係はこういった計算に慣れていないため、今後は事務局にお任せした方が良いと思われる。また、今回は特別講演会場が大会会場と別会場であったため、本会場の受付に来られなかった講演者がいた。そのため、

特別講演会場が異なる場合は注意が必要である。特別講演者とのコンタクトの機会が少ないため、できれば事前または事後の謝礼送付にした方が良いと思われる。

2.3 受付係

当日気が付いたことを記載しています。

【提案】

- ・参加費を事前収納にすることで受付業務は簡素化され、以下に挙げた問題点等の多くは解決される。

【当日の様子・問題点】

- ・受付区分により参加費や懇親会費有無が異なるため、受付アルバイトが慣れるまでかなり大変であった。特に懇親会招待者を担当するブースの受付アルバイトは過負荷となった。
- ・賛助会員には事前に参加章が送付されているが、それを忘れたケースがいくつかあり、事務局にその都度確認する必要があった。
- ・一般受付(学生会員)は混雑したため、他の一般受付(正員、非会員)と独立させた。
- ・受付バッグ(次第書等)は570部用意したが数が足らなかった。USB予稿集の不良も一件あった。
- ・クレジットカードで参加費支払いを希望する参加者(海外からの参加者)が1名いた。

【受付アルバイトからの意見】

- ・お金ケースが各ブースに1つ用意されているが、1万円札と千円札が混在してしまうので、お釣りを探す手間がかかった。会計係との入出金票はもう少ししっかりとしたものを作成したほうが良かった。
- ・一般受付の参加者含めて参加者リストを事前に作成し、誰が受付したかをチェックしてしまったほうが後で楽ではないか。受付区分を間違えるケースが多発したため。

2.4 会場係

- ・学会関係荷物の発送等について

展示担当、事務局、会場係他、荷物の搬入状況(配達回数、配達時間指定等)、現時の現地実行委員会(実質責任者または会場係)に情報を集約する必要がある。

- ・USBでの発表資料のセッティングについて

学会会員外の発表者が多数いた。特にシンポジウムは、医療関係者も多く、多忙なためか自分の発表時間のみ出席者(自分の発表時間しか知らない?発表者あり)がおり、該当セッション開始後にUSBで発表資料のファイルのPCへのコピーを依頼してくる場合があった。発表者交替の際に、コピーしたが、事前にシンポジウム責任者からルールを説明すべき。

- ・優秀論文の審査について

座長以外に審査員がいる場合、事務局マニュアルでは、その採点票を座長分とともに会場アルバイトが回収とあるが、採点票を受付に提出する審査員も多数いた。事務局から受付係に、その扱いについての指示がでておらず、事務局、会場係とも、採点票の所在が不明の状況となった。途中退室の審査員もいると思われるので、審査員の採点票は受付か事務局での回収にした方が良いように思われる。

・特別講演について

講演者が確認しやすいタイマーの設置が望まれる(講演者からも希望あり, 本人の iPad のタイマーで代用).

各会議室の鍵は, 事務局ではなく, 撤収作業等も考えると, 現地実行委員会(実質的な責任者か会場係)が管理した方が良いと思われる.

・学会運営の情報の共有について

大会実行委員会内の各委員会および事務局間で, 情報の共有ができていないと思われることが多くみられた. 学会の円滑な運営のためには, 現地で実質的に学会を運営しているメンバーに今回以上に情報の集約をした方が良いと思われる.

=====

レーザー学会非会員としての意見:

- ・地方大学の一研究室が実質担当として運営するには, あまりにも現地委員会の負担が大きすぎる. 特に, 受付はアルバイトに頼らざるを得ない状況にありながら, 扱う現金が多額過ぎる. 今後も, 同規模での運営を考えるなら, 会費は事前払い込みに移行する方が良いと思われる.
- ・現地実行委員会と事務局の役割分担が不明なところや, 権限の移譲が不十分なところがあると思われる. できるかぎり現地実行委員会へ権限等を移譲した方が, 円滑な運営がし易いように思われる.

2.5 懇親会係

今回はたまたま会計収支をきっちりと合わせる事が出来たが, 100 万円以上が動く懇親会に事前に参加人数と予算が確定できないという事は非常にリスクが高い. 次回以降は, インターネットやメールを使用することでおよその人数を事前に確定しておくことを非常に強く推薦する.

また, 賛助会社には学会事務局より事前に無料招待券を郵送しているが, これが最後まで参加人数を把握できない原因の一つになっている. “無料招待券”ではなく, “無料招待引換券”とすることによって懇親会受付を通り, 参加者数把握の一助になり得る.

2.6 アルバイト係

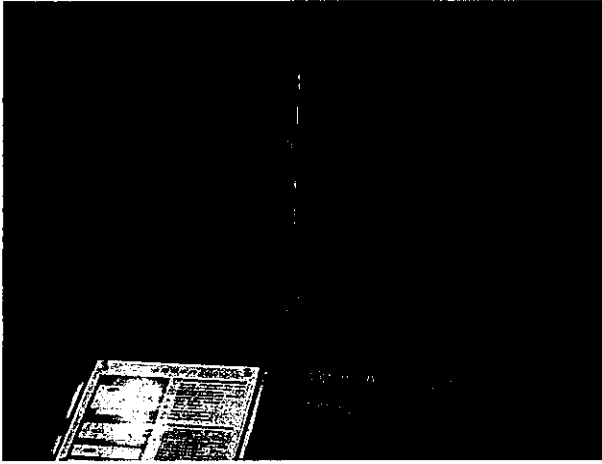
アルバイト系の職務は限られているので, 特に問題は無かった.

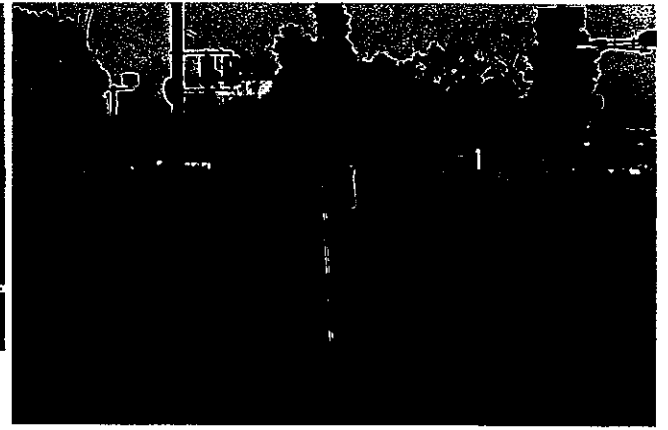
ただし, 受付係の学生アルバイトは参加費を現金で扱うため, 他の学生アルバイトに比べ負担大とみられる. 参加費を事前振込みにするなど対応策が必要.

3 展示会 (Laser Solution 2012)

次年度の開催も第33回と同様に展示会場は学会本部 or 学会総合受付と隣接し, 休憩コーナーが取れる場所が望ましい. 休憩時間にはなるべく展示会に足を運んでいただくように, 年次大会参加者へは案内していただきたい.

以上





長
秦北眞氏

